

	市町村	定員	利用者の主な日中活動について ①6H内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ②外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について ③外部の日中活動サービスの利用者人数： 人		地域に開かれた運営について ①家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ②実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ③実 習 生： 人ボランティア： 人		その他			
1	市川市（Beans本八幡）	20人	事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会		
			①身体介助（入浴・排泄）、掃除・洗濯・食事提供、相談、外出同行（通院・買い物等） ②就労継続支援A型・B型・生活介護・デイケアサービス・訪問看護・一般就労地域活動支援センター ③外部の日中活動サービスの利用者人数：13人	通院の同行をしっかりとやられている点が評価できます。 スタッフが付き添うことで、本人の病症についてより正確に伝えることができ、適切に医療機関に繋がるため、今後も継続をお願いします。	①家族に関しては、グループホーム内への入室は許可していることもあり、定期的に来所がある。地域住民との関わりにおいては、自治会長、民生委員(大芝原自治会)方に開設の際に挨拶をしている。また地区の防犯パトロールへの参加も行っている。 ②期間限定でレクリエーションボランティアの受入れを実施。（内容：体操・手工芸等） ③実習生0人 ボランティア1人	①家族が来所した際は、受付簿に記入してもらい管理しているとお聞きしました。今後も地域に開かれたGHとして、近隣の方々との繋がりを大切に運営をお願いします。 ②今後も積極的な受け入れの検討をお願いします。	①利用者の個別支援計画の内容は適切か。 ○別添（非公表） ②虐待防止（身体拘束）に関する取り組みをしているか。 ○圏域のグループホーム等支援ワーカーが当法人のスタッフに向けて、虐待に関する研修を実施している。また事業所内でも同様に虐待防止に関する研修を実施している。 ③適切な食事を提供（調理方法・品数・量など）しているか。 ○朝：パン・フルグラ・牛乳・コーヒー・お茶※個数・種類、選択制 昼：外注弁当（主食・副食）＋レトルト味噌汁 夕：外注総菜（副食・味噌汁の具） ＋主食 女性：180g 男性：200g＋味噌汁 毎月、体重測定の実施や、外注先との連携でカロリー表示を依頼しており、体重増加予防の対応を随時行っている。 ④可能であれば、事業所（グループホーム）における事業の実施状況を実際に現地で確認させてください。 ○可能です。是非お越しいただければ幸いです。 ⑤市川市自立支援協議会及び各部会にご出席の際は、実際に事業所（グループホーム）に勤務している方のご出席をお願いします（サービス管理責任者等）。 ⑥社会福祉法第82条に基づきサービスに係る苦情を適切に解決するため第三者委員を置く場合、市川市自立支援協議会の構成メンバー等を選任することは可能か教えてください。 ○可能です。 ⑦ 管理者や従業者に対する研修の実施状況について教えてください（回数、内容等）。 ○・虐待防止研修／2回 ・障がい福祉サービスについての研修／1回 ・精神障害についての勉強会／1回 ・障がい種別についての勉強会／1回 ・触法や保護観察法についての勉強会／2回 ・拠点事業についての勉強会／1回 など ⑧ 市川市では、面的な体制として整備する方向で、地域生活支援拠点等の整備を進めています。この趣旨をご理解いただき、面的な体制の一部として、地域の障がい者の重度化・高齢化や親亡き後を見据えた支援体制づくりに、可能な限りにおいてご協力いただけますか。 ○現在の対応実績 ・緊急時の短期入所の受入れ（夜の受け入れ含め） ・精神科病院で長期入院している方への地域生活へ移行するための地域生活の体験の機会の提供 ・短期入所の利用を活用し、一人暮らしのイメージが出来る場所の提供 ・65歳以上の方への介護認定の手続きなどの対応 上記以外でもこちらで対応が可能な事例があれば協力していきます。ご相談させていただければ幸いです。	①相談支援事業所への交付をお願いします。策定にあたっては、本人への聞き取りのもと支援の方向性を決め、策定後も週1回面談し、状況に応じて作り直すなど、本人に寄り添った計画を策定しています。 ②全従業員に対し数回に分けて研修を行っており、虐待防止の取り組みができています。 ③適切な食事を提供できています。（写真確認済） また介助が必要な方は共有ルームで食事してもらい、各部屋で食事されてる方も、薬の服薬と同時に食後の確認ができています。 今後とも利用者の健康管理を考慮した食事の提供をお願いします。 ⑦研修が適切に行われていることを確認しました。 今後も従業員に対する丁寧な研修の実施をお願いします。 ⑧拠点等の機能を担う事業所の登録について、ぜひご検討をお願いします。		
			利用者に対する地域生活の支援の状況について ①利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ②感染症に対してどのような備えをしているか。 ③体験の利用等のニーズに対応しているか。				短期入所の併設について ①地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。 ②緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。			
			事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
			①利用者のニーズに合わせて可能な限り外出支援を行っている。主に生活用品や家具や衣類の購入に同行している。定期的な余暇活動は出来ていない状況。季節の節目などで施設内でイベントを行う程度。 ②感染予防セット（マスク・手袋・使い捨てエプロン・アルコール・感染用スリッパ・使い捨て食器）を常備 感染症疑いの場合は、早急に雇用している医師や看護師と相談している。 ③本入居希望の方に、事前の体験利用を実施している。1泊では本人と事業所も振り返りの材料が少ないので、3泊程度してもらうケースが多い。	①買い物や理容など、適切な外出支援ができています。季節のイベント等はぜひこれからも続けてください。 ③引き続き体験的利用の対応をお願いします。	①短期入所実績 19名 その内、6名の方が拠点からの緊急ショートの利用。 夜の時間帯での受け入れなども行っている。 ②基本は市内の拠点より緊急対応として、夜の受け入れも行っている。 住んでいるGHを家出をし、警察に補導後にGHから受入れ拒否をされた為、次の施設が決定するまで当施設に緊急ショートとして入居された。また近隣住民とのトラブルで一時的な距離を保つための緊急ショートなど様々なケースを対応している。	①積極的な受け入れをしていただいています。短期入所中の方の日中の過ごし方についても、相談支援専門員と確認しながら検討してください。引き続き、受け入れ体制の確保をお願いします。 ②緊急時の様々なケースに対応いただいています。引き続き、受け入れ体制の確保をお願いします。				
支援体制の確保について ①入居者の急病など緊急時の支援体制が確保されているか ②入力用の介護リフト等の設備はあるか ③BCPを策定しているか。				相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について ①相談支援事業者や他のサービス事業所と適切に連携をしているか。 ②医療機関と適切に連携をしているか ③通常時、緊急時の通院同行に対応しているか。						
事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会			
①急変・他害行為時の対応マニュアル作成 ②無し ③昨年度、市内の研修に参加し現在作成中。グループホームが20名と短期入所3名の大人数の事業所なので、食料品の備蓄や服薬が足りない時の対応などが検討材料となっている。	①②深夜もサービス管理責任者、副施設長の2名体制で連絡を受け付けており、緊急時の支援体制が整っていることを確認しました。 過去、夜に利用者が体調不良を訴えた場合には迅速に対応されたとのことで、引き続き体制の確保をお願いします。	①相談支援事業所に関しては日々の様子や、モニタリングなどの同席を行っている。他には通所先では、グループホームの様子を伝えたり、日中活動の様子などを見させていただき、総合的に本人を見ていける様に対応をしている。 ②急な体調変化（身体・精神的）や誤薬・服薬忘れ・薬の調整等訪看が来訪したタイミングや医療機関に連絡をする形で連携を取っている。 また看護師がスタッフとして配置されていることや、医師がスタッフとして勤務しているので、体調不良になった際は迅速な対応を行っている。 ③通院や緊急時の同行は適宜スタッフが対応。精神科のみならず、内科や歯科、耳鼻科なども同行している。	②看護師が週4回ほど、医師が週1回来訪して面談を行うなど、健康管理の体制が整っています。							

	市町村	定員	利用者の主な日中活動について ①6H内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ②外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について ③外部の日中活動サービスの利用者人数： 人		地域に開かれた運営について ①家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ②実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ③実 習 生： 人ボランティア： 人		その他	
2	市川市（ピーハック）	20人	事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
			①散歩・体操・買い物同行・創作レク ②就労継続支援B型、生活介護 ③外部の日中活動サービスの利用者人数：13人	①引き続き、栄養管理、金銭管理が必要な利用者は個別で事業所の車で店まで同行し、ネットスーパーで利用者の希望する品を買い物の支援を行っているとのこと。 ☆日中活動プログラムの週間スケジュールの利用者への提示をしてはどうか。 ②朝の送り出しの支援は通所送迎に間に合わないこともあり、現場としては早番を配置したいとのこと。 ☆通所送迎に遅れることないよう、適切な人員配置をお願いします。 ☆外国籍の職員さんが使用する日中の通所事業所とのコミュニケーションツールの活用し、円滑な業務な引継ぎをお願いします	①●地域住民の方と交流は普段より行っており、良い関係が築けております。●「納涼祭」開催時には地域住民からスイカの差し入れがあった。 ②0人 ③受け入れは現在までないですが、あれば対応します。	①「芋煮会」など地域住民とのイベント開催予定継続して地域住民との交流を通して、良好な関係づくりを努めてください。 ③☆地域のボランティアの活用した日中活動をしてみてはいかがでしょうか？	①利用者の個別支援計画の内容は適切か。 ●提出済●利用者の希望や趣向を尊重した計画作成●利用者が理解できる文言●できた事を誉めることができる計画 ② 虐待防止（身体拘束）に関する取り組みをしているか。 ●年2回の研修を行っております。 ●動画視聴とテストの実施 ③適切な食事を提供（調理方法・品数・量など）しているか。 ●提供時間は2時間とし、衛生面に配慮しながら提供しています。また、体重管理にも努めております。●施設向け調理済み冷凍食材を湯せんして提供●嚥下能力に応じて一口大、ミキサー食の提供を行っている。 ④可能であれば、事業所（グループホーム）における事業の実施状況を実地に現地で確認させていただきます。 ○可能です。 ⑤市川市自立支援協議会及び各部会にご出席の際は、実際に事業所（グループホーム）に勤務している方のご出席をお願いします（サービス管理責任者等）。 ○サービス管理責任者（必要であれば管理者） ⑥社会福祉法第82条に基づきサービスに係る苦情を適切に解決するため第三者委員を置く場合、市川市自立支援 協議会の構成メンバー等を選任することは可能か教えてください。 ○可能です。 ⑦管理者や従業員に対する研修の実施状況について教えてください（回数、内容等）。 ○従事者は月に1回ほど研修を開催しております。 管理者はウェイルビーランニングでの研修を毎月行っています。 ⑧市川市では、面的な体制として整備する方向で、地域生活支援拠点等の整備を進めています。この趣旨をご理解いただき、面的な体制の一部として、地域の障がい者の重度化・高齢化や親亡き後を見据えた支援体制づくりに、可能な限りにおいてご協力いただけますか。 ○可能です。	①●利用者の意思を尊重し、利用者が理解し共有できる計画作成を心がけているとのこと。●課題設定ではなく、出来ることを目標に設定する計画 ●モニタリングは職員ミーティングで実施し共有。 ☆計画作成のプロセスは家族や相談支援専門員に対して事後報告形式になっている。日中業務で多忙ではあるが家族や相談支援専門の意見を聞いた計画作成をお願いします。より具体的な計画の内容をしてはどうか。 ☆余暇については具体的な支援計画を作成してほしい。 ②☆内部研修だけでなく、外部講師の招聘、外部機関の研修に参加する機会を作ってはどうか。 ③☆適切な食事提供を行っている。 ☆好き嫌いがある利用者は食べ残しが多いとのことだが、趣向に合わせた食事内容を検討しているとのこと。 ☆適切な評価に基づいた嚥下食の提供をお願いします。 ④◎日中サービス支援型共同生活援助の支援は、介護施設並みのケアと障害特性に合わせた個別性の高いケアの両方が必要です。現場の職員の方の頑張りには頭が下がります。 ◎現場職員のバーンアウトが懸念される状況です。支援体制の拡充をお願いします。 ⑤ ⑥☆第三者委員に本市自立支援協議会の構成メンバーを選任をお願いします。 ⑦☆内部研修だけでなく、外部講師の招聘、外部機関の研修に参加する機会を作ってはどうか。 ⑧・継続してご協力をお願いします。
			利用者に対する地域生活の支援の状況について ①利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ②感染症に対してどのような備えをしているか。 ③体験の利用等のニーズに対応しているか。		短期入所の併設について ①地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。 ②緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			①散歩・体操・買い物同行を行っている。月1回イベントを開催。社会とのつながりを維持できるように支援したい。9月はTDLに行く予定。一時帰宅の希望者（4~5人）は週末自宅に帰宅してもらっている。 ②感染症に関して年2回の研修を行っている。往診医と連携し、希望者にはワクチン接種ができるようにしている。 ③体験希望があり、居室が空いている場合は対応しています。 緊急対応の利用も多い。	①移動支援などの外部サービスは1名利用しているとのこと。 ☆一時帰宅希望者への対応を引き続きお願いします。 ②☆感染症対策のBCPIに基づいた対応をしてほしい。 ③体験利用で体験のみで本利用に至らなかったケースは、飲酒禁止のルールを理由に本利用には至らなかったケースがあるとのこと。 ☆体験利用でうまくいかず、失敗体験となってしまうことがある。事前アセスメント等で不要な失敗体験をしないように、受入れの際は慎重に検討してほしい。 ☆引き続き、緊急対応利用の受け入れをお願いします。	①短期入所実績 今年度実績3名 ②居室があいていれば対応しております。	①◎支援が困難な方でも積極的に受けれてくださっています。引き続き受け入れをお願いします。 ②◎可能な範囲で重度の方を緊急時に受け入れていただけるとありがたい。		
			支援体制の確保について ①入居者の急病など緊急時の支援体制が確保されているか ②入力用の介護リフト等の設備はあるか ③BCPを策定しているか。		相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について ①相談支援事業者や他のサービス事業所と適切に連携をしているか。 ②医療機関と適切に連携をしているか ③通常時、緊急時の通院同行に対応しているか。			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			①日中は管理者、サビ管が判断し、往診医に相談や救急搬送を行っている。夜間に関しては夜勤者より管理者へ連絡、判断し救急搬送等の指示を出している。 ②●あり●原則は週3日の入浴を確保している。 ●夏場帰宅時に汗だくになっている人は毎日入浴している。●通所先（生活介護）で入浴するケースあり ③●BCP策定済●5日分の備蓄を確保●蓄電池設備あり●夜間時の避難訓練の実施●車椅子利用者の避難支援方法の確認をおこなっている。 ●地域住民の避難受け入れ可能	①夜間の緊急時支援体制は確保されており、適切な緊急時対応をされています。しかし、人員に余裕がないため、緊急対応時は通常業務を行う人員が不足が生じ、結果現場職員の頑張りに支えられている状況となっている。 ☆夜間時、早期時の人員体制の増強を望みます。 ②☆毎日入浴できる体制を整えていただきたい ③BCPの策定のみならず、災害時の備蓄、備品の整備をしている。 現場に即した避難訓練の実施も行っている。事業所が避難所となりうる準備ができている。 ☆引き続き災害時の備えをお願いします。	①必要があれば随時連絡を取り合い情報共有に努めています。 ②●医療連携しているクリニックがあり、適切に運用しております。また、月に1回訪問看護を入れており、医療連携に努めています。 ●訪問歯科を導入 ③●対応しております。 ●日中サービス事業所と連携している。	①昨年度と比較して、日中サービス事業者と相互に連携強化が図られています。 ☆日中サービス事業者より、「ひげのそり残し」がある」などの送り出しケアの不備が多いとの声がある。 事業所内の職員間の引継ぎが不十分なケースが多いとの声があります。 ☆支援体制の強化、適切な人員配置を望みます。 ② 現在、強度行動障害、医療的ケア者はいないが、進行性の難病や末期がんの利用者を受け入れている。本人の希望を尊重しつつ、訪問看護で対応できる範囲で受入れを継続する方針とのこと。 ☆医療機関との連携し、できるだけ本人の希望を尊重した受入れをお願いします。 ③☆必要時のかかりつけ医の通院同行を実施している。引き続き支援をお願いします。		

	市町村	定員	利用者の主な日中活動について ①6H内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ②外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について ③外部の日中活動サービスの利用者人数： 人		地域に開かれた運営について ①家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ②実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ③実 習 生： 人ボランティア： 人		その他	
3	市川市（グループホームワンコといっしょ市川大野）	6人	事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
			①日中はレクリエーションや買い物同行など提供しております。 ③4人	①外出時は必要であれば2人同行していると聞きました。引き続き利用者に寄り添ったサービスの提供をお願いします。	①町内会と連絡体制を構築しております。 ②0人	①開所前の挨拶や町内会への参加など、地域との繋がりを積極的に構築しているとお聞きしました。またホームは2重窓にするなど防音対策が施されており、設計時から近隣へ配慮している点を評価できます。 ②今後機会がありましたら、ぜひ受け入れをお願いします。	①利用者の個別支援計画の内容は適切か。 ○適切と考えております。 ②虐待防止（身体拘束）に関する取り組みをしているか。 ○取り組みはしております。 ③適切な食事を提供（調理方法・品数・量など）しているか。 ○しております。 ④可能であれば、事業所（グループホーム）における事業の実施状況を実際に現地で確認させてください。 ○了解いたしました。 ⑤市川市自立支援協議会及び各部会にご出席の際は、実際に事業所（グループホーム）に勤務している方のご出席をお願いします（サービス管理責任者等）。 ○了解いたしました。 ⑥社会福祉法第82条に基づきサービスに係る苦情を適切に解決するため第三者委員を置く場合、市川市自立支援 協議会の構成メンバー等を選任することは可能か教えてください。 ○可能です。 ⑦管理者や従業員に対する研修の実施状況について教えてください（回数、内容等）。 ○虐待防止委員会（2回）、身体拘束適正化委員会（1回）。 ⑧市川市では、面的な体制として整備する方向で、地域生活支援拠点等の整備を進めています。この趣旨をご理解いただき、面的な体制の一部として、地域の障がい者の重度化・高齢化や親亡き後を見据えた支援体制づくりに、可能な限りにおいてご協力いただけますか。 ○可能な限りご協力したいと考えております。	①・個別支援計画の相談支援事業所への交付をお願いします。 ・個別支援計画は相談支援事業所と連携を図りながら、より具体的な内容を入れていただくようお願いします。 ②全従業員を対象に研修を行っており、虐待防止の取り組みができています。 ③適切な食事を提供できています。（写真確認済） 今後とも利用者の健康管理を考慮した食事の提供をお願いします。 ④ホームは、エレベーターの設置や、介助しやすいように広く作られたトイレ、お風呂等、利用者が過ごしやすい環境となっています。 ⑤協議会等へのご出席をよろしく願います。 ⑥ ⑦JUT、動画による研修も実施しているのとことで、今後も従業員に対する丁寧な研修の実施をお願いします。 ⑧ご協力をお願いします。
			利用者に対する地域生活の支援の状況について ①利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ②感染症に対してどのような備えをしているか。 ③体験的利用等のニーズに対応しているか。		短期入所の併設について ①地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。 ②緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			①現在、日中は居られないので外出や余暇活動の支援はしておりません。 ②インフルエンザワクチンに関しては、利用者さんとスタッフに対して年一回無料接種しております。その他、一般的な感染症対策を行っています。 ③体験的利用をしていただいた後に、本入居としております。	③引き続き体験的利用の対応をお願いします。	①今年度実績 0名 ②まだ受け入れ実績はございません。	①今の利用者を第一に考えた上で、無理のない範囲で受け入れをお願いします。 ②緊急の受け入れ相談があった際は、積極的な受け入れをお願いします。		
支援体制の確保について ①入居者の急病など緊急時の支援体制が確保されているか ②入力用の介護リフト等の設備はあるか ③BCPを策定しているか。		相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について ①相談支援事業者や他のサービス事業所と適切に連携をしているか。 ②医療機関と適切に連携をしているか ③通常時、緊急時の通院同行に対応しているか。						
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			①必要時はスタッフが付き添い、病院に緊急受診するなど支援体制は確保されております。 ②現在は介護リフトが必要な方はおられませんので設置はしておりませんが、必要あれば導入予定です。 ③BCPを策定しております。	①引き続き支援体制の確保をお願いします。	①相談支援事業者等と適切に連携しております。 ②当社の代表取締役が経営するよしみメンタルクリニック（精神科）およびその他の科の医療機関と適切に連携をしております。 ③必要時は通常時、緊急時の通院同行を行っております。	①相談支援事業者とは適宜連絡し、通所先とも送迎の際、睡眠や食事の状況を共有されているとお聞きました。 また、外部の訪問看護ステーション利用者も受入可としており、入居者は慣れている事業所をそのまま利用できます。		

	市町村	定員	利用者の主な日中活動について ①GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ②外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について ③外部の日中活動サービスの利用者人数： 人		地域に開かれた運営について ①家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ②実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ③実 習 生： 人ボランティア： 人		その他	
4	市川市（リボングループホーム市川日中支援）	9人	事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
			①日中の利用者様の状況考慮し外出支援、買い物支援実施しております。 ②生活介護5名 就労B1名 デイサービス1名グループ内サービス（生活介護）利用者が6名 ③入居者8名中7名が外部の日中活動サービスを利用中	①☆日中の外出は利用者から要望があれば支援をお願いします。 ☆引続き店舗への買い物同行の希望があれば支援をお願いします。 ②☆外部サービスを利用していない方は自由行動としている。本人の希望に沿った日中の支援をお願いします。	① 地域の方にはGHの反対されている方もいらっしゃる、現状積極的な交流は難しいかと思います。 ②0人 ③今後、需要があるのであれば受け入れはしていきたいと思います。	①○開設時に個別に説明、自治会挨拶、内覧会を実施したとのことでしたが、 1～2世帯の周辺住民が反対運動をしているとのことです。今後、住民説明会の予定なし ○ その他の住民とは、日ごろ挨拶できる関係になっているとのこと ☆地域住民との関係構築は必要。自治会の加入、イベント参加してはどうか？ ☆地域連携推進会議を機会に地域住民への説明を実施してください。	①利用者の個別支援計画の内容は適切か。 ○添付資料をご確認ください。（非公表） ② 虐待防止（身体拘束）に関する取り組みをしているか。 ○虐待防止・身体拘束委員会設置し年数回実施している。 ③適切な食事を提供（調理方法・品数・量など）しているか。 ○朝は手作り、昼夕は栄養士監修の冷食を提供させていただいています。ご飯は玄米で仕入れてGHで精米したものを提供しご利用者様に合わせて量は調整させてもらっています。 ④可能であれば、事業所（グループホーム）における事業の実施状況を実際に現地で確認させていただきます。 ○かしこまりました。 ⑤市川市自立支援協議会及び各部会にご出席の際は、実際に事業所（グループホーム）に勤務している方のご出席をお願いします（サービス管理責任者等）。 ○かしこまりました。 ⑥社会福祉法第82条に基づきサービスに係る苦情を適切に解決するため第三者委員を置く場合、市川市自立支援 協議会の構成メンバー等を選任することは可能か教えてください。 ○可能です。 ⑦管理者や従業員に対する研修の実施状況について教えてください（回数、内容等）。 ○事業所内では上記委員会と随時症例検討会を行いました。入社時、スタッフには利用者様の障害特性、GHの説明、倫理観について説明しております。また随時入浴やトイレ動作などの介助方法について指導しております。管理者は市川GH協議会への積極的な参加、11月にサビ管初任者研修終了、3月「強度行動障害のある方の支援者に対する研修」に参加しております。 ⑧市川市では、面的な体制として整備する方向で、地域生活支援拠点等の整備を進めています。この趣旨をご理解いただき、面的な体制の一部として、地域の障がい者の重度化・高齢化や親亡き後を見据えた支援体制づくりに、可能な限りにおいてご協力いただけますか。 ○2024年6月上旬に地域生活支援拠点等の申請書類提出済みです。当事業所の強みを活かしながら地域のお役に立てるよう協力させていただきます。今後ともよろしくお願いいたします。	①☆基本理念にあるように利用者自身の時間を豊かに過ごす為の支援計画を作成していただきたい。 ☆知的障害、精神障害への障害の理解を深め、障害特性に応じた支援計画の作成、支援を行っていただきたい。 ②☆知的障害、精神障害について外部研修を実施し、第3者の意見を取りいれてどうか？ ③☆引き続き提供をお願いします。 ⑦外部研修の実施などで障害理解を深めていただきたい。 ⑧継続してご協力をお願いします。
			利用者に対する地域生活の支援の状況について ①利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ②感染症に対してどのような備えをしているか。 ③体験的利用等のニーズに対応しているか。		短期入所の併設について ①地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。 ②緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			①身体介助が必要な方が多いので、転倒リスクなどが無い状況に外出支援実施しております。余暇に関してはそれぞれで実施できていますが、GH側で実施できることは現在検討中です。 ②感染症対策委員会を設置しております。業務基準では次亜塩素酸を利用した消毒業務を設け、日々消毒業務・換気等をスタッフに対して指導しております。 ③在宅・入院中など状況を問わずお受入れしております。希望があれば見学だけでも対応しております。体験利用を繰り返し慣れてもらい、本入居に至ったケースはあります。受入れ可否の判断は、事前の本人面談や関係者の意見を聞き判断しています	①☆車いす使用者が3名居住中とのことでしたが、計画相談支援員と連携し移動支援等の外部サービスを進めてはどうか。 ②☆体調管理の徹底と体調不良時の連絡体制を整えるようにしてください。 ③☆体験利用でうまくいかず、失敗体験となってしまうことがある。事前アセスメント等で不要な失敗体験をしないように、受入れの際は慎重に検討してほしい。	①現状いただいたお問い合わせには、全て受け入れさせていただいております。今年度実績 5名 ②昨年度、1名緊急受け入れいたしました。2023.6～緊急の受け入れ相談4件です。お受入れ可能でしたが、他事業所様のご利用となりました。 2024年6月上旬に地域生活支援拠点等の申請を致しました。	①☆継続して短期入所の受け入れ対応をお願いします。 ②できるだけ早い緊急時の受け入れの可否判断をお願いします。		
			支援体制の確保について ①入居者の急病など緊急時の支援体制が確保されているか ②入力用の介護リフト等の設備はあるか ③BCPを策定しているか。		相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について ①相談支援事業者や他のサービス事業所と適切に連携をしているか。 ②医療機関と適切に連携をしているか ③通常時、緊急時の通院同行に対応しているか。			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			①緊急時対応の指導と消防庁の資料を掲示しスタッフに啓発しております。 ②手すり、シャワーチェア、滑り止めの設置をしております。 ③しております。	①○緊急時の支援体制が管理者に情報伝達できる整えている。 ②利用者の希望に応じて、自立している方、シャワー椅子に介助で移乗できる方は施設内で入浴している。その他の方は生活介護等の日中サービスで入浴を行っているとのことです。利用者の希望に応じて入浴ができるよう支援をお願いします。 ③災害対応、備蓄の状況しているとのことです。 ☆災害時対応マニュアルの職員の理解はできているか、避難訓練は未実施。定期的な避難訓練の実施してください ☆太陽光発電式蓄電池の設備あり。停電時もエレベーター利用可能とのことでしたが、エレベーター停止時の車椅子利用者の避難を検討必要	①相談員さんのモニタリング訪問や適宜支援に対する相談連絡、担当者会議への参加、通所先との連絡ノート、退院時カンファレンスにも参加し入院中からご利用者様の支援に関わっております。特にグループ内の情報連携は密に実施できております。 ②訪問診療、訪問薬局、訪問看護介入している方もいらっしゃる、細かな体調不良等にもご対応いただけております。訪問時の情報共有に努めています。 ③対応しております。	①○医療・介護・障害分野で共有する多職種連携のコミュニケーションツールを利用しているとのこと。 ②引き続き適切な連携をお願いします。 ③引き続き必要時、緊急時の通院同行対応をお願いします。		

	市町村	定員	利用者の主な日中活動について ①GH内で主にとどのような日中サービスを提供しているか。 ②外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について ③外部の日中活動サービスの利用者人数： 人		地域に開かれた運営について ①家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ②実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ③実 習 生： 人ボランティア： 人		その他	
5	木更津市（オーシャンテラス）	20人	事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
			①平日の日中は生活介護事業所に通所するが、通所せずにGHで過ごすことを希望する利用者や、体調不良等で外出の出来ない利用者に対しては、GH内で介護支援を実施して、生活の質の向上を図っている。また、休日には、敷地内でバーベキューや焼き芋、餅つきや調理実習など、利用者が楽しめるサービスを提供している。 ②生活介護事業所では、ドライブ、遠足、クリスマス会・夏祭り・運動会などの行事、映画鑑賞、リズム体操等の運動、海岸通りの散歩散策、パズルやゲーム、野菜の栽培など、利用者の希望も取り入れながら幅広くサービスを実施している。 ③18人	①②大型バスにてドライブに行く様子が見られた。楽しそうにされている利用者も多く見られた。大勢で楽しめる行事もあり、動ける方には充実しているように見えた。 生活介護事業については、あまり明るいイメージが持てずフロアに大勢が集められているだけの印象を受けた。もう少し個々の特性に合わせたリハビリや作業があっても良いかと思った。利用者数が多い中で職員数が少ない印象を受けた。	①当法人の企画するお祭りやクリスマス会、バーベキューなどで、利用者のご家族との交流の場を提供している。また、地区自治会に加入し、お祭りや清掃活動、地域主催の津波避難訓練など、地域の行事等に積極的に参加するようにしている。 ②大学生の実習生を受け入れている。 ③実習生：2人	家族が参加できる行事の開催や、お祭り等の大人数ならではの楽しみが多くある印象を受けた。ゴミゼロ運動や津波を想定したホテル三日月までの避難訓練も楽しみながらできている様子であった。 利用者も多く、規模の大きい施設なのでボランティアの受け入れもあっても良いかと思った。		
			利用者に対する地域生活の支援について ①利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ②体験の利用等のニーズに対応しているか。		短期入所の併設について ①地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。 ②緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			①車でドライブや公園内の散歩散策、スーパーマーケットやコンビニ店での買い物支援など、人との触れ合いを大切にした支援を心掛けている。また、地区自治会に加入して地域の清掃活動に参加したり、地域の行事等に積極的に参加している。 ②体験利用を積極的に受け入れている。 木更津事業所の全体で、2023.1.1～2024.8.1まで68人を受け入れて、うち54人が本入居となっている。	利用者個人で好きなものを買って施設で管理されていた。ご家族の協力もあり、おやつ等食事以外の楽しみがそれぞれにあることが確認できた。買い物支援がないと難しい利用者もいると思うが、支援が実施されていたのが確認できた。 体験利用については、近隣都県からも積極的に受けている印象であった。	①希望があれば受け入れることは可能である。現状では、体験利用から本入居へのニーズを優先させている。 ②上記の様に体験を優先しているが、要望により短期入所も一時的に受け入れている。また、緊急の受け入れも実施し、結果として本入居されたケースもある。	地域との関わりも増えると思うので、地域で暮らす障がいのある方の受け入れを積極的に行って欲しい。現在は他県からの利用者が多い様子。		
支援体制の確保について ①日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか ②職員研修を実施しているか		相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について						
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			①国・県の定める基準に従い職員を配置しており、常時支援体制を確保している。 ②年間を通して様々な研修を実施している。（虐待防止研修、強度行動障害支援者養成研修、自閉症基礎研修、相談支援従事者研修、感染症研修、AED救命研修など	基準に沿って職員配置はされていると思うが、重度の利用者が多い中で日中の現場が手薄に感じられた。 研修等は充実されているのがよく分かった。研修のテーマに職員のメンタルケアに関する内容も導入しても良いかと思う。	GHの新規開設を行っており、県内のみならず関東近隣の相談支援事業者等と連携を取りながら、入所希望者を募っている。また、近隣の相談支援事業所に、当法人の利用者の計画相談や利用計画の作成を依頼している。	他県の利用者も多いので、多方面から相談があると思う。今後も地域の相談支援事業者やサービス事業者と連携を図って欲しい。		

	市町村	定員	利用者の主な日中活動について ①6H内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ②外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について ③外部の日中活動サービスの利用者人数： 人		地域に開かれた運営について ①家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ②実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ③実 習 生： 人ボランティア： 人		その他	
6	木更津市（ふわふわ木更津貝淵） （桜井新町）	20人 30人	事業者	協議会	事業者	協議会	特になし	車椅子の利用者の居室が2階になっているとのことなので、火災時の対応を決めておいた方が 良いかと思う。
			①食事提供、入浴介助、トイレ介助、移乗介助、洗濯支援、通院同行、レクリエーション、相談 ②生活支援、リハビリ、B型就労 ③9人	ほとんどの方が併設の生活介護を利用しているが、外部の就労継続支援B型の利用もあり利用者の希望に沿っていると感じた。 若年性パーキンソン病の利用者とのコミュニケーションのために「あいうえおボード」を活用するなど工夫がなされていた。 離設ぐせのや自傷行為のある方等、目が離せない利用者が多く、職員の負担も多いと思うが、「恵」報道もよる辞職者はおらず、新人職員もいるとのことで、世間の目や介護量の多さという重圧の中で、職員はそれぞれ不安を抱えていると思われる。今後も見守っていく必要がある。	①年に数回の自治会によるごみ拾いに参加している ②実習生、ボランティアについては受け入れ可能だが、今のところなし ③実習生：0人 ボランティア：0人	ゴミゼロ運動に生活介護の一環として、利用者と参加していることから、良い地域交流ができてい ると評価できる。 福祉系かどうかは問わずに、学生アルバイトやボランティアを受け入れていることはとても良いことであるが、事故防止の観点から身体介護技術について新人職員並みの研修を行う等、障害や福祉業界への理解が深まる取組みを今後期待したい。 実習生は保育や福祉の学生に限定されてしまうので、専門的ではない学生のアルバイトを雇っていることは評価できる。		
			利用者に対する地域生活の支援について ①利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ②体験的利用等のニーズに対応しているか。		短期入所の併設について ①地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。 ②緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			①季節ごとのイベントによるレクリエーション、ドライブや散歩 ②入居前にグループホームの生活に慣れるために体験利用していただいている 20人	月1回利用者の誕生日会や季節ごとのレクリエーション等を行っていて、利用者の余暇は充実していると評価できる。 食事はタイヘイを利用しているが、味付けがワンパターンにならないように、中華風やイタリアン風にするなどひと手間加えてから提供している。主食がご飯であるため、パンを食べたい人にはおやつで提供するなどの工夫も見られた。	①可能な限り受け入れている ②他事業所から強制的に退居させられた方の受け入れをした	地域の他施設でに受け入れが困難な利用者をたくさん見てもらっているため、とても助かっている。 現在受け入れが出来なくなっていることが残念。 短期入所を各フロアで1名ずつ受け入れており、それぞれ定期利用者がいるとのことなので、地域から必要とされていると評価できる。		
支援体制の確保について ①日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか ②職員研修を実施しているか		相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について						
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			①常時、1F・2Fには支援員が各1名以上勤務、土日については各2名が勤務している ②虐待防止委員会等の研修を毎月行っている	男性職員が1名しか所属していないとのことで、非常時に女性職員の力だけではどうにもならないことがあると思うので、2～3名程度は男性職員がいても良いと思う。 虐待防止・権利擁護の観点から、職員の控え室に禁止用語一覧やスピーチロックの例が貼りだされており、常に意識する姿勢を感じた。また、禁止用語の発言に対して指摘や反省だけではなく、会議等で適切な言葉や対応についてディスカッションする機会がありよいと思った。	利用者の健康状態を把握するため、他事業所、相談支援員、医師等と情報を共有している	利用者には全て計画相談支援が入っている。空室を早く埋めたいためセルフプランでも受入れる日中サービス支援型グループホームがある中で、全てに計画相談支援がついているという姿勢は大いに評価できる。		

	市町村	定員	利用者の主な日中活動について ①6H内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ②外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について ③外部の日中活動サービスの利用者人数： 人		地域に開かれた運営について ①家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ②実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ③実 習 生： 人ボランティア： 人		その他	
7	木更津市（万石の家）	15人	事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
			①それぞれに合った机上課題、歩行運動、訪問リハビリ、ドライブ、屋内外での作業など ②利用者なし ③0人	1人1人の個性に合わせた支援をなされている。個人に合わせた机上課題も取り組んでいる利用者もあり、個人にあった時間を過ごしている印象であった。ごく一部の利用者が他の利用者のお世話をされていて、外部活動ができるのではないかとすることがあった。 強度行動障害の方を受け入れており、困難ケースに関しては体験利用を重ねて細かくアセスメントする等受入れを丁寧に行っていると評価できる。	①毎月第1月曜日に近隣の方々の交流活動の場所として事務所建物内のホールを提供し、施設との交流を深めている。 また、気候の良い時節にはご家族をはじめお声がけをし、施設庭園でのバーベキューを開催している。 ②受入れなし ③実 習 生：0人ボランティア：0人	地域住民の集いが月に1回開催されていて、開かれた印象であった。見学日には警察による防犯指導の内容で勉強会が開催されており意味のある活動をされていると思った。その他手芸教室が行われる日もあるとのこと。 居室は施錠しておらず、玄関も簡易鍵であり。地域住民と利用者が関わりあえる環境であると感じた。 ボランティアについては、受入れていないとのことなので、今後受入れても良いかと思う。		権利擁護や虐待防止等の観点から利用者の呼称問題を考えることがあるが、利用者の立場に立って「コールネーム」を伺い、承諾を得ていることに関心した。考え方には色々あるが、暖かみがあり、利用者を尊重したコールネームで関わりを持っていた。
			利用者に対する地域生活の支援について ①利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ②体験的利用等のニーズに対応しているか。		短期入所の併設について ①地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。 ②緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			①ドライブ、テーマパークなどでの教育娯楽、施設庭園でのバーベキューや昼食。 ②体験利用をされた方が現在入居の利用者であり、現行体験利用者がいる。 本入居を目標とされる体験利用者がほとんどであり、施設見学から日中の数時間と、徐々に期間を増やす体験利用。	施設内に畑もあり人間として当たり前の生活を利用者が一緒にしていると感じられた。 災害時に備えてや、食生活に変化を持たせるために、あえてカップラーメンや外食・お弁当を買って提供する日もあるのはよいことだと評価できる。 体験利用について、半日からの体験も受け入れていて、環境の変化に弱い方にも配慮されているものだと感じた。	①空き状況にもよるが、体験利用と同様に対応している。 ②市役所からの連絡から、受入対応を行ってきている。	短期入所も含めて、可能な限り対応されていると感じた。現在、居室を増設している最中で、地域の問題点にも真摯に向き合っていると感じた。		
			支援体制の確保について ①日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか ②職員研修を実施しているか		相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			①正職員は週40時間の変則型勤務であり、パート職員とシフト制で24時間体制で支援を行っている。 ②月例の全職員会議とウェブ研修、マニュアルの確認。	常に「ホウレンソウ」を意識していると感じられた。 シフト制でどの施設でも課題だが、職員不足を感じた。特に土日の日中支援は手薄に感じた。食事は調理員2名配置で手作りしていて、味見係、配膳係を利用者が担っていることからアットホームさを感じた。	利用者の状況やご家族からの連絡や意向などで、報告、連絡、相談を行い連携を図っている。	緊急的な短期入所も多く受け入れていることから、行政機関や相談支援事業者等との連携もなされていると評価できる。		

	市町村	定員	設立目的・運営方針 ①設立目的 ②運営方針		相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について		その他	
8	松戸市（あおば）	39人	事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
			①利用者が地域において共同して自立した生活を営むことができるよう、利用者の身体及び精神の状態並びにその置かれている環境に応じた、適正かつ効果的に支援することを目的とする。 ②関係法令を遵守し、他の社会資源との連携を図り、適正かつきめの細かい共同生活援助サービスの提供を行う。		日中サービス支援型の目的を理解して運営されていると思われます。特に、強度行動障害や身体障害の方を線的なスキルを持つ職員を育てた上で受け入れており、障害の多様化に対応できるよう努めているところを評価いたします。		入居者やその家族状況等について連携を密にして支援している様子がうかがえました。相談支援事業所と密に連絡が取られていることもわかりました。将来の介護需要の増大を見据え、現在利用されていない方の相談支援の利用もご検討ください。 また、相談支援専門員のうち、外部の相談支援専門員の割合について次回の評価部会にてご教示ください。	
			利用者の主な日中活動について ①6H内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ②外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について ③外部の日中活動サービスの利用者人数： 人		従業者の資格取得状況や実務経験について ①支援スキルの高い管理者を置いているか。 ②支援スキルの高いサービス管理責任者を置いているか。 ③支援スキルの高い従業者を置いているか。			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			①買い物、ドライブ、ウォーキング等 ②・生活介護事業・就労継続B型事業 ③37人	①昨年から変わらずに利用者の余暇支援を行っており、評価できます。 ②平日は入居者全員が外部のサービスを利用しており、日中活動の機会が確保されている点を評価いたします。また、説明からグループホーム内だけでなく、積極的に外部の事業所と連携し対応されている様子がうかがえました。	①知的障害者施設にて20年勤務。その間、生活支援員、主任、施設長補佐、サービス管理責任者を経験。4月よりあおば管理者。 社会福祉士、サービス管理責任者、強度行動障害支援者実戦研修、認定調査員等。 ②2名配置。共に知的障害者施設(生活介護、共同生活援助)にて生活支援員として10年程勤務。今年度よりあおば主任に昇格。 1. サービス管理責任者、強度行動障害支援者実戦研修、介護初任者研修等。 2. サービス管理責任者、強度行動障害支援者実践研修等。 ③常勤の生活支援員のうち13名は強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）を受講済みで、そのうち4名は実践研修受講済みである。社会福祉士3名、介護福祉士3名、精神保健福祉士1名の資格者有り。	①今年度より管理者になられたとうかがいましたが、昨年度まで補佐の立場で在籍していたため事業所の様子についてよく把握されており、質問にも適宜回答いただきました。 ②経験豊富で支援スキルの高い職員が配置されていると思われます。 ③強度行動障害の方への対応について、必要な専門職が配置されていると思われます。研修の機会についても確保されている様子がうかがえ、定期的な職員会議により、適切な情報共有がされていると感じました。		
			利用者に対する地域生活の支援状況について ①利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか ②体験の利用等のニーズに対応しているか		障害福祉関連事業における経験がない従業者に対する対応 ①事業所内、外部研修の年間受講計画はあるか。 ②資格取得への取り組みはあるか。			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			①外出については、移動支援を活用しての外出や6Hにおいても可能な範囲で散歩やドライブ等の機会を設けている。 外部サービスとして訪問診療、訪問マッサージ、訪問理容等も活用している。 ②体験利用者数：2名。単身、居宅サービスを利用しながら生活を送っていたが、生活の維持が難しくなり相談支援事業所並びに成年後見人より相談を受け体験利用を実施した。	①外出の機会確保に努められているほか、外部サービスを利用してグループホーム内での生活の充実を図られており評価できます。後述の『協議会からの要望、助言への対応』項目より、移動支援を一人あたり月平均3回利用しており、自由に外出の機会を持つ事ができていると感じました。 また、松戸クリニックの閉院に伴い、訪問診療を導入されたことをご説明いただきました。利用者のADLや特性に配慮し、通院時の負担軽減となることを判断のうえ導入しており、日々のアセスメントがなされている結果であることを評価いたします。今後、利用者の高齢化がより進むと思われますので、訪問診療のさらなる活用等、利用者の病態やADLに即した医療サービスを常にご検討ください。 ②地域の利用者需要に応えている事業所であることを把握いたしました。	①法人内で年間研修計画を立て、それに基づいて研修を実施している。 外部研修については、その都度案内に従い、該当する者に受講を促している。 ②講習を受講することで取得できるものは、適任と思われる者に積極的に受講を促している。国家資格については資格取得後、資格手当として給与に反映するようにしている。	①法人全体で研修が計画され、受講機会が確保されており、事業所だけでなく法人全体で研修体制が整備されていると感じました。 ②資格手当を整備し、資格取得の意欲を高められるように取り組まれており、質の高い研修や国家資格の取得により、レベルの高い職員を育てようとする姿勢を評価いたします。		

地域に開かれた運営について ①家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ②実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ③実 習 生： 人ボランティア： 人		利用希望者の受入れ可否の判断基準について ①利用希望者の受入れ可否の判断基準はあるか。 ②実際に利用希望があった時に受け入れを断った例はあるか		その他	
事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
①定期的に家族会を各住居ごとに開催し、運営状況の説明や要望等、意見交換の場を設けている。 各住居において町内会に入会し、ゴミ当番を輪番でおこなっている。 ②該当なし。	①家族会を住居ごとに開催し、運営説明や意見交換の機会が設けられるなど、企画立案を含め丁寧な姿勢が受け取れました。開かれた運営をされている点を評価いたします。 町内会への入会についても評価いたします。継続して地域との交流に努めていただきたいと思います。 ②平日は利用者全員が外部サービスを利用されているため、実習生の受け入れは難しいと思いますが、利用者・家族以外の第三者の視点が入る機会があると好ましいです。	①明確なものはなく、体験利用でGHの暮らしを経験した上でご本人が家庭を離れた生活に順応し、入居を希望した場合受け入れ可能としている。その際、相談支援事業者やご家族、関係機関等による最終的な調整会議を行い判断している。 ②該当なし。	①入居前に必ず体験のうえ、本人がグループホームでの生活に納得し、希望した場合に受け入れており、本人の意思を尊重されている点を評価いたします。 ②ホームによりバリアフリーへの対応状況が異なることから、希望者の特性によっては受け入れの可否について判断せざるを得ない場面があるのではないかと感じました。		
短期入所の併設について ①地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。 ②緊急・一時的な支援等の受け入れ人数と事例		災害等における体制整備及び防災への備えについて			
事業者	協議会	事業者	協議会		
①前年度の受け入れ人数 受け入れ人数：62人（うち市の事業による受け入れ：11人） ②17人 休日に母親（介護者）が交通事故にあってしまい、病院に搬送されたことにより、その時点から介護者不在となりすぐに短期入所を利用した。	①多数の方を受け入れており、地域の資源として浸透し、地域のニーズに応えられていると考えられます。特に緊急時に対応されている点を評価いたします。 ②緊急受入事例は好事例であると考えられます。新規の方も含め、今後も積極的な受け入れをお願いします。また、緊急時対応者で過去に利用歴がある方もおりましたが、そのような方に関しては相談支援専門員と連携し、なるべく緊急の状態にしない対応についてご検討ください。	業務継続計画を整備し、今年度より運用している。 食料品の備蓄は各住居ごとに概ね1週間分は備蓄している。その他不足が生じた際は法人内の通所事業所より物品や人員の協力が得られるよう備えている。	災害時に備えた食料品や人的支援が明確に計画されている点を評価いたします。 防災に対する取り組みの事例について次回の評価部会にてお示しください。		
支援体制の確保について 日中・土日を含めた情事の支援体制が確保されているか		協議会からの要望、助言への対応			
事業者	協議会	事業者	協議会		
各住居とも利用状況に応じて支援体制を整えている。支援状況によっては夜間支援者を2名体制にしている。	状況に応じて職員の支援体制を整えていることがうかがえました。	現在グループホーム利用中の移動支援利用者は7名。一人あたり月平均3回利用。 適時の報告やサービス提供記録、引継ぎノート等での各住居、各利用者状況の把握。定例の職員会議（ケース会議を含む）での検討や情報共有を行い、会議録を回覧し全職員に周知を図っている。	移動支援など外部のサービスを利用できることは利用者にとって有益であるため、継続をお願いいたします。 利用に関する情報伝達も適切に行われているように見受けられました。		

	市町村	定員	設立目的・運営方針 ①設立目的 ②運営方針		相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について		その他	
9	松戸市（ソーシャルインクルーホーム松戸東平賀）	10人	<div>事業者</div> <div>①共同生活援助と短期入所の運営規定を添付致します。 運営規定 第1条をご参照ください。 ②共同生活援助と短期入所の運営規定を添付致します。</div>	<div>協議会</div> <div>①日中サービス支援型の目的を理解して運営されていると思われます。</div>	<div>事業者</div> <div>ご入居者様のご希望や体調の変化、お怪我や入院等があった際は必ず関係する事業所へご連絡し、必要に応じて担当者会議を開き情報共有と安全な支援方法について一緒に考えます。 事例①（非公表） 事例②（非公表） 事例③（非公表）</div>	<div>協議会</div> <div>利用者の希望に沿って関係者と連携し、支援をしている点を評価いたします。 関係者への情報共有や担当者会議の開催など、グループホーム側から積極的に連携を取っている様子がうかがえ、相談支援専門員のほかグループホーム等支援ワーカーを活用して協議されており、好ましいと思います。 事例からも適切に役割分担されたうえで対応されていることがうかがえます。</div>	<div>事業者</div> <div>車いすの方でも生活できるように、エレベーターやトイレの設備、リフト浴もあります。洗面台も1階・2階に車いすの方でも使いやすいようになっています。玄関、風呂場に段差はありません。 訪問看護と業務委託を結んでおりますので月2回の訪問看護があり、個別で訪問看護をご契約していない方でも健康観察をして頂いたり、健康に不安がある時はいつでも相談できます。 また、かかりつけ薬局を統一しておりますので、誤薬が起きないように管理していただき、薬について不明点があれば薬剤師に相談出来るように連携しております。 食事についてですが、感染症対策の為、居室配膳で召し上がっていただいております。見守りが必要な方は、リビングにて食事をしていただいております。ご入居者様の予定に合わせ食材の発注をしており、献立は食材発注業者の栄養士によって栄養価が計算されており、適切な調理方法に基づいてホーム職員にて調理し、出来立てを提供しております。 また、嚥下機能に合わせて、刻み食やとろみ食も提供しております。</div>	<div>協議会</div> <div>施設のバリアフリー化がなされており、施設整備については充足していると思われます。 誤薬予防を考えたかかりつけ薬局の統一や、利用者に合った食事の提供など、重度の方や高齢になっても住み続けられる取り組みが日常的にされていると感じました。 また、訪問看護との契約により、24時間対応がされていることは利用者の利益になるほか、職員の安心にも繋がることから、好ましいと考えます。今後、加齢とともに医療ニーズが高まり、看護師による健康観察だけでは心身の安定を保てなくなった場合には、主治医の指示に基づいた訪問看護に切り替えていただくことをお勧めいたします。 居室での食事については一定のメリットはありますが、共同生活の観点から、なるべく共同で食事が取れるよう検討をお願いいたします。 むせが増えるなど嚥下機能の低下に伴い、食形態等、食事に関することで日常的に助言を受けたい場合には訪問歯科を導入することをお勧めいたします。</div>
			利用者の主な日中活動について ①GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ②外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について ③外部の日中活動サービスの利用者人数： 人 ④外部の日中サービスを利用していない方がいる場合は、その主な理由と、GH内での生活スケジュールの個々の事例を挙げてください。		従業者の資格取得状況や実務経験について ①支援スキルの高い管理者を置いているか。 ②支援スキルの高いサービス管理責任者を置いているか。 ③支援スキルの高い従業者を置いているか。			
			<div>事業者</div> <div>①入浴介助・更衣介助・排泄介助・体位交換・居室掃除・洗濯補助・健康管理・服薬管理・金銭管理・受診・外出同行、行政手続きの代行や同行など、ご入居者様が出来ない部分を支援しています。 ②就労移行支援：1名。生活介護：4名。 ③5人 ④（非公表）</div>	<div>協議会</div> <div>①相談支援専門員と連携し、上手く対応ができていると思われますが、直接介助を要する方において、有資格者による対応がなされているか説明に不足がありましたので、次回の評価部会にてお示しください。 また、金銭管理や行政手続きについては、必要な支援の程度によって成年後見制度の利用もご検討ください。 ②日中サービス支援型グループホームから就労移行支援を利用する方がおられるのは望ましいです。日中活動が偏ることもなく、本人の希望をくみ取れている様子が見受けられました。 ④利用者支援について日々の様子が伝わってきました。 外部の日中活動サービスを利用しない方に対して、職員が個別に対応されたり、必要に応じて訪問サービスを利用されるなど、生活の質が保たれるよう柔軟に対応されている様子がうかがえました。生活の拠点としてだけでなく、日中の活動も含めたトータルな支援を評価いたします。 様々な障害種別があることから個別のニーズを反映することは難しいとは思いますが、引き続きの対応をよろしくお願いいたします。</div>	<div>事業者</div> <div>① 令和2年4月 ソーシャルインクルーホーム越谷花田 施設長 令和3年2月～ソーシャルインクルーホーム松戸東平賀 管理者 不安な事・分からない事はエリアマネージャーに相談やフォローをしていただいております。毎月、本社ミーティングと千葉エリアのミーティングがあり、虐待防止など障害福祉について学ぶ事が出来ます。 ② 平成25年5月～平成30年12月 訪問介護員 平成30年12月～令和2年12月 介護ステーション 訪問介護員 令和2年12月～令和3年12月 就労継続支援A型 職業指導員 資格 精神障害者ホームヘルパー・同行援護従業者・介護福祉士・千葉県相談支援従業者初任者研修・サービス管理責任者基礎研修・サービス管理責任者実践研修 ③ 社会福祉士1名・介護職員初任者研修3名・移動支援従業者養成研修1名・訪問介護員2級養成研修課程1名 経歴として、生活介護や就労継続支援A型の職業指導員をされていた方が3名います。知的障害者入所施設で生活支援員をされていた方が1名います。</div>	<div>協議会</div> <div>法人として管理者のフォロー体制ができていると感じました。</div>		

利用者に対する地域生活の支援状況について ①利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか ②体験の利用等のニーズに対応しているか		障害福祉関連事業における経験がない従業者に対する対応 ①事業所内、外部研修の年間受講計画はあるか。 ②資格取得への取り組みはあるか。		その他	
事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
①芸能人のコンサートがあり、新幹線で早朝から名古屋に行かれた方や、映画を観に外出される方がいます。移動支援を利用している方もいます。 ご実家に泊られる方や、ご家族と外出や外食される方もいますので、それぞれのスケジュールに合わせ、入浴時間や食事の発注と提供時間を変えています。外出時の薬の用意や、外出前の身支度、金銭管理などを支援しております。また、ホーム内で桌上ゲームを一緒に行ったり、行政手続きの代行や、同行を行っております。 ②令和5年6月1日から令和6年5月1日までの間、1名が弊社施策の無料体験入居を1週間利用し、そのままご入居の運びになりました。 （事例）ご自宅からのご入居です。ご自宅だと「ご家族の指示に自傷行為をしてしまう」と困り、相談員様から問い合わせがございました。当ホームなら、通所先も変わらず環境の変化も少ないという事で、体験中も不穏になる事なく過ごされたので、そのままご入居になられました。	①利用者の趣味や家族との交流などがグループホームに入居されていても制限されておらず、自由な生活を送られている様子がうかがえます。 個々のスケジュールに合わせ、利用者主体の支援が行われている点は評価いたしますが、個別の予定に基づいて支援時間が組み立てられているため、他の利用者と利益が相反する可能性がある点にご留意ください。 早朝からの移動支援について、内部で対応されたのか、外部のヘルパー事業所を活用されたのか次回の評価部会にてお示しください。 ②貴社の無料体験入居は利用者にとって金銭的な負担なく体験ができることで体験入居のハードルが下げられ、入居を検討する後押しになると思われます。大変ありがたい制度ですので、継続して実施をお願いいたします。 ホームが安心・安全な場所であることのフォローができており、心の安定につながっていると感じました。 自傷行為においては医師の見解もふまえながら、必要に応じてクライシスプランを作成するなどの経過観察をお願い致します。また、自傷行為をされた際の対応について職員間で共有されることが望ましいです。	①事業所内研修：会社での年間研修計画あり。（年間研修スケジュールをご参照ください。）毎月ホーム会議を行っており、入居者様の支援方法や、障害特性について確認しております。 事業所外研修：会社として強度行動障害研修やサビ管に関する研修はエリアマネージャーを中心に受講推奨、管理しています。今後、管理者や生活支援員などは率先して取得していきたいと考えております。 ②サービス管理責任者や強度行動障害に関する研修については受講費の補助があります。その他の資格取得に向けた講習や研修については、上長と検討のうえ、対応しております。	職員研修を計画的に実施されている様子がうかがえます。法人での研修計画の他に、入居者の特性に応じて、必要な研修を受講していただければと思います。 特に強度行動障害研修や初任者研修については積極的な受講をお願いいたします。		
地域に開かれた運営について ①家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ②実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ③実 習 生： 人ボランティア： 人		利用希望者の受入れ可否の判断基準について ①利用希望者の受入れ可否の判断基準はあるか。 ②実際に利用希望があった時に受け入れを断った例はあるか			
事業者	協議会	事業者	協議会		
①ご実家に泊られる方やご家族と外出される方がおり、制限は無く自由にご家族やご友人とご面会をしていただけるようになっております。 1名のご入居者様が誕生日の日に、ご友人からお電話を頂き、話しておられました。散歩や通院等の同行の際には、近隣の方と交流を持つ様に挨拶や会話等をしております。 また、ホームで行う避難訓練について、管轄されている消防署にご参加いただき、ご入居されている方の状況を共有し、避難経路や火災時の対応の仕方などをご指導頂きました。 ②ご入居の際に、弊社職員により引っ越しの荷物を運び、居室に配置致しました。今後は外部のボランティアの方の受け入れを積極的に検討してまいります。	①家族や友人と自由に面会でき、グループホームが開かれた運営をされていると感じました。 避難訓練の実施にあたり消防署の協力を得ることは、利用者・職員共に参考となる点が多く、地域との交流のみならず防災の取り組みとしても評価できます。 また、松戸市避難行動要支援者名簿への登録については利用者個人で登録されているのかお示しください。 ②他の日中サービス支援型グループホームにて、松戸市社会福祉協議会からボランティアの派遣を受けたとの報告がありました。他のグループホームと情報交換の機会を持ち、横の繋がりの構築についてご検討ください。	①添付させていただいた運営規定をご参照願います。 共同生活援助：第8条（入居にあたっての留意事項） 短期入所：第9条（サービス利用にあたっての留意事項） 運営規定にある規定を守っていただくとともに、特性に合わせ、支援の検討などをご相談させていただいたうえで、個々に決めてまいります。 ②短期入所の継続利用の希望があったのですが、暴言があり他入居者様が不穏になってしまった、居室でお香を焚いていたなどの行為があった為、お断り致しました。GH支援ワーカーに相談し、その方に合うGHへ入居になりました。	①受け入れにあたり最低限の基準を明記してある点は評価できます。 ②重度障害者を対象としていることから、受け入れ可否については慎重な判断をお願いいたします。 グループホーム等支援ワーカーを利用したフォローアップは適切であると思います。		

短期入所の併設について ①地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。 ②緊急・一時的な支援等の受け入れ人数と事例		災害等における体制整備及び防災への備えについて		その他	
事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
①前年度の受け入れ人数：2人（うち市の事業による受け入れ：0人） ②1名はご家族との関係性に悩んでおられ、一時的に距離を置きたいとの事で、短期入所をされました。もう1名は、シェアハウスに住んでいるが、住民と上手くいかずに不穩になってしまった方で、ご本人の訴えで緊急に利用したいとの事で短期入所されました。 令和6年1月より松戸市地域生活支援拠点の登録をしましたので、積極的にお受け入れをしたいと思います。	受入件数が少ないながら、緊急時に対応されている点は評価できます。 また、松戸市地域生活支援拠点に登録いただきましてありがとうございます。今後の利用者の受け入れにつきまして、積極的にご対応いただけますとありがたいです。	消防計画・非常災害対策計画に基づいて、年間ホーム研修で避難訓練を行っており、避難訓練に参加出来なかった職員には、避難訓練時の情報を共有しています。各計画書を提出いたしますので、ご参照ください。	災害時に備えた各種マニュアルが整備され、共有されている点を評価いたします。実務的でしっかりとした防災計画であると感じました。 また、参加できなかった職員にも情報共有がなされている点も評価いたします。 災害種類に応じた対応や夜間に発生した場合などにご留意ください。		
支援体制の確保について 日中・土日を含めた情事の支援体制が確保されているか		協議会からの要望、助言への対応			
事業者	協議会	事業者	協議会		
日勤2名・夜勤2名での支援体制です。日勤は共有部や居室の掃除、入浴介助や散歩、買物同行・受診同行等を行っております。風呂は、毎回掃除・湯の入れ替えをしており、ご入居者様は清潔に入浴出来ております。夜勤は夜間の2～3時間置きの巡視や、朝は全入居者様の血圧・体温・血中酸素濃度を測定しております。日勤、夜勤は食事の時間までに調理し、提供。服薬介助も行います。また、トイレの声掛けや排せつ介助も行います。	日中・夜間とも2名体制で対応し、特に夜間は巡視を行うなど、適切に対応ができていていると思います。 朝の健康チェックなどのバイタルチェックを適宜行い、利用者の状態について密に把握している点を評価いたします。	前回の助言にございました「災害時対策の研修」についてですが、本年度から災害訓練も年間ホーム研修スケジュールになりました。			

	市町村	定員	設立目的・運営方針 ①設立目的 ②運営方針		相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について		その他	
10	松戸市（ふわふわ松戸）	20人	事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
			①株式会社 恵が設置するグループホームふわふわ松戸において実施する指定障害福祉サービスの共同生活援助事業の適正な運営を確保する為に必要な人員及び運営管理を図ると共に利用者の立場に沿った適切な共同生活援助の提供を確保する事を目的とする。 ②株式会社 恵が設置するグループホームふわふわ松戸において実施する指定障害福祉サービスの共同生活援助の適正な運営を確保する為に必要な人員及び運営管理に関する事項を定め、共同生活援助の円滑な運営管理を図ると共に、利用者の意思及び人格を尊重し、地域での重要な役割を担う社会資源となるため、利用者の立場に立った適切な共同生活援助の提供を確保する事を目的とする。		日中サービス支援型の目的を理解して運営されていると思われます。		地域の相談事業所と、緊急時はもちろん常に施設の状況の連絡を取り合っていて、利用相談個別支援状況の共有を行っています。通所先の方々とも日々日数を重ねることに利用者の様子などが詳細に連絡を取り合える関係性が構築されており、問題や何か気になった点などの相談を行っています。	
			利用者の主な日中活動について ①GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ②外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について ③外部の日中活動サービスの利用者数： 人 ④外部の日中サービスを利用していない方がいる場合は、その主な理由と、GH内での生活スケジュールの個々の事例を挙げてください。		従業者の資格取得状況や実務経験について ①支援スキルの高い管理者を置いているか。 ②支援スキルの高いサービス管理責任者を置いているか。 ③支援スキルの高い従業者を置いているか。		松戸社会福祉協議会のボランティア活動団体との交流を行っています。その他、外出支援、お散歩支援の際は地域交流を深めるためにも挨拶運動を積極的に行っております。	
			事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
			①利用者それぞれの特性に沿い、日中活動を日々行っています。グループで季節の創作活動を主に行ない、個別に機能訓練、リハビリを定期的に行っております。強度行動障害利用者様には、個別に構造化されたプログラムに沿った活動をマンツーマン支援にて実施しています。 ②・就労B型（5名）・生活介護（7名）・移動支援（3名） ③15人 ④外部の日中サービスを利用したいが、受け入れ先がない方、日中もホームで過ごしたいとご希望される方もいます。 ・事例 7：00 起床、整容 7：30 朝食、口腔ケア 9：00 部屋の清掃 10：30 散策時間or散歩 12：00 昼食 13：00 創作活動（ビーズ通しや色分け、塗り絵等） 15：00 おやつ 16：00 入浴→洗濯 17：00 散策時間 18：00 夕食→口腔ケア 19：00 自由時間 22：00 就寝	①日中もグループホームで過ごす利用者が多い中、強度行動障害のある利用者に対し、マンツーマンによる支援ができていることは評価できます。 また、機能訓練やリハビリついて、医師や理学療法士等専門職からの指示には基づいていないとことでしたが、利用者のニーズと合致しているか検証が必要と思われます。 ②移動支援の記載がありますが、移動支援事業所において日中活動サービスが提供されるわけではなく、移動支援を利用して日中活動の場（生活介護、就労支援等）に移動するため、移動先のサービス等について記載すべきであり、日中活動サービスの記載内容として適当ではありません。 ④グループホーム内で1日を過ごす方でも規則正しく、閉じこもりがちにならないよう外出の機会を作られており、工夫がうかがえます。 日中もホームで過ごしたいと希望される方につきましても、利用者の不利益にならない範囲で社会参加の機会を積極的に提案をしていただきたいため、ホームでの滞在を希望されている理由や背景について把握されるようお願いいたします。	① 初任者研修修了 強度行動障害研修修了 実務者研修受講中 ② 社会福祉士 サービス管理責任者 相談支援従事者 介護支援に関わる実務経験が10年以上有り ③ 強度行動障害育成研修修了 3名 介護支援に関わる実務経験が3年以上の職員 9名 介護職員初任者研修修了 6名	①管理者業務として、障害特性などの専門的な知識が必要と思われますので、より一層の研鑽をお願いいたします。 ②サービス管理責任者の配置状況について今回の評価部会にてお示しください。 ③記載によりますと、昨年度から職員の変更がないように見受けられます。経験が長い職員が中心となり、同じ職員が関わることで安定した支援が行われていることが期待できます。	介護師は貴社の関連企業が運営する訪問看護事業所より派遣された看護師が日中常駐されているとのことでしたが、説明が足りないように感じましたので、今回の評価部会にてより詳細な状況をお示しください。	
			利用者に対する地域生活の支援状況について ①利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか ②体験の利用等のニーズに対応しているか		障害福祉関連事業における経験がない従業者に対する対応 ①事業所内、外部研修の年間受講計画はあるか。 ②資格取得への取り組みはあるか。			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			①職員管理のもと調理実習のようなイベント、レクにて余興活動をしています。外出支援は、近隣のスーパーに買い物支援、地域交流を深めるためお散歩支援に挨拶運動も続けております。 ②これまでの体験利用者の人数：12名。グループホームが未経験の利用者様に対してもホームでの暮らしを体験できる様にしており、体験から本入居への移行だけでなく今後入居を検討したいというニーズにも対応し、積極的に体験してもらっております。	①グループホーム内でのイベント開催など、生活が単調にならないよう取り組まれていると感じました。 強度行動障害者の方の外出は本人の安全確保等、課題が多いと思われますが、良く対応されていると思います。 挨拶運動は地域の方に利用者を知っていただけた良い活動と考えられますので、今後も積極的な地域交流の継続をお願いいたします。 ②入居を前提としていない体験についても積極的に受け入れている点を評価いたします。将来的な利用を考え、体験できる場があることは大切であると考えます。	①新人研修マニュアルを社内として取得（入社～6ヶ月間）6か月経過しても各種マニュアルの再研修を実施 外部権利擁護 虐待防止研修を2回行う強度行動障害支援者育成及びその他研修を選択して受講する計画となっております。 ②資格手当、給与の等級制度などの金銭面でのサポートや実務経験を積んだ職員へのサービス管理取得など、管理職を目指す様な育成体制を整えている。	①定期的な研修の受講や、一定期間後に再研修を行うなど、法人内の研修が適切に行われていると見受けられました。 ②資格手当を整備し、資格取得の意欲を高められるように取り組まれていると感じました。		

地域に開かれた運営について ①家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ②実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ③実 習 生： 人ボランティア： 人		利用希望者の受入れ可否の判断基準について ①利用希望者の受入れ可否の判断基準はあるか。 ②実際に利用希望があった時に受け入れを断った例はあるか		その他	
事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
①ご家族や保護者の皆様方とは現在積極的に連絡を取り合っており、内部の状況なども常々把握して頂ける様に努めていますボランティアの方々に来て頂き、歌やベリーダンス等々ご家族様もお呼びして開催しております。 ②松戸社会福祉協議会様からのご紹介でベリーダンス、歌等々披露をして頂きました ③ボランティア：15人	ボランティアの継続的な受け入れをしており、利用者の余暇支援としての機会だけでなく、家族との交流の機会にもなっている点を評価いたします。 また、継続して受け入れを行うことで、ボランティアと信頼関係が構築でき、ホーム内に第三者が入る機会によって開かれた運営につながる事が期待できます。	①基本的に重度支援区分の高い利用者様を主体で受け入れを行っている。医療依存が高く医療従事者の対応が必要なケースや精神疾患にて慎重な対応が必要なケースなど ②利用相談にて断った事例はありません。通所先との兼ね合いにより決まらなかった、家族との利用料の折り合いがつかなかったとの事例はありません。	①支援区分の高い重度の方を積極的に受け入れる姿勢は地域の資源として貴重であり、運営方針について評価いたします。医療従事者対応が必要なケースは入院等が見込まれますが、訪問診療や訪問看護を適切に利用しながら、医療的ニーズが高い方も受け入れ、地域で生活できる環境を提供していただけるとありがたいです。 ②利用相談を断ったことがなく、利用者主体で検討されていることが伝わりました。通所先との兼ね合いで入居されなかった事例に関しては本人の希望に沿った結果であると思われますので、評価いたします。 利用料については生活保護の利用等も視野に、基幹相談支援センター等の相談機関も交えて総合的に判断する必要があると思われますので、類似事例の際ご留意ください。		
短期入所の併設について ①地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。 ②緊急・一時的な支援等の受け入れ人数と事例		災害等における体制整備及び防災への備えについて			
事業者	協議会	事業者	協議会		
	評価部会当日の説明により、グループホームの周辺にある短期入所事業所（みんなの家ふわふわ松戸）において月130人程度の受け入れがあることを把握いたしました。	施設内の業務継続計画を策定し、避難訓練は、年2回実施しております。備蓄に関しては、常時3日分の備蓄を備えております。	定期的な避難訓練や災害時向けの備蓄など、基本的な備えはできているように見受けられます。		
支援体制の確保について 日中・土日を含めた情事の支援体制が確保されているか		協議会からの要望、助言への対応			
事業者	協議会	事業者	協議会		
平日利用者12名 20名に対してユニット2～3名 日中、土日祝 利用者20名に対して1ユニット 3～4名夜間支援 1階（A棟）ユニット2名2階（B棟）ユニット1名～2名配置にて支援体制を確保	平日・休日・夜間のいずれも必要な職員数が確保されており、手厚く職員配置がされていることを評価いたします。	個々に障害特性を考慮したスケジュールを組み立てました。重度の方、軽度の方が取り組める作業や創作活動を考え、個別支援計画に落とし込みながら段階を踏んで進めています。ケア会議の中で、個々の方針を確認し支援の統一を図っています。 災害時の避難訓練等について、ケア会議等で災害時の流れについて職員間で共有、避難訓練を随時行っています。	個々の特性に合わせたスケジュールを組まれていることは評価できます。定期的な見直しを行うなど、今後の対応についても期待しております。 避難訓練について、業務継続計画内に記載がありますが、災害の種類に応じた訓練方法を具体的に示していただくようお願いいたします。		

	市町村	定員	設立目的・運営方針 ①設立目的 ②運営方針		相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について		その他	
11	松戸市（しんわ松戸）	20人	事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
			①別紙事業計画参照 ②別紙事業計画参照	日中サービス支援型の目的を理解して運営されていると思われます。	・本入居前の担当者会議や入居に際して、常時相談支援員と確認等連携を図っています。 ・利用中の生活介護事業所へ、支援方法の共有等を行っています。 ・「こども発達リハビリクリニックむさしの」と連携し、訪問診療の対応を行っています。 ・「のぞみ薬局」と連携し、訪問薬局の対応を行っています。	相談支援事業所との連携に加え、医療機関との連携により感染症の対応時に協力を得られたなどの好事例もあり、日頃からの取り組みを評価いたします。 訪問診療と訪問薬局が一体的に提供されることは、管理が一元化されるため利用者や職員にとって望ましいですが、反面、通院という社会参加の機会を失うものであることもご留意ください。 また、元々かかりつけの病院や薬局がある方の場合、継続されることが望ましいと考えますので、利用者やその家族が希望する医療機関や薬局との連携もご検討ください。	・近隣に生活介護事業所があり、昼夜を通した支援体制による情報共有をおこなっている。 ・手作りの食事提供による家庭的で落ち着いた環境。 ・四季折々の時期に合わせた事業所内の装飾。 ・トイレ等はわかりやすくピクトグラムを提示。 ・極力段差を解消しバリアフリー化を図る。（1階ユニット1）	近隣の生活介護事業所と連携して支援体制が取られている点を評価いたします。 令和6年度の報酬改定を受け、生活介護事業所によっては支援体制の再構築が行われておりますが、引き続きグループホームと連携した対応についてご検討をお願いいたします。
			利用者の主な日中活動について ①6H内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ②外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について ③外部の日中活動サービスの利用者人数： 人		従業者の資格取得状況や実務経験について ①支援スキルの高い管理者を置いているか。 ②支援スキルの高いサービス管理責任者を置いているか。 ③支援スキルの高い従業者を置いているか。			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			①日中活動との差別化を図る為、生活に沿った内容の支援を重視している。 ・ウォーキングや散歩等の健康面の支援 ・掃除や洗濯等の日常生活スキルの支援 ・食事や入浴、排泄等のADL面の支援 ②生活介護、就労継続支援B型 ③17人	①グループホーム内においても健康に留意した活動や、日常生活に必要なスキルを身に付けられる支援が行われている点を評価いたします。 日中活動との差別化を意識し、生活に沿った内容の支援を重視されている点は共同生活援助ならではの視点であり、大変好ましく思います。 ②平日は入居者全員が外部のサービスを利用し、日中活動の機会が確保されております。 生活介護の利用は同法人が運営する事業所の利用者が多いように見受けられますが、外部のサービスと適切に検討されていることが望ましいです。	①R6.6.1付での変更を予定しています。 ・障害福祉に関わる業務歴14年（日中通所事業所） ・介護福祉資格 ・強度行動障害実践研修修了 ② ・障害福祉に関わる業務歴10年（日中通所事業所、共同生活援助事業所） ・介護福祉士資格 ・強度行動障害実践研修修了 ③ ・障害分野の経験は浅いが、高齢者分野での経験が豊富なスタッフを数名配置 ・介護福祉士資格（1名） ・強度行動障害実践研修修了者（2名） ・実務者研修修了者（1名） ・初任者研修修了者（1名）	①職員の離職についてうかがいましたが、補充されたことは望ましいです。組織体制の編成についてご尽力をお願いいたします。 ②支援経験が豊富でスキルの高い管理者やサービス管理責任者が配置されているように見受けられます。職員の入れ替わりがありましたが、頻繁に支援者が変わると利用者の生活にも影響が生じるため、職員が定着いただけるよう期待いたします。 ③障害分野の経験が浅いとのことですので、障害特性への理解につきましては社内研修等により適宜フォローをお願いいたします。		
			利用者に対する地域生活の支援状況について ①利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか ②体験の利用等のニーズに対応しているか		障害福祉関連事業における経験がない従業者に対する対応 ①事業所内、外部研修の年間受講計画はあるか。 ②資格取得への取り組みはあるか。			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			①日中活動がない休日は、ご利用者様に対して散歩やドライブ・買い物等を促し、外出や活動の機会を積極的に作っています。 ②これまでの体験利用者の人数：9名。体験期間として、2泊3日を基本とし、希望される方には4泊5日の体験を行っています。	①休日にも積極的に外出する機会を作られている点を評価いたします。活動の機会が積極的に提供されることは利用者にとって利益となり、好ましいです。 ②体験者を多く受け入れ、実際の入居に繋げていることが見受けられます。昨年度より強度行動障害の方の利用者が増えていることから、強度行動障害の方の相談に対し、積極的に応じられている点を評価いたします。 体験利用の期間について、事業所の経営上、基本となる日数の設定は必要であると思いますが、利用者のニーズを尊重し、柔軟な対応をお願いいたします。	① ・事業所内での年間研修予定の策定 ・強度行動障害支援者養成研修の受講 ・ほか行政主催の研修等への随時参加 ②法人内の資格取得支援制度を活用しています。 ※別紙参照	①長期的な研修計画を策定、実施いただき、多くの職員が業務に必要な研修を受講できるよう願っています。 ②初任者研修の受講や国家資格等の取得について法人の補助を受けられる制度は素晴らしく、資格取得の支援に取り組まれていることを評価いたします。		

地域に開かれた運営について		利用希望者の受入れ可否の判断基準について		その他	
①家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ②実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ③実 習 生： 人ボランティア： 人		①利用希望者の受入れ可否の判断基準はあるか。 ②実際に利用希望があった時に受け入れを断った例はあるか			
事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
①ご家族：外泊による帰宅や、通院時にお連れ いただいたり、事業所に来られたりしていま す。 地域住民：町内会への参加により催しにお声掛 けいただいたり、事業所周辺の清掃時にご挨拶 をさせていただいています。 ②受け入れ実績なし。	家族との交流について受け身的であると感じま した。家族や第三者がホーム内に入る機会を設 けることは、閉鎖的な場所にならないために必 要不可欠であると思われます。 意図的に交流の機会を設けるなど、意識的な機 会の提供をお願いいたします。	①明確な基準は設けていませんが、ご本人やご家 族の不安を払拭するために体験を複数回おこなっ ています。 ②支援員のスキル、現在のご利用者様との balan s を考慮し、可能な限り丁寧なモニタリングを心 がけ、その上でお受け入れが困難な時は、事情を しっかりお伝えしご理解をいただきました。	①複数回の体験を実施され、丁寧な対応がうかが えます。 最低限の判断基準を明確にさせていただくことで 、受け入れを断る際にも理解がされやすくなると思 われます。 事業所にエレベーターの設置がないため、重度の 方や利用者の高齢化にどこまで対応できるか、ま た、ADLが低下した後の対応について、内部で検 討されているか疑問が残りました。 ②日中サービス支援型共同生活援助の性質上、ご 本人や家族にとっては貴事業所が頼みの綱である ことが考えられますので、受け入れを断られる際 には基幹相談支援センターやグループホーム等支 援ワーカー等へ情報提供を行うなど、フォロー アップをしていただけるとありがたいです。		
短期入所の併設について		災害等における体制整備及び防災への備えについて			
①地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。 ②緊急・一時的な支援等の受け入れ人数と事例					
事業者	協議会	事業者	協議会		
①前年度の受け入れ人数：11人 ②非該当	緊急・一時的な受け入れについてご検討いた だき、今後の体制の整備及び受け入れをお願い いたします。	・今年度は被害や時間帯を想定した避難訓練の実 施を予定 ・ご利用者様、職員数分の水と食糧を3日分備蓄	条件によってさまざまな場面が想定されますの で、異なる被害や曜日、時間帯を想定していただ くことは大変重要であると思います。ぜひ、避難 訓練の取り組みをお願いいたします。 また、防災計画等、具体的な防災や危機管理の体 制を記した文書の作成をご検討ください。		

支援体制の確保について 日中・土日を含めた情事の支援体制が確保されているか		協議会からの要望、助言への対応		その他	
事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
人員配置区分 旧Ⅰ型（3：1）に準じた配置基準で世話人と生活支援員を配置しています。おもに平日日中は、常時8名以上を配置しており、土日は6名以上を配置しています。	日中・土日とも十分な職員が確保されており、配置基準を超えた職員配置がされていることを評価いたします。	3. ご家族の協力もいただきながら支援をおこない、お一人で就Bに通所されている方もいらっしゃいます。送迎ありきとならないよう自立を促す視点を持って、ニーズの拾い出しや支援への反映を心掛けています。 若年層のご利用者様が多い為、ご家族も含め初めての別離の生活に不安があり、外泊が多かったですが、1年が経ち日中をホームで過ごされる事も増えてきました。重度の方（強度行動障害を有している方）も多数おり、なかなか通所に通えず多くをホームで過ごされる方もいらっしゃるので、柔軟な支援がおこなえるよう努めていきます。また高齢のご利用者様にも対応できるように、協力医療機関との連携も図っています。 5. 事業所都合ではなく、ご利用者様の希望に沿った支援を提供できるよう留意しています。 満室時の体験利用につきましては、法人内他事業所をご提案し、本入居をご希望いただいた際は空きが出次第のご案内で対応しています。 10. 精神科医と協力医療機関の協定を結んでおり、連携を取っています。近隣の病院とも連携が取れるように関係性づくりに努めます。 11. 可能な限り同姓介助がおこなえるよう努めています。 R6. 6から資格や実務経験を持った職員を施設長、施設長補佐として配置予定です。 12. 障害福祉事業所向けのeラーニングを導入し、今年度は研修の機会を拡充していく予定です。また上記のとおり職員を配置し、直接支援に関連した研修や、日々の業務の中での指導をおこなっていきます。 13. 受け入れの可否については、受け入れに向けた課題の抽出や支援の実効性を事業所内で協議し、判断をおこなっています。 16. 重度化・高齢化に対応できるよう、前述のとおり、職員配置、研修機会の拡充、医療機関との連携等に注力し運営してまいります。	3. できる部分については自立を促す支援を行われており、評価いたします。日中、外部サービスの利用ができない方について、ホーム内で生活が完結する状態が続かないよう、働きかけを続けていただきたいと感じました。 利用者の高齢化を想定した場合、現在は家族の協力を得られておりますが、将来的にわたり協力を得ることは困難と思われますので、徐々に対応を検討していただければと思います。また、高齢化による医療機関との連携については精神科だけでなく内科等の連携も求められるものと考えられます。 5. 法人内だけで解決するのではなく、本人や家族の希望をうかがった上で、外部の相談支援事業所やグループホーム等支援ワーカーと連携していただくのが望ましいです。 11. 同姓介助は利用者に対する羞恥心や尊厳に対して大きく影響を与える事項であるため、できる限りの対応をお願いいたします。 12. 人材育成の面で苦心されていることが伝わりました。		

	市町村	定員	設立目的・運営方針 ①設立目的 ②運営方針		相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について		その他	
12	松戸市（バンビの おうち・いずみ）	10人	事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
			①共同生活援助と短期入所の運営規定を添付いたします。 運営規定 第1条をご参照ください。 ②共同生活援助と短期入所の運営規定を添付いたします。 運営方針 第2条をご参照ください。	日中サービス支援型の目的を理解して運営されていると思われます。	・入居者本人はもちろんその家族についても相談支援事業者と情報を共有し、新たなニーズや課題についてどのようにしたらより良いのか共に模索している。 ・怪我や体調の変化があった際には、必ず関係する事業所等へ情報共有し、どのように支援していくかなど連携している。	相談支援事業所や関係機関等と適宜情報共有を行っており、よく連携が取られております。日々、利用者の生活を見られているグループホームから、体調の急変時に関係機関と積極的に情報を共有されていることは非常に望ましいです。	・トイレ等は分かりやすくピクトグラムを掲示 ・極力段差の解消によるバリアフリー化 1階の洗面台は車椅子の方でも使いやすく なっている。 ・浴室に転倒防止用に手すりを多く設置している。	重度・高齢をはじめとした多彩な利用者に対応できるよう、バリアフリー化への取り組みや配慮がされており、評価できます。反面、施設にエレベーターがないことから、施設の1階は身体障害者の方も含め快適な利用が見込まれますが、2階を利用者されている方が将来、高齢になった際に住み続けられる環境であるかは記載から読み取れませんでした。
			利用者の主な日中活動について ①GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ②外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について ③外部の日中活動サービスの利用者人数： 人		従業者の資格取得状況や実務経験について ①支援スキルの高い管理者を置いているか。 ②支援スキルの高いサービス管理責任者を置いているか。 ③支援スキルの高い従業者を置いているか。			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			①生活に沿った支援を重視しています。 ・掃除や洗濯等の日常生活の支援 ・食事や入浴、排泄等のADLの支援 ・健康管理/受診同行等の支援 利用者が出来ない部分を支援しています。余暇活動（散歩や塗り絵等）も利用者に合わせ一緒にを行っています。 ②・入居したばかりで近隣の就労継続支援B型を相談員と検討中（1名） 午前 図書館等 外出 午後 居室や居間でネットを使用して調べもの・ノートにまとめる・職員と歓談・散歩・塗り絵・プラモデル作成 ・外部日中活動サービスを利用しないと本人の意向があり、今まで昼夜逆転している生活をしてきた様子なので相談事業所・訪問診療医師・訪問看護と相談中（1名） ・日中は居室で過ごす（TVやタブレット鑑賞） ・訪問看護・リハビリ（週3日） ③生活介護（1名）	①利用者の健康管理について、具体的にどのような対応をされているか次回の評価部会にてお示しください。 ②グループホーム内で一日を過ごす方でも規則正しく、室内で閉じこもりがちにならないよう外出の機会を設けている様子がうかがえました。 また、昼夜逆転状態の方に対して外部の事業所と連携して支援が行えており、評価できます。	①就労継続支援A型 生活支援員/職業指導員 7年 サービス管理責任者基礎研修 受講予定 ② ・小学校教諭2種免許 ・幼稚園教諭2種免許 ・放課後等ディサービス ・児童発達支援管理責任者研修 ・相談支援従事者初任者研修 ③ ・介護職員初任者研修 ・介護職員実務者研修 ・介護福祉士（5名） ・強度行動障害者支援者養成研修（基礎1名） ・強度行動障害者支援者養成研修（実践1名）	②サービス管理責任者について必要な研修を受けているか、記載から判断できませんでした。基準に沿った資格取得者が配置されているか、今一度ご確認ください。 また、法人として初めての共同生活援助事業所であるため、生活の場面を支援した経験のないことが見受けられます。作業や訓練ではなく、生活の場であることを意識した支援をお願いいたします。 法人の実績から、児童分野に長けていることが見受けられますので、障害者の支援においても学びの場面が提供されるとより良いと思われます。 ③社会福祉士や精神保健福祉士等の有資格者がいると望ましいです。		
			利用者に対する地域生活の支援状況について ①利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか ②体験の利用等のニーズに対応しているか		障害福祉関連事業における経験がない従業者に対する対応 ①事業所内、外部研修の年間受講計画はあるか。 ②資格取得への取り組みはあるか。			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			①外出支援は、近隣の店舗へ買い物支援や地域交流を深めるために散歩支援時等には挨拶等も積極的に行っています。 ②・5名 ・グループホームが初めての利用者様にホームでの暮らしを体験できるようにしています。 ・体験から本入居への移行だけでなく今後の入居を視野に、どのような生活を送るのか経験として利用しています。	①グループホーム内だけの生活にならないよう、積極的に外出や余暇活動の支援に努めているだき、外出時の挨拶は継続的な実施をお願いいたします。 ②本入居を前提とした体験だけでなく、グループホームが初めての方に、将来的な利用のための体験を受け入れられている点を評価いたします。 親亡き後の生活に不安を抱えている方は地域に一定数おり、特に日中も支援が必要な方にとって、日中サービス支援型グループホームの体験の場は貴重な存在となります。 今後も積極的な受け入れをお願いいたします。	①年間研修計画に沿って実施予定 外部研修については、その都度案内に従い該当する職員に受講を促している。 ②講習を受講することで取得できるものは、適任と思われる者に積極的に受講を促している。国家資格については資格取得後、資格手当として給与に反映するようにしている。	①業務に必要な外部研修について、該当者に受講を促しており、職員の育成に対する姿勢として評価できます。 ②資格手当を整備し、資格取得の意欲を高められるように取り組まれているのが見受けられます。生活支援員など、直接的な介助を行う方については初任者研修や強度行動障害支援者研修を積極的に受講いただきますようお願いいたします。		

	市町村	定員	利用者の主な日中活動について ①GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ②外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について ③外部の日中活動サービスの利用者人数： 人		地域に開かれた運営について ①家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ②実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ③実 習 生： 人ボランティア： 人		その他	
13	野田市（ソーシャルインクルーホーム野田上花輪）	10人	事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
			①学習支援、買物支援(同行)、運動支援、入浴支援、季節のイベント、通院同行、昼食提供、訪問サービス利用(往診・散髪・看護・歯科)。相談支援(個別に応じて、行動記録表を用いて、生活のフィードバックを行っている)。音楽配信(YouTube等)を活用したカラオケ、ウォーキング、TV体操。 個別支援計画の内容を十分共有したうえで各内容を実施しています。 ②あすなる(2名)、こぶし園(1名・自社送迎)、COCORO(3名)、 ありがとうの花(2名) ③8人	【要望】 日中活動先への自社送迎を再開して欲しい。 【助言】 個別支援計画とともに利用者の学習スタイル、合理的配慮の共有ができると良い。 【評価】 ・服薬の際、誤薬防止のため2名体制で対応していることは評価できる。 ・浴室が車椅子にも対応できている。 ・屋外での体操など健康づくりに留意されている。 ・毎日のレクリエーションがあるのが良い。	①ご家族がいつでも来訪できるよう、常に連絡を取り近況報告を行っています。近隣中学校のバザーに参加し、地域の方々と一緒に楽しんでいます。近隣住民の方へ回覧板を回す時や散歩の際は挨拶をしたりと、良好な関係を築いています。今後も自治会、町内会などの行事には積極的に参加できる様に考えています。 ②実習生やボランティアの受け入れは、福祉関係の学校に働きかけ、受け入れをしていきたいと思います。 ③ 実 習 生：0人 ボランティア：0人	【要望】 ・今後も積極的に家族や地域住民との交流をお願いする。 ・感染症に注意いただきたい。 ・実習生とボランティアを積極的に受け入れられる体制づくりをお願いする。 【助言】 ・野田市ボランティアセンターでは、地域で活躍している様々なボランティア団体を紹介できる。 ・近くにある野田市立第二中学校のボランティア部との交流はいかがか。 ・地域住民の中には、グループホームで何をしているか分からず不安に思っている人もいる。 【評価】 ・積極的な家族や地域住民との交流は評価できる。	9-1①設立目的・運営方針 【設立目的】 「ここでくらしたい」を創る ご利用者様にとってグループホームはまさに家そのものだといえます。家族のように温かいスタッフたちとのコミュニケーションを通してホームでの暮らしを楽しんでいただきたいです。「ここでくらしたい」と思ってもらえるよう日々真摯に向き合い続けます。 【運営方針】 入居者様それぞれの特性を理解し、安心して心地よく暮らしていただくために寄り添った支援を行います。職員全員が協力し合い、一人ひとりを尊重した、温かいコミュニケーションに溢れる職場を実現します。職員一同ホーム運営に積極的に関わり、より良い支援を行うために一人ひとりが率先して行動します。物事にプラス思考で向き合い、ソーシャルインクルーに関わる人たちの幸せを目指します。「あたりまえ」を大切にすることが入居者様の幸せに繋がる」ことを胸に日々真摯に向き合います。 9-2職員の研修体制 強度行動障がいのある人の支援に関する研修：有 1人 精神障がいのある人の支援に関する研修：有 3人 医療的ケアのある人の支援に関する研修：有2人 その他重度障がいのある人の支援に関する研修：無0人 虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修：有13人 食中毒・感染症に関する研修：有 13人 緊急対応に関する研修：有 13人 障がい特性に関する研修：有 13人 誤薬防止、誤薬に伴うリスクに関する研修：有13人 ハラスメントに関する研修：有 13人 ③野田市援護者数 3人 (男性2人・女性1人) 市外援護者数(県内)3人 (男性1人・女性 2人) 市外援護者数(県外)4人 (男性 2人・女性2人)	9-1 【要望】 ・利用者の考える家と職員の考える家に差がないようにしてほしい。 ・職員の入れ替えの際には情報共有を徹底していただきたい。 【評価】 設立目的、運営方針ともに素晴らしい考え。 9-2 【要望】 強度行動障がいの研修は、多くの職員が受講してほしい。 ③ 【評価】 市外の援護者が多い。 ④ 【要望】 ・精神障がいのある人に対して、日中活動を行えるように対策を検討してほしい。 ・難聴者を受け入れた際、話しかけ方、聞こえを良くするための施設の改修、機材の用意等、配慮願いたい。
			利用者に対する地域生活の支援について ①利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ②体験の利用等のニーズに対応しているか。		短期入所の併設について ①地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか ②緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			①外出はまめバスを利用して外食、いちご狩り等を実施しました。ドラッグストア、書店等での買物、支払い等自分達で行いたいとの希望もあり利用者の希望やニーズに合わせたイベントを毎月実施しております。季節毎の行事はもちろんの事、毎月利用者と一緒に考えたイベントなども実施し喜ばれています。近隣の散策は利用者の要望が強く、天候に配慮しつつほぼ毎日実施しています。 ②ご本人及びご家族から、入院療養よりも、通院治療を継続のうえ地域での生活を希望しているとのことで、体験入所を受け入れています。 2人	【要望】 ・外出時には安全面に気をつけて支援していただきたい。 ・体験利用が増える努力をお願いする。 【評価】 ・天候に配慮しながら毎日余暇活動を実施していることは評価できる。 ・地域資源を活用している事は良い取り組みである。	①建物の構造上、女性の短期入所のみとなっておりますが現在積極的に受け入れを行っています。GH連絡協議会「見学視察会」でチラシを配布させて頂き、チラシを見た方からの問い合わせも何件があり、見学を実施致しました。 ②緊急時受け入れも、今年は女性1名一週間程度受け入れし、他のGHIに本入居をつなげることができました。常に受け入れ態勢は整備できており、ご家族の状況やご本人の取り巻く環境の変化による一時的な受け入れに対応していきたいと思っております。	【要望】 短期入所を行っていること、緊急、一時的な支援にも対応していることを、一般の方々にも周知していただきたい。 【評価】 積極的な取り組みは評価できる。継続して対応をお願いしたい。		
支援体制の確保について ①日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか		相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について						
事業者	協議会	事業者	協議会					
①日中、土日に関しても常に2～3の人員配置を行っています。有資格者3名(介護福祉士・精神保健福祉士・社会福祉士各1名)が在籍しています。緊急時にもすぐに職員が対応できる様、体制を整えています。	【評価】 緊急時を想定した体制を整えていることは評価できる。	相談支援事業所と常に連絡を取っており、情報共有を行っています。当ホームからご本人の状況の変化等報告を事業所に対して行っており、相談もさせて頂いています。月1回ご家族に連絡を取り、ホームでの様子をお伝えしております。また、日中活動を利用している方は連絡帳を活用し、体調・通院状況・服薬情報等の情報共有も行っております。	【評価】 他のサービス事業所と適切に連携が図れている。					

	市町村	定員	利用者の主な日中活動について ①6H内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ②外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について ③外部の日中活動サービスの利用者人数： 人		地域に開かれた運営について ①家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ②実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ③実 習 生： 人ボランティア： 人		その他	
			事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
14	野田市（ソーシャルインクルーホーム野田尾崎）	20人	① ・通院介助（定期受診・緊急受診） ・買い物支援（同行・代行） ・運動支援（廊下往復、ストレッチ、ラジオ体操） ・余暇を過ごす資材の提供（学習プリント・塗り絵等）等 ・オセロやトランプ等 ・話し相手 ・映画（ビデオ）鑑賞 ② 12人 内訳：あすなろ2人 こぶし園2人 ありがとうの花1人 えーる1人 ほのか2人 みやび1人 ハナフィ3人 COCORO1人 ※2事業所利用している入居者様がいるため利用人数と異なります	【要望】 ・通院、買い物意外にも外出支援を実施してほしい。 ・個別支援の共有を軸に、日中と夜間の支援の統一を図っていただきたい。 【評価】 日中活動先への送迎を自社で行われていることは評価できる。	① 今年度から町内会に加入させていただきました。地域や近隣の学校、市の行事に参加できるよう計画していきたいと考えています。 ご家族の訪問も積極的に受け入れています。 ② 実習生やボランティアの受け入れは、福祉関係の学校に働きかけ、受け入れをしていきたいと思います。 ③ 実 習 生：0人 ボランティア：0人	【要望】 ・家族訪問の他に、地域住民との交流の場を設け、理解や協力を得られるように計画してほしい。 ・感染症に注意いただきたい。 ・実習生とボランティアを積極的に受け入れられる体制づくりをお願いする。 【助言】 ・野田市ボランティアセンターでは、地域で活躍している様々なボランティア団体を紹介できる。 ・地域住民の中には、グループホームで何をしているか分からず不安に思っている人もいる。	9-1 ①設立目的・運営方針 【設立目的】 弊社はこれまで介護包括型で6H運営を行ってまいりましたがより緊急性の高い利用者様・より重度の利用者様の受け入れに関して職員配置と人件費の問題があり一歩進んだ問題の支援に対して踏み込めない状況でありました。日中サービス支援型で事業運営させていただくことで今まで受け入れが難しかった日中活動先がない方、日中活動が困難な方の受け入れを進めてまいります。 【運営方針】 住まいで困っている障がい者が「0」の社会を創る。 障がい者の住まいのインフラとなる。 障がい者が日本のどこでも自立を目指す環境を創る。 どこでも同じという安心のソーシャルインクルー品質を確立する。	①【評価】 設立目的、運営方針ともに素晴らしい考え。 ② 【要望】 ・外部研修も積極的に参加してほしい。 ・強度行動障がいの研修は、多くの職員が受講してほしい。 【評価】 多くの研修を受講できている。日々の支援に活かしてほしい。 ④ 【要望】 ・精神障がいのある人に対して、日中活動を行えるように対策を検討してほしい。 ・今後は高齢者と合わせて重度の障がいのある人の受け入れも積極的にお願いしたい。 ・難聴者を受け入れた際、話しかけ方、聞こえを良くするための施設の改修、機材の用意等、配慮願いたい。
			利用者に対する地域生活の支援について ①利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ②体験の利用等のニーズに対応しているか。		短期入所の併設について ①地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか ②緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。		9-2 ②職員の研修体制 強度行動障がいのある人の支援に関する研修：無0人 精神障がいのある人の支援に関する研修：外部2人 医療的ケアのある人の支援に関する研修：無0人 その他重度障がいのある人の支援に関する研修：外部1人 虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修：有25人 食中毒・感染症に関する研修：有25人 避難訓練（火災・日中想定・夜間想定）：有25人 緊急対応：有 25人 権利擁護・接遇マナー：有 25人 誤薬防止：有 25人 災害訓練（BCP・水害・地震）：有 25人 身体拘束適正化：有 25人 事業理念の共有（適切な支援について考える）：有 25人	
			事業者	協議会	事業者	協議会	③野田市援護者数 9人 （男性3人・女性6人） 市外援護者数（県内）4人 （男性1人・女性 3人） 市外援護者数（県外）7人 （男性 6人・女性1人）	
			支援体制の確保について ①日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか		相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について		④利用者の詳細 【非公表】	
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			① 日中・土日に関しても、日勤4名・夜勤4名の人員配置を実施しています。	【評価】 適切な人員配置である。	受診・訪問診療・訪問歯科・訪問看護ステーションとの医療に関する情報を相談事業所担当に最低一か月に一度状況をご報告しています。また問題や困り事を常にご相談させていただいています。日中活動先との連絡帳での情報共有、特に行動障害のある方については毎月通所先に訪問し本人を含めての担当者会議を行っています。	【評価】 相談、連絡が密に行われており、積極的な姿勢は評価できる。		

	市町村	定員	利用者の主な日中活動について ①GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ②外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について ③外部の日中活動サービスの利用者人数： 人		地域に開かれた運営について ①家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ②実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ③実 習 生： 人ボランティア： 人		その他	
15	野田市（グループホームほっと）	14人	事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
			① 昼食提供、散髪、余暇サービスなど（散髪、DVDレンタル付添、買い物、散歩、地域イベント参加など） ② 生活介護、放課後デイサービス、行動援護、一般就労 ③14人	・誕生日を祝う、季節の行事食の提供等も良いと思われる。 ・利用者の問題が起きないように取り組まれていることは素晴らしく、他の支援者の参考にもなるため、取り組みを周知いただきたい。 【評価】 ・コミュニケーションを大切にされている。 ・強度行動障がいの症状が出ないように、日中活動先とグループホームで情報共有を行い、同じ支援をしている。 ・人や場所が変わるため、不安にならないように配慮されている。	① 家族、年3回程度家族会を開催し、GH内の変更点等の説明を実施。地域連携推進会議により、地元有識者の招待を検討中。 ② 実習生・ボランティア・見学者等、随時募集をしている。 ③ 実 習 生：0人 ボランティア：0人	【要望】 ・地域との交流と理解は大切なため、積極的な交流の機会をお願いする。 ・実習生やボランティアの募集には工夫する必要がある。 【助言】 ・家族会は3か月に1度、年4回が良いと思われる。 ・野田市ボランティアセンターでは、地域で活躍している様々なボランティア団体を紹介できる。	9-1 ①設立目的・運営方針 【設立目的】 障害者総合支援法に基づき、利用者の意思及び人格を尊重し、利用者の立場に立った適切な共同生活援助の提供を確保する事を目的とする。 「自立して生活できる」ことから「24時間いつでも幸せな生活」へと変えていくことを目標とする。 【運営方針】 共同生活援助事業（グループホーム）は、知的障がいのある人たちが、地域において共同して自立した日常生活または社会生活が送れるよう、共同生活住居において相談その他の日常生活上の援助を行います。 グループホームの従業者は、利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立って支援を行います。 グループホームにおける支援の実施にあたっては、地域との結び付きを重視し、関係市町村、他の施設及び事業所、地域の保健・医療・福祉サービスと連携を図り、総合的な支援に努めます。	② 【要望】 ・受講している研修が少ない。充実した研修体制を望む。 ・虐待防止、差別解消に関する研修について、全職員が受講してほしい。 ・食中毒、感染症に関する研修が実施されていないため、全職員が対応できるように取り組んでほしい。 ④ 【要望】 難聴者を受け入れた際、話しかけ方、聞こえを良くするための施設の改修、機材の用意等、配慮願いたい。
			利用者に対する地域生活の支援について ①利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ②体験的利用等のニーズに対応しているか。		短期入所の併設について ①地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか ②緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。			
			事業者	協議会	事業者	協議会	9-2 ②職員の研修体制 強度行動障がいのある人の支援に関する研修：有6人 精神障がいのある人の支援に関する研修：無0人 医療的ケアのある人の支援に関する研修：無0人 その他重度障がいのある人の支援に関する研修：無0人 虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修：有12人 ③野田市援護者数 14人 （男性14人・女性0人） ④利用者の詳細 【非公表】	
			① 散髪、DVDレンタル付添、買い物、散歩、地域イベント参加（産業祭、ふれあいハートまつり、元気アップフェスタ、福田公民館七タコンサート） ② GH利用日数の段階的増加 （2泊3日→3泊4日→平日GH、祝日自宅など） 外部の日中活動サービスとの支援の連携 （生活介護事業所と同じ食事方法や排泄方法を般化したなど） 8人	【要望】 外出時には安全面に気をつけて支援していただきたい。 【助言】 訪問看護との連携を始めたと聞くと、積極的に進めていただきたい。 【評価】 利用者の特性やベースに合わせた個別対応は良い。	① 新型コロナウイルスの密を避ける点と、入居者の支援がスムーズに進んでいない点（食事支援と性教育に課題がある利用者1名は月1度の利用）の取り組みを優先し、積極的に受け入れていない。今後、GHに入居する生活スキルを高める場として、活用する予定。 ② 自宅で過ごすことが困難な生活介護の利用者1名に、環境を設定し緊急的な受け入れ対応をしようとしたが、その後利用者1名が措置入院・退所したため実施せず。今後も、緊急・一時的な支援等の受け入れは、随時対応していく。	【要望】 短期入所の積極的な受け入れ、安定して利用できるようにしてほしい。		
			支援体制の確保について ①日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか		相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について			
事業者	協議会	事業者	協議会					
① 各住居に1名以上を配置	【要望】 【評価】	生活介護事業所の支援内容をGHへ般化させ、GHの課題に対して生活介護事業所で再構造化し取り組み事ができている。	【評価】 意欲的な取り組みは評価できる。					

	市町村	定員	利用者の主な日中活動について ①6H内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ②外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について ③外部の日中活動サービスの利用者人数： 人		地域に開かれた運営について ①家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ②実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ③実 習 生： 人ボランティア： 人		その他	
			事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
16	野田市（ハーモニーホーム）	16人	① ・本人のご希望に沿う、または配慮して過ごしリラックスして過ごせるように心がけています。手芸（刺繍等）、テレビ・音楽・映画鑑賞、文字書き、折り紙、創作活動（壁面創作等）、買い物、散歩等。その他、ご家族様と外出や通院等。必要な支援は、排泄介助、食事支援、移動支援等。 ② ・生活介護、就労継続支援B型、一時支援 ③16人	【助言】 ・知的障がいのある人達にとって、支援の変更は大きな負担になるため、日中活動先とグループホームで情報共有を行い、同じ支援をすると負担が減ると思われる。 ・行政手続き等の支援も考えられると良い。 【評価】 施設がきれいで、トイレや浴室もバリアフリー化されていて良い。	① ・自治会で案内のあった夏祭りに参加等（希望者）。 ・家族懇談会を開催（出席希望者）。今後、年1回または必要時都度開催予定。懇談会という形にとられず、いつでも立ち寄っていただけるようにしています。 ② 実績なし。ご希望があれば積極的に受け入れをしていきたいと思います。 ③ 実 習 生：0人 ボランティア：0人	【要望】 ・地域との交流が少ないため、積極的な支援をお願いする。 ・家族会の開催回数を検討するべき。 ・実習生とボランティアを積極的に受け入れられる体制づくりをお願いする。 【助言】 野田市ボランティアセンターでは、地域で活躍している様々なボランティア団体を紹介できる。	9-1 ①設立目的・運営方針 【設立目的】 野田みどり会の障がい福祉サービスをご利用になってきて本人の介護負担に限界を感じ始めているとともに、親亡き後の我が子の生活に不安を抱えている」等の相談が増えきた現状です。これを踏まえ、法人としてご利用者様を始め、地域の障がいのある人が親亡き後も住み慣れた地域で自立した生活ができるよう、住まいの場を提供すると共に、障がいのある人が安心して地域生活を営むことができる地域作りをすることを目的とし設立しました。 【運営方針】 ・障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく「共同生活援助事業運営規程」を遵守し、かつ、社会福祉法人野田みどり会の理念「すべての人の幸せに」を基に、次のことを基本として事業を運営していく方針です。 ①利用者が地域において共同して自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、常時の支援体制を確保し、当該利用者様の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて、相談、入浴、排泄、食事等の介護、その他の日常生活上の支援又は援助を適切かつ効果的に行います。 ②地域との結び付きを重視し、関係市町村、他の指定障がい福祉サービス事業者等その他の保健医療サービス又は福祉サービスを提供する者との密接な連携に努めます。 ③事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例及び関係法令等を遵守し、事業を実施いたします。	① 【助言】 入居が叶わなかった方々がいると聞いているため、その方々への取り組みを期待する。 【評価】 設立目的、運営方針ともに素晴らしい考え。 ② 【要望】 ・研修を受講する人数が少ないため、より多くの職員が受講してほしい。 ・強度行動障がいと虐待の研修は、一人でも多くの職員が受講してほしい。 ・感染症、食中毒の研修に関して、全職員が受講できるように取り組んでほしい。 【評価】 外部研修を受講した職員は、復命し、他の職員に啓発したほうが良い。
			利用者に対する地域生活の支援について ①利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ②体験の利用等のニーズに対応しているか。		短期入所の併設について ①地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか ②緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。		9-2 ②職員の研修体制 強度行動障がいのある人の支援に関する研修：有2人 虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修：有8人 倫理及び法令遵守に関する研修：有1人 感染症・食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修：有1人 虐待防止及び身体拘束に関する研修：有1人 非常災害時の対応についての研修：有1人 安全運転講習会：有1人 介護保険制度、高齢障害者の支援に関する研修：有 2人	
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			① ・訪問歯科、訪問リハビリ、訪問美容を利用（希望者）。 ・自治会で案内のあった夏祭りに参加等（希望者）。 ・散歩、買い物等（希望者）。 ・他事業所の一時支援事業を（土）利用（希望者）。 ② 実績なし 0人	【要望】 余暇活動をより充実させてほしい。 【評価】 利用者の要望に合わせた外出支援を実施されている。	① 実績あり。支援できる範囲で積極的に受け入れをしていきたいと思います。 ② 実績なし。緊急事案については、支援できる範囲を検討して対応していきたいと思います。	【評価】 積極的な姿勢は評価できる。継続して積極的な受け入れをお願いする。	③野田市援護者数 16人 （男性8人・女性8人） ④利用者の詳細 【非公表】	
			支援体制の確保について ①日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか		相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			① 男性棟（西棟）は、全員が週末自宅帰省の為、現状に合わせて週末は常時配置はせず、必要時のみ配置とさせていただいています。女性棟（東棟）は常時配置をしています。	【評価】 ご本人の要望に合わせた対応をされている。	・65歳を迎える方、迎えた方の支援について担当者会議を実施、意向確認。介護保険サービスへの移行や併用を検討。その後、ご家族、ご本人の希望により、訪問リハビリサービス事業所とケアマネ、保護者様との打ち合わせ実施。契約後、サービス提供開始。	【評価】 利用者の高齢化に対応した取り組みは評価できる。		

	市町村	定員	利用者の主な日中活動について ①6H内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ②外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について ③外部の日中活動サービスの利用者人数： 人		地域に開かれた運営について ①家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ②実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ③実 習 生： 人ボランティア： 人		その他	
			事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
17	野田市 (AMANEKU野田中里)	20人	①身体障がいの方に対して、歩行訓練の支援・見守りなどを行ったり、食事や入浴、排せつの介助等も行っております。 行政やその他必要な手続きの支援なども行って おります。 ②生活介護等 ③10人	【要望】 ・グループホーム内においても、日中活動サービスの充実を図ってほしい。 【助言】 ・食事において、おかずは冷凍食品とのことだが、手作りの物を提供できる日を設けてもいいのではないか。 ・個別支援計画の共有とともに、変更、情報、コミュニケーションの共有もできると良い。	①スーパーの移動販売をAMANEKU野田中里の駐車場に来ていただいており、そこで買い物をしたり、近隣の公園に行きお花見などを行うことがあります。今後、近隣で開催されるイベント行事に積極的に参加していきます。 ②今後、ボランティアの受け入れを検討しております。	【要望】 ・家族との交流も願います。 ・実習生とボランティアを積極的に受け入れられる体制づくりをお願いする。 【助言】 ・移動販売は施設利用者だけでなく、地域の方々の利用も積極的に受け入れると良い。 ・野田市ボランティアセンターでは、地域で活躍している様々なボランティア団体を紹介できる。 【評価】 地域で開催されるイベントへの参加していることは良い。	【設立目的】 当社は、障がいを持つ方々が地域社会で自立し、充実した生活を送ることを支援することを理念としています。これまでの運営経験を通じて、日中サービス支援が必要な障がい者の方々のニーズが急激に増加していることを実感しております。特に、日中の時間帯における適切な支援が不足している現状があり、これに対応するために新たなグループホームの開設が必要と考えました。 地域社会における障がい者支援の充実は、障がいのある方々だけでなく、その家族や地域全体にとっても大きなメリットがあります。日中支援型グループホームを通じて、障がい者の方々が社会参加を図り、自己実現を目指すことができる環境を提供することは、社会的観点からも重要です。 また、当社はこれまでに日中サービス支援型において蓄積したノウハウと経験を活かし、質の高いサービスを提供する自信があります。スタッフの専門性の向上、個々の利用者に合わせてきめ細かい支援計画の策定、地域社会との連携強化など、総合的なサポート体制を構築し、障がい者の方々がより良い生活を送れるようサポートすることが私たちの目標です。 このような背景から、新たなグループホームの開設による日中支援型サービスの提供は、地域における障がい者支援の質と量の両面での充実に寄与すると考え、本サービスの指定を希望するに至りました。私たちは、行政との連携を密にしながら、地域に根ざした質の高いサービスの提供に努めてまいります。 【運営方針】 「障がい」の有無に関わらず、全ての人が自分らしくあるために、豊かな暮らしを創造することを企業理念としております。 グループホームAMANEKUの運営には障がいのある当事者も携わり、ホームごとに障がい特性や毎日の生活に配慮したコンセプト設定をしています。 支援体制はもちろんのこと、新築の建物には利便性の良い立地、ユニバーサルデザイン、心地よい動線など、様々なこだわりを加え、居住される方が自分らしい暮らしを送ることができるようにサポートします。 また、障害者の方が暮らすグループホームに特化した専門の建設チームを有し、社内で建設事業も行っております。 完成までの基礎工事から内部工事、住設備、外構工事の一連の流れを上記建設チームで行っています。上記の一連の流れを行うことによって、障害を持った方の支援に適した動線、設備、間取り、デザインにいたるまで様々な工夫を取り入れ、利用者様に寄り添ったグループホームの建設を実現させています。	【評価】 設立目的、運営方針ともに素晴らしい考え。

利用者に対する地域生活の支援について ①利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ②体験の利用等のニーズに対応しているか。		短期入所の併設について ①地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか ②緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。		その他	
事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
①ドライブや散歩等の日常の日中サービスや、DVD鑑賞や外食レクリエーションなどの月一のイベント行事を行っております。 ②弊社では、食費や光熱費などもかからない2泊3日の無料体験を行っております。とても好評をいただいております、たくさん体験のお申込みを頂いております。 （これまでの体験利用者の人数） 63人	【要望】 ・外出、余暇活動の充実をお願いする。 ・外出時には安全面に気をつけて支援していただきたい。 【評価】 二泊三日の無料体験は素晴らしい。	①令和6年8月16日時点で8回ほどの受け入れを行っており、継続的に短期入所をご利用いただく方もいる。 ②依頼があれば、積極的に受け入れをしていくことを検討していきます。	【評価】 今後も継続して短期入所の受け入れをお願いします。	9-2 職員の研修体制 強度行動障がいのある人の支援に関する研修：有 16人 精神障がいのある人の支援に関する研修：有 14人 医療的ケアのある人の支援に関する研修：無 0人 その他重度障がいのある人の支援に関する研修：有 16人 虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修：有 13人 チーム力の向上に関する研修：有 15人 支援力の向上に関する研修：有 14人 感染症予防に関する研修：有 11人 支援力の向上に関する研修②：有 14人 支援力の向上に関する研修③：有 16人 支援力の向上に関する研修④：有 16人 コミュニケーションについての研修：有 17人 9-3 野田市援護者数 野田市援護者数 9人（男性7人・女性2人） 市外援護者数（県内）3人（男性0人・女性3人） 市外援護者数（県外）8人（男性3人・女性5人） 9-4 利用者の詳細 【非公表】	9-2 【要望】 ・虐待防止、差別解消に関する研修について、全職員が受講してほしい。 ・感染症予防に関する研修について、全職員が受講してほしい。 【評価】 多くの研修を受講されていて良い取り組み。 9-4 【評価】 県外の援護者の割合が高い。
支援体制の確保について ①日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか		相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について			
事業者	協議会	事業者	協議会		
当社のグループホームでは、各フロア常時2名体制が取れるよう、人員配置を行っております。日中、他の日中活動サービスをご利用されない利用者様にも支援ができるよう、24時間どの時間でも各フロア2名以上の体制で支援を行っております。土日・祝日なども同様の体制を確保しております。	【評価】 ・常時2名ずつ配置の体制は大変かと思うが、続けてほしい。 ・積極的に看護師や専門職を採用し配置している点は評価できる。	協力医療機関の野田病院を受診の際にはあまり待機することなく受診している。 通所先の生活介護事業所等と連携し、細かい情報も相談支援事業所と情報共有を行っております。相談支援事業所を通じて、移動支援などの働きかけをしております。	【評価】 看護師の常駐、医療連携は良い取り組み。		

	市町村	定員	利用者の主な日中活動について ①6H内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ②外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について ③外部の日中活動サービスの利用者人数： 人		地域に開かれた運営について ①家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ②実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ③実 習 生： 人ボランティア： 人		その他	
18	茂原市（アミーゴプラス）	12人	事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
			①食事提供・掃除、洗濯などの身のまわりの生活援助 車椅子移乗や食事・入浴・排せつ介助などの介護支援 体調管理・パルーンカテーテルの管理・酸素流量の管理・排便調整などの医療的ケア 金銭管理・買い物支援・通院支援 ②主な通所先：就労継続支援B型・生活介護 ③5人	・利用者の生活に沿った支援を提供できています。 ・同性介助の体制確保について努めていただきたい。 ・医療的ケアなど、利用者の状態に応じた日中サービスが提供されていることを評価します。	①家族やご友人との面会は自由に行っていただいている。 地域住民との交流は現在は特にイベントを行っているわけではないが、散歩時など挨拶を心がけている。 ③0人	①家族や友人との面会は自由に行われており、開かれた交流の機会が確保されています。 ②実習生やボランティアの受け入れについては、人材育成の観点からも必要と思われるので、積極的に取り組んでいただきたい。		
			利用者に対する地域生活の支援について ①利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ②体験の利用等のニーズに対応しているか。		短期入所の併設について ①地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。 ②緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			①病院受診の付き添い・買い物支援・散歩・ドライブ ホーム内にてカラオケ・テーブル卓球・おりがみ工作・将棋・オセロ等余暇活動 ②これまでの体験利用者の人数：13人 体験前に入念に聞き取りを行い、必要な支援を行えるよう準備をしてから体験利用の受け入れをしている。	①病院への付き添いや施設内での日中活動を充実させることにより、きめ細やかな支援ができています。 ②十分にニーズを把握し、個々の状態に応じた受け入れができるような体制が整っています。	①相談支援専門員から地域でお困りの方がいないか聞き取りをし、積極的に受け入れを行っている。 ②現在まで短期入所での緊急受け入れはないが、共同生活援助での緊急の受け入れは実施している。短期入所でも随時緊急受け入れができるよう体制を整えている。緊急ではない一時的な支援の短期入所は現在まで33回受け入れている。	①積極的な受け入れを実施されている。 ②引き続き、緊急の受け入れができる体制を整えていただきたい。		
			支援体制の確保について ①日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか		相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
①日中・夜間・土日の全ての時間帯において各利用者へバランス良く支援が行えるよう、世話人・生活支援員・看護職員を適切な時間帯に配置している。	①・全ての時間帯において、十分な職員が確保されています。 ・看護職員を適切な時間帯に配置するなど、充実したサービスが行われていることを評価します。	毎月利用者状況報告書を担当相談員へ提出し、情報共有を図っている。 また、トラブルが起こった際も連絡を取り合い改善に努めている。	・利用者状況報告書による情報共有により、相談支援事業所等との連携が図られていることを評価します。					

	市町村	定員	利用者の主な日中活動について ①6H内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ②外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について ③外部の日中活動サービスの利用者人数： 人		地域に開かれた運営について ①家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ②実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ③実 習 生： 人ボランティア： 人		その他	
19	茂原市（ヒュッゲ）	6人	事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
			①生活する上で必要となる支援を行っているが、職員が共同する事のできる事は利用者と一緒に行うようにしている。（食事提供、健康管理、掃除、洗濯、入浴介助、買い物同行・代行、相談、余暇活動） ②生活介護3名・デイサービス2名（介護保険） ③ 5人	①・個々の状態に応じた日中活動を、適切に提供できています。 ・掃除や洗濯などの家事は、利用者の状態に応じて従事者と共同して行う体制ができています。	①家族との外出や面会は随時対応しており、利用者が孤立することのない体制を確保している。地域住民と挨拶を交わす等日常的に交流を図り、良好の関係が築けるよう努力している。他事業所の職員の見学や実習生は断る事なく受け入れている。 ②聖徳大学、植草学園短期大学より実習を受け入れた。 ③実習生：4人 ボランティア：0人	・家族との外出や面会に対応しており、交流の機会が確保され、利用者が孤立することのないよう配慮されています。 ・地域住民とは日常的な交流により良好な関係が築かれていることがうかがえます。 ・実習生を積極的に受け入れています。	・事業形態が介護包括支援型に変更となっても、引き続き、地域の中で重度の障害のある人や緊急時に対応できるグループホームの運営を続けていただきたい。	
			利用者に対する地域生活の支援について ①利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ②体験的利用等のニーズに対応しているか。		短期入所の併設について ①地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。 ②緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			①週2日買い物支援、外食や季節に応じた行事（いちご狩り・花見・バーベキュー）を取り入れている。高齢の方が多い為、体力に合わせ考えている。クリスマス会や夏祭りは、法人合同で開催した。 ②満室であったため、体験等の受入はできなかった。	①・新型コロナウイルス感染症が落ち着いてきたことで、外出の機会を増やし、工夫して行事を行っていることが伺えます。	①断らずに受け入れた。現在も定期的な利用がある。 ②緊急一時的な受け入れ相談にもできる限り対応した。家族関係悪化や単身生活を継続できない程の体力低下の方の利用があった。	・緊急一時的な場合にも積極的な受け入れができています。		
			支援体制の確保について ①日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか		相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
日中・土日においても、常時職員の配置。食事提供、入浴支援は毎日行っている。臨時で対応、人員が必要となる場合は、連絡網を利用し対応する職員が確保できる体制を整備している。	・適切な支援体制が確保されています。 ・連絡網を活用し、人員を確保できる体制を整備している点を評価します。	適宜状況を報告・共有することで、相談支援専門員が状態を把握できるよう連携している。介護保険の利用も増えている為、各関係機関の役割を明確にし、必要に応じケア会議を実施するようにしている。	・同一法人内にとどまらず、相談支援事業者や他の日中サービス支援型グループホームや介護事業所とも連携が取れており、個々の状態に応じた適切な支援ができています。					

	市町村	定員	利用者の主な日中活動について ①6H内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ②外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について ③外部の日中活動サービスの利用者人数： 人		地域に開かれた運営について ①家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ②実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ③実 習 生： 人ボランティア： 人		その他	
20	茂原市（グループホーム波乗研究所11）	9人	事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
			①食事の提供、清掃、洗濯、服薬管理、病院同行送迎、金銭管理、排泄介助、入浴介助、買い物支援 ②生活介護、B型就労支援施設 ③6人	・利用者の自立を促しながら、必要なサービスを提供していることを評価します。 ・買い物支援など、ある程度の制限を設けることにより利用者の生活の安定を図っています。 ・同性介助など、利用者に応じた適切な対応をされています。	①家庭環境に応じたフレキシブルなサービスを提供。離れている家族への体調やそのほかの報告。家族の面会。自宅への外泊時の援助（一時帰宅支援、など） 日中サービスの施設では地域住民との交流はない。 ②無し ③実習生：0人ボランティア：0人	①・利用者の家庭環境に応じた一時帰宅支援や、こまめな報告などにより開かれた交流の機会が保たれています。 ・地域住民との交流については、小さなことでもよいので、積極的に取り入れていただきたい。 ②・実習生やボランティアの受け入れについては、人材育成の観点からも必要と思われますので、積極的に取り組んでいただきたい。		
			利用者に対する地域生活の支援について ①利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ②体験的利用等のニーズに対応しているか。		短期入所の併設について ①地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。 ②緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			①買い物や娯楽施設への送迎、付き添い、誕生日、クリスマス会 ②入居者と同等のサービスを提供 5人程度	①利用者の関心に合わせた場所への外出や、定期的な外食など適切な支援ができています。 ②入居者と同等のサービスを提供することにより、十分な支援が行われています。 ・今後も継続的にニーズを把握し、積極的な受け入れを行っていただきたい。	①受け入れる施設は用意しているがニーズが少ないため、空き部屋となっており、遺失利益となっている。人員配置、設備、入居利用者への影響を考慮すると、限定されてしまうが、できる限り受け入れている。 ②受け入れる施設は用意しているがニーズが少ないため、空き部屋となっており、遺失利益となっている。急な受け入れは人員配置や設備、入居利用者への影響を考慮し、限定されてしまうが、できる限り対応している。	①ニーズが少ないながらも適切な受け入れを実施されています。		
			支援体制の確保について ①日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか		相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について			
事業者	協議会	事業者	協議会					
確保されている。		・日中、土日を含めて、十分な職員を配置されています。 ・同性介助など、利用者配慮した支援体制の確保について継続していただきたい。	見学会の実施、相談支援員への周知活動 相談員のモニタリング時への同席。利用者の様子の電話報告。体験者、見学者の依頼対応。	・常に相談支援員と密接な情報連携を図り、適切な支援に繋げていることを評価します。				

	市町村	定員	利用者の主な日中活動について ①6H内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ②外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について ③外部の日中活動サービスの利用者人数： 人		地域に開かれた運営について ①家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ②実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ③実 習 生： 人ボランティア： 人		その他	
21	成田市（ソーシャルインクルーホーム成田本三里塚）	20人	事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
			① 3食の提供、服薬管理、排泄介助、入浴介助、食事介助、洗濯、掃除、通院同行（主治医への報・連・相）・買い物同行（外出支援）、代理での買い物支援、関係先との連携、各種相談、訪問看護（医療連携）、金銭管理、各種受給券の更新、訪問カット等の生活に関わること全般の相談や対応 ②・就労継続支援B型事業所・デイサービス・生活介護事業所 ③ 10 人	【評価・助言】 重度の障害のある方でも快適に生活できる環境が整っているだけでなく、職員も利用者の障害の状態、状況に応じた支援が提供されている様子が見られた。 食事については、基本的に世話人が用意された食材を使って調理する形態をとっており、一定のルールを設けながらも、個々のニーズに合わせた食事の提供がされていて良いことだと感じた。現在、利用している方ではないかもしれないが、自分で食材を用意し、調理をしたいという利用者が入居した場合に、自分で料理ができる機会を提供できるよう工夫がされると、更にすばらしいと感じた。 金銭管理方法が確立されており、金銭でのトラブルが起きないよう工夫されていた。	①家族や、以前からのご友人の訪問もあり、利用者様と自由に交流している。週末を家で過ごすなど、外泊も各利用者様のニーズに合わせて行われている。 地域のスーパーから移動販売車をお迎えして、買い物をしたり、ご自身で近隣のドラッグストアまたはコンビニエンスストアまで外出される方もいらっしゃる。 ②現在は受け入れできていない。 機会があれば本社と協議し、必要な受け入れ体制の構築と継続した取り組みを行えるよう尽力したい ③実習生： 0人ボランティア： 0人	【要望】 個人情報保護等の課題もあると思うが、実習生やボランティアの受け入れについては、積極的に受け入れができるよう会社との協議を継続していただきたい。		
			利用者に対する地域生活の支援について ①利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ②体験の利用等のニーズに対応しているか。		短期入所の併設について ①地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。 ②緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			①・日中、通所などのない方々のために、ゲームを楽しんだり、天気の良い日は日光浴の支援を行い、楽しくリラックスしたムードで楽しめるようにしている。また同行での支援が必要な利用者に対して、買い物支援を行っている。 ②現在利用中の20名の内、17名は体験利用の上、入居をされ現在も生活されている。現在のところ体験利用後に入居されなかった方はいらっしゃらない。 2023年7月5名、8月2名、9月2名、10月1名、11月2名 2024年5月3名 入院中の体験利用で退院後入居の実績あり	【評価】 6泊7日まで無料で体験できることはすばらしいと感じた。	①短期入所の利用が低いため近隣の相談支援事業所と援護地へFAXに案内を実施。来訪時には直接ご案内を実施。 現在稼働率が低いが病院への案内強化や相談があった際は積極的に受入をしていきたい。 ②退院後の次の行き先が決まるまで、一時的に受け入れを行ったことがあり。 11月初旬には体験的に入院中の方で短期入所を利用しグループホームへの生活ができるかお試しの利用を実施。	【評価】 県外からの入居者もあり、全国展開している組織の利点だと感じた。 【助言】 短期入所の受け入れが低いとの話でしたが、地域でのニーズはあるため、相談支援事業所との連携強化を進め、緊急の受け入れなどの対応をお願いしたい。加えて、精神障害のある方の短期入所受け入れ事業所が少ないため検討してみてもどうか。		
			支援体制の確保について ①日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか		相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			（常時の支援体制確保状況の事例について） 2024年7月1日にオープンしてから人員配置体制加算7.5：1（旧3：1含む）を取得。 平日・土日どちらも1日で7～9人の従業員で支援体制確保が出来ている。	【評価・要望】 人員確保には大変苦労されながらも必要人員を確保しようとする企業努力が見られました。引き続き、利用者の支援体制の確保に努めていただきたい。また、サービス管理責任者の不在期間があるとのことだが、その間も、適宜、相談対応等が行えるような支援体制を整備された。	各利用者様の相談事業所との連絡は欠かさず行っており、必要に応じて訪問の依頼または担当者会議の提案を実施。 成田市内のクリニックとの訪問診療や、地域に根付いた内科病院との医療連携、また各種看護ステーションによる連携やリハビリテーション、精神カウンセリングなどを実施している。	【要望】 多くの職員が介在するため、福祉サービス事業所からの引継ぎ事項がうまく共有できていないとの話もあることから、利用者に関する職員間の情報共有方法について検討していただきたい。 地域の事業所との連携を強化する意味でも自立支援協議会への加入について検討いただきたい。		

	市町村	定員	利用者の主な日中活動について ①6H内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ②外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について ③外部の日中活動サービスの利用者人数： 人		地域に開かれた運営について ①家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ②実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ③実 習 生： 人ボランティア： 人		その他	
22	佐倉市（グループホームふわふわ佐倉）	20人	事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
			① ・買い物支援やお散歩支援で外出を支援。 ・季節事のイベント開催、おやつ作り、お誕生日会、受診同行、訪問看護、訪問診療、リハビリ、歯科、理容を入れている。 ・入居者様の希望に沿って日々買い物支援などはしております。	○買い物や季節のイベント開催、通院動向等を行っており、引き続き、各利用者の意向を踏まえて、日中サービスの提供をしていただきたい。	① ・ご家族の面会。外出時などの挨拶運動を積極的に取り組んでいます。	○令和6年度障害福祉サービス等報酬改定により、地域連携推進会議の開催等が、令和6年度は努力義務化、令和7年度は義務化されたため、ボランティアを含め、地域との交流を図ることにより、質の向上に努めていただきたい。	①・利用者の権利擁護体制についてどのようになっているか。 ・虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会を設置しており、想定会議など行い各事業所のケースを検討している。 ・事故報告は事業所より法人へ連絡を受け、マニュアルに則り対応している。またヒヤリハットにて予防を行う。 ・男性支援での女性職員の対応になるケースは現在ありますが、同性介助推進に向けて取り組んでいます。同性介助について女性利用者様に対しては、女性職員がすべて行っております。また、男性利用者様について入浴などは基本男性にて行っておりますが、食事介助、排泄介助など支援が重複する時間帯においては女性職員が対応するケースがあります。	○貴法人が名古屋市で運営するグループホームにおいて、食材料費の課題徴収及び障害福祉サービス等不正請求が認められ、指定取消処分が行われたことから、虐待防止委員会等が形骸化していたと判断せざるを得ない。 ○このため、今一度、貴法人全体において、虐待防止委員会への第三者の参加、マニュアルの見直し、定期的な研修の実施等により、虐待防止の徹底を図っていただきたい。
			② ・生活介護：オリオン、木の宮学園、はちみつ、きざし、ゆうゆうライフ ・就労B型：ブライアップ、ウーリー		② ・受入れは現在ありません。 ・今後出来るならば、ボランティア等に来て頂ける様に取り組みたいです。			
			③14人		③実習生：0人ボランティア：0人			
			利用者に対する地域生活の支援について ①利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ②体験の利用等のニーズに対応しているか。		短期入所の併設について ①地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。 ②緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。		②職員の研修体制についてどのようになっているか。 ・虐待防止委員会を事業所にて設置し、法人と合同虐待防止委員会を月に1度WEB会議にて開催し情報共有を図っております。 ・外部研修については、権利擁護研修やリスクマネジメント、事故防止対策等の、外部研修を受けに行ってます。今年度、強度行動障害の研修や地域法人様主催の研修に参加したいと考えております。職員の福祉の専門性にかかる研修の実施を出来るだけ行うようにしていきたい。	○ヒヤリハットの一連のスキームを実施することにより、ヒヤリハット件数の減少や、大事故につながらないようにしていただきたい。
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			① ・外出レクについて、近場では、ドン・キホーテなど行き、いろいろ興味の有るものを観たり買って帰るなど楽しみの一つとして行っています。 ・又、歴史博物館に行きみんなで、楽しみました。本人のおやつと一緒に散歩に行きながら買いに行くのは勿論、ホームではおやつ作りをしたり、月に1度昼を欠食し材料を買ってきて利用者様と一緒にハンバーガーや餃子など作ったり、折り紙、塗り絵などをしている。 ・又、（通院等の支援について）各入居者様の通院の予定を把握し、出来るだけ同じ職員で付き添い本人の要望や日々の行動などを相談して、各入居者様との関係も安心して貰える様に対応しています。また、保護者様と通院されるケースもございます。 ・保護者様と会える機会を楽しみにされている入居者様様もいらっしゃいますので保護者様と話し合いをさせて頂きながら都合の悪いときなどはホームにて通院同行させて頂いております。	○外出や余暇活動の支援については同上。 ○体験利用は、今後推進する予定である、地域生活支援拠点等の整備における5つの機能のうちの一つであり、積極的に受入れを行っていただきたい。	① ・週末利用や親御さんのレスパイトの為の受け入れや、今後の人生の中で一人で暮せる様にと体験としての利用を受け入れています。 ・直近での実績（直近3ヵ月）3名	○短期入所は、今後推進する予定である、地域生活支援拠点等の整備における5つの機能の一つであり、積極的に受入れを行っていただきたい。 ○虐待が疑われる場合は、速やかに佐倉市障害福祉課（障害者虐待防止センター）に情報提供いただきたい。		
			②（体験利用の事例について） ・入居前提の体験利用がほとんどですが、居室が空く予定の場合今後利用したい方の体験も可としております。 ・又、グループ内の施設で空きがある場合紹介頂ける環境ならお願いをしています。		② ・ご家族からの虐待、ネグレクトというケースで緊急受け入れを実施した。			
			支援体制の確保について ①日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか		相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について		③専門職の配置についてどのようになっているか。 （看護師等専門職の配置状況について） ・現在、弊社にて訪問看護を7月から立ち上げ、そこからの訪問看護を週2〜3日より訪問して頂いております。 ・看護師配置について今後軌道に乗りましたら、日勤常駐として、配置予定となる予定です。 ・服薬は、提携薬局に一包化、配薬をして頂いております。 ・また、提携往診医（月2回の往診）にて利用者様の健康管理をさせて頂いております。24時間オンコールにて相談環境もできております。 ・提携往診医・薬局との連携により入居者様の健康管理を進められております。	
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			・日中土日を含めた支援体制 一日勤者1ユニット1〜2名（2ユニット3〜4名） 一週間従事者1ユニット1〜2名（2ユニット2〜3名） ・必要常勤換算 世話人3.9／生活支援員4.5（令和6年度） ・人員配置体制20：1での支援体制となっております。 適時、7.5:1まで人員を配置していく予定としております。	○支援体制は確保されているため、引き続き、適切な支援を行っていただきたい。 ○他方、貴法人が名古屋市で運営するグループホームの指定取消処分及び他事業所への連座制の適用により、職員の離職が考えられるため、貴事務所に対する貴法人の今後の運営のあり方等について、職員に丁寧に説明を行っていただきたい。	（具体的な連携状況の事例について） ・常に相談員さん、生活介護事業所など連絡をとり情報共有している。 ・空室予定やグループホーム内の活動について共有させて頂いております。 ・今後、ボランティアの方を積極的に参加されて欲しいので、我々も積極的にボランティアセンター等声がけして行きます。	○利用者の社会生活の自立を促進することができるよう、引き続き、相談支援事業所や障害福祉サービス事業所等と連携を図っていただきたい。		

	市町村	定員	利用者の主な日中活動について ①6H内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ②外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について ③外部の日中活動サービスの利用者人数： 人		地域に開かれた運営について ①家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ②実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ③実 習 生： 人ボランティア： 人		その他	
23	東金市（（R5）グループホームふわふわ東金）	10人	事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
			①・外出支援として散歩やドライブ、買い物支援として支援員が同行し行っている。 ・余暇支援としてホットケーキ・クレープ等、支援員と一緒に作成している。 ・季節に合った創作活動を考え、行っている ②就労移行、就労B型、デイケア ③1人	個々のニーズや能力に合わせた支援を行っており評価できる。	①・自閉症協会の方、手をつなぐ親の会の方、見学に来てくださっている ・開所したばかりなので、まずは知って頂くように挨拶に行かせていただく ②今後、実習生やボランティアの受け入れを検討していきたい ③実習生：0人ボランティア：0人	親の会等の団体等への周知に努めており評価できる。 開所間もないので、今後の活動に期待したい。		
			利用者に対する地域生活の支援について ①利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ②体験の利用等のニーズに対応しているか。		短期入所の併設について ①地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。 ②緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			①・季節を感じられるよう、花見に行った ・お小遣いをもってお菓子問屋に行き、買いたいものを選び購入したり、ソフトクリームを食べたりした ②入所の方ほとんどが体験をし、利用者様の希望と施設の受け入れができるかお互いを確認し、入居につながっている 5人	季節に応じた外出や余暇支援に努めていると評価できる。 新規開設2か月で体験利用の全5名が入所につながったことは評価できる。 今後もニーズに合わせた支援につながるよう対応してほしい。	①6名利用 ②まだ事例ありませんが、アナウンスは随時しており、積極的に受け入れていきたいと思います	まだ利用者はないとのことであるが、緊急時の受け入れ、行動障害のある方の受け入れも可能とすることは評価できる。 今後の積極的な受け入れを期待したい。 山武圏域の障がい分野における災害時の福祉避難所として要援護者の受け入れに協力願いたい。		
			支援体制の確保について ①日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか		相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
日中（土日含む）1ユニット2～3名 夜勤1ユニット2名体制		24時間体制で支援するために必要な職員数を確保し、適正な職員配置がされていると評価できる。	・入居・短期の空き状況や、利用者様の状況を相談員様に報告させていただいている ・デイサービス、B型事業所に通いたい利用者様がいらっしゃますので体験など利用の連携をとらせて頂いている。	適切な連携体制がとられていると評価できる。				

	市町村	定員	利用者の主な日中活動について ①6H内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ②外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について ③外部の日中活動サービスの利用者人数： 人		地域に開かれた運営について ①家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ②実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ③実 習 生： 人ボランティア： 人		その他			
24	東金市（（R6）グループホームふわふわ東金）	10人	事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会		
			①・外出支援として散歩やドライブ、買い物支援として支援員が同行し行っている。 ・余暇支援としてホットケーキ・クレープ等、支援員と一緒に作成している。 ・季節に合った創作活動を考え、行っている ②就労移行、就労B型、デイサービス、生活介護事業所 ③14人	障害程度区分が重度の利用者もいるが、個々のニーズや能力に合わせた支援を行い適切なサービスを提供しており、グループホーム内の支援については利用者が過ごしやすく充実した支援、また、個別支援計画により利用者に合わせた外出の支援や日中活動サービスの利用など適切に支援を行っていると評価できる。 今後、特に利用者からは外出に関する支援の要望を聞いているので利用者個々のニーズに寄り沿って支援していただきたい。	①・入居者の家族様が、週末面会に来てくださっています。近隣住民が入居者に声掛け励ましてくださっています。 ②今後、実習生やボランティアの受け入れを検討していきたい ③実習生：0人ボランティア：0人	家族の面会や散歩時に近隣住民との交流があるなど、地域に開かれた運営がなされていると評価できるが、実習生やボランティアの受け入れはないため積極的な受け入れを検討していただきたい。 今後義務化される地域連携会議についても研修などで承知しており、今年末にはプレ開催を予定するなど積極的に準備し取り組んでいると評価できるが、地域の支援者や外部団体には早めの依頼が必要と考える。また、地域内に特別支援学校があるので交流、連携に努めていただきたい。	報道の経緯の報告 株式会社恵の不正請求及び食材費過徴収の件で、連座制の適用について、関東支社元社長より説明。 （ふわふわ東金については、不正及び食材の過徴収はないと確認済）	今と変わらない利用者の支援と職員体制の確保に指定期限までは全力で対応したいとのことであったため、今後不安を抱えているであろう保護者や利用者へ十分な説明を行い、相談支援事業所と連携を取りながら、利用者の継続した支援体制の確保を要望する。 今後の動向については、随時報告いただきたい。		
			利用者に対する地域生活の支援について ①利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ②体験的利用等のニーズに対応しているか。		短期入所の併設について ①地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。 ②緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。					
			事業者	協議会	事業者	協議会				
			①春には、お花見にでかけました。施設内では、かき氷を作ったりデザートを盛り合わせて食べたりしました。トランプ、オセロ、ぬり絵など行っています。イベントに向けて職員と制作活動をしています。 ②入所の方ほとんどが体験をし、利用者様の希望と施設の受け入れができるかお互いを確認し、入居につながっている ③体験利用人数：17名	季節に応じた行事を実施し、利用者の余暇支援に努めており、また体験利用からニーズを確認し多くの方が本入居につながっていることは評価できる。	①・入居者の家族様が、週末面会に来てくださっています。近隣住民が入居者に声掛け励ましてくださっています。 ②今後、実習生やボランティアの受け入れを検討していきたい ③実習生：0人ボランティア：0人	家族の面会や散歩時に近隣住民との交流があるなど、地域に開かれた運営がなされていると評価できるが、実習生やボランティアの受け入れはないため積極的な受け入れを検討していただきたい。 今後義務化される地域連携会議についても研修などで承知しており、今年末にはプレ開催を予定するなど積極的に準備し取り組んでいると評価できるが、地域の支援者や外部団体には早めの依頼が必要と考える。また、地域内に特別支援学校があるので交流、連携に努めていただきたい。				
支援体制の確保について ①日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか		相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について								
			事業者	協議会	事業者	協議会				
			日中（土日含む）1ユニット1~2名 夜勤1ユニット1名体制	サービス管理責任者の退職があり現状補充されてなく県内他事業所との応援体制で対応し体制確保はできているとのことであり、重要なことと認識して早めに配置することではあるが、未定とのことであるため適切な支援体制を整えていただきたい。 また、連絡体制を確保していただきたい。	山武の相談支援部会に参加させて頂いています。B型就労事業所や生活介護事業所に伺わせていただいています。事業所からの送迎時、情報供給をいたしています。	自立支援協議会相談支援部会に参加し関係機関と連携体制が取れており、また利用者のほとんどが日中外部の事業所に通所し、相談支援員の個別支援計画により支援が行われていることから、連携体制が取れていると評価できる。				

	市町村	定員	利用者の主な日中活動について ①GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ②外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について ③外部の日中活動サービスの利用者人数： 人		地域に開かれた運営について ①家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ②実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ③実 習 生： 人ボランティア： 人		その他	
25	習志野市（グループホームふわわ習志野実籾）	10人	事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
			①生活介護には通っていない、施設で活動を行っております。散策を始め、各種室内イベントを行い、ときには外出活動にも取り組んで頂いております。 ②無し ③0人	【要望】 ・入居者の心身の健康維持、向上を図るためには、規則正しい生活リズムが大切であり、良い生活習慣の定着が全ての支援の基本となります。長期的な健康管理の視点を持った日中活動のプログラムの見直しが求められます。 ・「サービス等利用計画」や「個別支援計画」に基づく、目的を持った計画的なサービス提供が求められます。特に日中に通所等の外部サービスに繋がっていない方については、ADLやIADL、ウェルビーイング等の低下がないように、「日中サービス」の提供を計画してください。 ・入浴について、やむを得ない場合は体を拭くなどし、基本的には毎日の入浴をお願いしたいです。 ・相談支援専門員や市、基幹相談支援センター等、身近なところへの相談を積極的に行ってください。 ・本人の希望を聞き自己決定ができるよう、絵を見せるなど道具を活用した支援をお願いします。 【助言】 ・個々の入浴時間等がわかるように掲示するなど、本人が理解できるような工夫も検討してください。 ・強度行動障がいや有する入居者については、専門家や外部支援機関からのサポートも受け、可能であればその人に応じた「支援手順書」や「行動観察シート（記録）」を用意するのが良いと思います。 ・室内イベントは、入居者の誕生日会以外ほぼ日常的に無いように感じました。日中活動等はスタッフが実際に見学等を積極的に行うことで関係づくりができるのではないかと思います。	①ご家族や保護者の方に施設に在所して頂き利用者様の普段の様子を伝える場を設けている。 ②記載なし	【要望】 ・地域との接点や交流は「入居者本人にとって」と「施設（職員）にとって」の両面で効果が期待されます。訪問時に入居者が嬉しそうにしている様子からも、多くの方と関わる機会が彼らにとって必要であることがわかります。同時に、「施設にとって」は、近隣に「グループホーム」や「障がい」を知ってもらうことが、入居者の買い物や散歩などの活動に新たな人との出会いや目的を生み、地域共生への好循環を生み出すきっかけとなります。閉鎖的にならないよう、事業所独自の地域との交流の機会を持つことが望まれます。 ・家族との連絡がうまく取れない方がいるとのことですが、まずは家族との連絡体制を構築するべきです。また、関係機関やその他相談できる場所を作り、困っていることを適宜相談し、解決していくことを積極的に努力してください。 ・地域連携推進会議の開催などについて検討してください。 【助言】 ・地域とのつながりは、自治会などへの加入等をきっかけにできることもあります。地域の防災訓練と一緒に参加するなど良いと思います。 ・実習生やボランティアの受け入れ体制を整え、経験の浅い人材の育成やスキルアップに繋がる活動は、外部からの良い刺激という観点からも必要です。ボランティアにどんなことを望むのか、入居者のニーズを把握するところから始めるのが良いと思います。そのためにも、個別に入居者と過ごす時間や場所を変えてニーズを探る必要があるのではないかと思います。 ・社会福祉協議会と連携し、ボランティアの利用など多くの支援者を作り出していくことを検討すると良いと思います。	生活介護事業所等、また、ボランティア団体の情報共有が可能であればお伺いしたく考えております。	【要望】 ・地域に根ざす事業所として、今後積極的な支援体制や他者との連携を期待します。 【助言】 ・企業規模から事業所単位での迅速な判断や柔軟な対応など、運営の困難さも伺えます。入居者の心身の健康を最優先に考え、事業所としての対応に限界を感じた場合は、市や協議会に相談してください。
			利用者に対する地域生活の支援について ①利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ②体験的利用等のニーズに対応しているか。		短期入所の併設について ①地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。 ②緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。			
事業者	協議会	事業者	協議会					
		①利用者様と外出（買い物等）敷地内での散歩、リビングで各種室内イベントを行っております。利用者様のニーズに応えるべく安心して過ごせるよう務めております。 ②入居前に施設見学をして頂き、将来グループホームに入居希望の方をお預かりしている。	【要望】 ・入居者が「役割」や「楽しみ」を通して日々の生活に変化や充実感を得られる工夫や、曜日や時間によってメリハリのある生活を提供することが必要です。“職員の体制に合わせる”ではなく、入居者本人にとって“必要な活動に職員の体制を合わせる”という考えを基本とすることが望まれます。 ・散歩や買い物、入浴等の頻度が少ないように感じます。天候が良ければ散歩は毎日実施しても良いと思います。 ・余暇活動のニーズ把握には工夫が必要です。個別に計画的に関わり、工夫を深める対策の検討をお願いします。 【助言】 ・入居者の相談支援専門員や基幹相談支援センターなどに相談し、行動援護、重度訪問介護などの外部サービス活用も積極的に考えると良いと思います。	①関係相談員様と連携させて頂き、施設見学して頂き、短期入所希望の方は受け入れをしている。 ②病院からの緊急対応、またご家族の急な入院での受け入れに対応している。	【要望】 ・同性介護が提供できるよう、スタッフの雇用・配置にご尽力ください。（特に、トイレや入浴介助など） 【助言】 ・支援の必要度が高く、幅広い障がいのある方を受け入れていることが伺えます。併設型の短期入所を利用された方が再度利用したいと感じ、「リピーター」となっていただくことが評価の指標だと思います。また、多くのリピーターがGHの正規利用者となるため、短期入所を利用した方が再度利用したいと思えるようなサービスを今後も提供してください。			

		支援体制の確保について ①日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか		相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について		その他	
		事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
		平日・土日含め日中は支援員を1～2名、夜勤1名で常時支援体制を配置しております。日勤勤務時間 8：30～17：30 遅番10：00～19：00 夜勤勤務時間 17：00～翌9：00	【要望】 ・サービス管理責任者や世話人などの職員配置を早急に行い、入居者の支援体制を確保することが急務です。その後、職員研修等のステップに移る必要があります。 ・実際に支援に従事している職員の研修や人材育成を目的とした、グループ企業以外の機関との交流や会議への参加を通じて、支援の質の点検や改善に繋げてください。	定期的に利用者様の関係相談員様、ご家族様との連絡をし健康状態や普段の様子を伝えております。緊急短期利用の受け皿となれるよう、今後も近隣の事業所と連携を深め、相互の支援体制を整えていきたい。	【要望】 ・連絡の取れない家族がいるようですが、相談支援事業所だけでなく、援護地の市区町村と連携を取りながら、入居者の人権擁護を行う必要があります。 ・サービス管理責任者が不在の場合でも、現在利用している方の具体的な支援計画を立て、関係機関との連携を図ってください。 ・緊急時（災害時等）への備えについては、現状不十分であるため、改善をお願いします。 【助言】 ・管理者やサービス管理責任者などが、市内で開催される研修会や関係機関に顔を出すなどして、「地域」を知ることから始めると良いと思います。		

	市町村	定員	利用者の主な日中活動について ①GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ②外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について ③外部の日中活動サービスの利用者人数： 人		地域に開かれた運営について ①家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ②実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ③実 習 生： 人ボランティア： 人		その他	
26	習志野市（車椅子特化型 障害者グループホームカイト実拠）	9人	事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
			①・入浴介助・排泄介助・食事介助・朝・昼・夜の食事提供 ②生活介護、就労継続支援B型事業所 ③3人	【要望】 ・「日中支援」の充実が求められているGHであるため、入居者のQOL向上のために日中活動も含め、どのようなサービスを提供していくか検討いただくとともに、長期的な視点をもって心身の健康維持に努めてください。 ・入浴や外出等の頻度についても全体のボトムアップに期待します。 ・食事内容については、重要事項説明書と実際の提供内容に齟齬があったため、実態に合わせた訂正をお願いします。また、食事内容に関しては、経営側の事情や意見が優先されないよう、入居者へアンケートを実施するなど工夫が必要と考えます。 ・重度訪問介護の利用について、GHのみでの支援が大変な際には、担当の計画相談や行政に相談し、今後も地域の資源の活用を行ってください。 【助言】 ・日中をGH内で過ごすことが多い入居者に対しては、ADLやIADL、ウェルビーイング向上などを個別支援計画の中で位置づけ、個々に応じた目的性を伴う「日中サービス」を提供できると良いと思います。 ・食事については、外部事業者より調達したものを湯煎し提供されているため、食事量など入居者が満足しているか確認した方が良いと思われます。また、入居者にとっての「楽しみ」という部分で、時々サイドメニューやデザート等を一品追加するなど、アクセントを持たせる工夫もあると良いと思います。 【評価】 ・今後も同性介助による支援を行ってください。	①制度で決められているものは実施予定。 ②記載なし	【要望】 ・今後も地域等で開催される会議などに積極的に参加し、外部の研修や他事業所との交流を通じて、知識や意識の向上を図ってください。 ・入居者同士や家族、地域住民との交流については、事業者側から積極的に働きかけ、機会を求めてください。 ・他人には代えがたい「家族」との交流の機会がGH入居によって遠のくことがないよう、積極的に支援してください。 ・地域連携推進会議の開催についても検討していただけると良いと思います。 ・実習生やボランティアの受け入れに関しては、今後の人材育成だけでなく、現職員のスキルアップにも繋がる機会でもあるので、社会福祉協議会に相談するなどして、積極的に受け入れてください。 【助言】 ・地域との交流の機会を把握し、参加可能な行事等には積極的に参加するとよいと思います。 ・屋外へ出ることが難しい入居者にとっては、ボランティア等がGHに来ることが大切な社会交流の機会であるため、個別にでも機会を作っていただくと良いと思います。	【要望】 ・非常災害対策として、施設に特化した具体的計画の策定や、大地震や火災などを想定した現実的な避難訓練に迅速に取り組んでください。 ・車椅子特化型のGHであり、利用者の避難行動には時間がかかると考えられるため、消防等との連携による定期的な避難訓練の実施を要望します。 ・避難経路について、ウッドデッキから前面道路へ避難する経路のバリアフリーを確保してください。 ・重要事項説明書に記載されている内容について、現状と異なる箇所の修正をお願いします。 【助言】 ・災害時など緊急の際は車椅子移動を伴う入居者がいるため、避難所等の確認、緊急時を想定した情報共有、避難訓練等を地域の協力を得ながら行うことが大切だと思います。	
			利用者に対する地域生活の支援について ①利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ②体験的利用等のニーズに対応しているか。		短期入所の併設について ①地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。 ②緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			①・散歩同行や、買い物付き添い。 ②対応している。1回目が2泊3日から。2回目が間開けて1週間を設けています。	【要望】 ・法人や事業所の理念である「人の為に」や「自立」といったキーワードが日々の活動に反映され、一人ひとりが役割を持ち、入居者や地域からお互いに頼り頼られる生活が送れるようにしてください。 ・日中GH内で過ごす入居者の体力低下予防の観点から、体を動かす時間など過ごし方の工夫をしてください。 ・外出の際の安全確保や把握は、特に災害等の緊急時には重要なことと考えます。一人で外出する際の連絡方法など、適宜入居者や家族と共有してください。 【助言】 ・外出や余暇支援について、サービス等利用計画や個別支援計画の中に位置づけ、計画的に実施していくと良いと思います。 【評価】 ・体験利用については、入居に至るまで一定の体験ができていて良いと思いました。	①受け入れしている。（1人あたり2週間程度） ②対応している。	【要望】 ・今後も、地域で不足している資源の整備をお願いします。 ・市内でショートステイの需要が高いため、今後も積極的に受け入れてください。 【助言】 ・GHが男性棟であるのに対して、短期入所は男女の別なく受け入れているようなので、入居者や短期入所利用者、保護者等に対する丁寧な説明が必要であると思います。 【評価】 ・短期入所は貴重な地域資源として十分に活用されているという印象を受けました。		
			支援体制の確保について ①日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか		相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について			
事業者	協議会	事業者	協議会					
確保している。	【評価】 ・法人として他にもグループホームや重度訪問介護、居宅介護を運営しており、サポート体制が整っていると思われます。	緊急な体調不良やアセスメントを行う上での利用者様の変化などの共有を都度行っています	【要望】 ・定期的な情報共有の手段も検討してください。 ・入居時のアセスメント不足を感じる事例があったため、しっかりとアセスメントを行い、計画相談支援事業所との連携を積極的に行ってください。					

	市町村	定員	利用者の主な日中活動について ①6H内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ②外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について ③外部の日中活動サービスの利用者人数： 人		相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について		その他	
27	流山市（Cocoro 流山北）	10人	事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
			①排泄支援、食事の提供や支援、入浴支援、日常生活における介助全般。 ②生活介護、就労継続支援B型、移動支援	①※評価の視点：重度化・高齢化等で日中をホーム内で過ごす利用者への支援はどのようにしているのか。利用者の特性をふまえた日中活動サービスについて、個別支援計画に基づき適切に提供を行っているか。 ・グループホーム内でできる支援は、個々に応じて滞りなく提供されている ・生活にかかる活動（入浴など）が中心なので、散歩や外出などの余暇活動や軽作業などの活動を取り入れてもよいと思う。 ②※評価の視点：本人の希望に沿った日中活動サービスの提供、利用の支援を行っているか。 ・日中活動を利用している方が入居される方が多く、そのまま利用を継続することができるのは評価できる。送迎時間など様々だが対応しているのは良い。	（具体的な連携状況の事例について） ・入居者様の体調やご様子等、相談支援員にご報告。又、相談支援員からの聞き取り等にもその都度対応させて頂いております。 ・他のサービス事業所（他法人）につきましては、（生活介護）連絡帳を使用したり、送迎時には、お話をして互いに利用者様のご様子等情報交換しております。			
			利用者に対する地域生活の支援について ①利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ②体験的利用等のニーズに対応しているか。		利用者の健康・医療について ①日々の健康観察をどのように行っているか ②定期的に医療機関等で検診を受けているか（健康診断、歯科検診等）			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			①・職員同行で近くに散歩や買い物に出かけています。 ・移動支援を利用し、カラオケや買い物に行かれる方もいます。 ②・体験を何度かご利用いただき、様子をみさせて頂いた上で入居して頂いております。	①※評価の視点：利用者が充実した地域生活を送るため、外出や余暇活動等の支援に努めているか。外部サービスを活用する等の工夫を行い、個別の支援を行っているか。 ・外出の機会も多く取られており、個々のニーズに合わせた対応をしようとされているが、職員の対応できる範囲という条件があると思うので、個々の希望に柔軟に対応できるよう（特に休日）外部サービスの利用を含めた余暇支援を今後も行ってもらいたい。 ②※評価の視点：入居前提の体験利用に留まらず、自立生活の体験を目的とした利用の受け入れを行っているか。 ・開所当初と言うことで、入居前提の体験利用が中心となっている。今後は自立生活体験を目的とした利用も考えてみたいとのことなので、環境を整えて行ってもらえるよう期待したい。	①・毎朝体温測定しております。 ・入浴時には、身体状況を観察しております。 ②・生活介護ご利用の方で（尿・便検査）健康診断にご協力させて頂いております。 ・ご利用者様のご家族の方が定期的に一緒に通院されております。 ・当ホームでは協力医療機関（訪問診療）を引き続きご利用者様にご提案してまいります。	②・急な体調不良時は家庭に連絡することもあるとのこと。ホーム内で対応することも検討してほしい。 ・健康診断を受ける機会がなく、希望する場合はホームで対応してほしい。 ・訪問診療なども活用してもらえると良い。		
			支援体制の確保について ①日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか		職員体制について ①職員医療・福祉資格取得状況 ②資格のない職員への取り組みはあるか。 ③現在のグループホームにおける従事年数 ④事業所内、外部での研修は受講しているか。			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			平日、土日関わらず、日中特に朝方、夕方をより一層重点的に支援できるよう配置しております。	※評価の視点：人員配置基準を満たしていることを前提とし、予定している日中サービスの提供にあたって、必要となる人員（人数及び職種）が確保されているか。 ・同性介助が原則として行われていることは評価したい。今後拡大するにあたり人員配置等更なる配慮が必要だと思われる。	①介護福祉士、強度行動障害支援者 ②資格取得の際、法人として費用援助があります。 ③（長期勤務者）0名 ④強度行動障害演習：4人、世話人研修（スキル向上）：2人	・今後も研修の参加や専門職を配置し、施設全体の支援技術を高めていって頂きたい。		

地域に開かれた運営について ①家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ②実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ③実習生：人ボランティア：人		利用希望者の受入れ可否の判断基準について ①利用希望者の受入れ可否の判断基準はあるか ②実際に利用希望があった時に受け入れを断った事例はあるか		その他	
事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
①定期的に週末後帰宅される際、お薬や備品を届けてくださったとき等、ご家族様と面談しております。 自治会に入会しており、ゴミ拾い等の活動にも参加していく考えです。 ②記載なし	①※評価の視点：入居者は地域の一員であることを理解し、入居者の生活がGH内で完結することのないように支援を行っているか。 ・自治会の活動にも参加していることは評価できる。 ・自治会の中で役割などにも任せてもらえるような存在になってほしい ・立地条件に恵まれており受け入れてもらいやすい環境であるとの強みを活かして行かれれば、交流の機会も増えていくと思われる。 ②・施設の風通しを良くし、人材育成を行う観点からも実習生やボランティアの受け入れについては今後検討してほしい。	①・他の利用者さまへの迷惑行為（他害行為含む） ・職員スタッフの体制上、支援することが難しい場合。（マンツーマン対応や、医療行為を伴う場合） ②・体験入所の際、夜中に覚醒。大きな声をあげられ、他の利用者様の睡眠の妨げになった為。	・日中サービス支援型GHであり、強度行動障害の研修修了者も配置しているので、行動障害が見られる方でも利用を検討して行ってほしい。受け入れを行いながら地域の課題と感じたことなどを自立支援協議会にフィードバックして頂き、強度行動障害のある方の受け皿の整備に繋げて行ってもらいたい。 ・体験をしてもなお受け入れが難しいと判断された方々の行き先を幾つか紹介できるような情報提供があったらよいと思う。		
短期入所の併設について ①地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。 ②緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。		協議会からの要望・助言への対応 (2回目以降記入)			
事業者	協議会	事業者	協議会		
①記載なし ②お母様が手術で入院され、支援できる方がいない為 ご夫婦ともに用事や仕事の出張が重なってしまった為	①※評価の視点：短期入所がどのくらい稼働しているか。稼働が低かった場合、どういった理由によるのか。 ・障害の度合いにより、必要な支援の量も変わるため稼働率を保つのは難しいと思うが、充分な稼働をおこなっている。今後は空き状況の公表や支援が難しい児者の受け入れを積極的に行って頂きたい。 ②※評価の視点：日中サービス支援型の本来の目的の一つである緊急時の受入れに対応できているか。できなかった場合はどういった理由によるのか。 ・緊急時にも対応しており評価できる一方で、部屋数が少ないため緊急という理由で長期利用の場合は他者の利用が制限されるため、検討して行ってほしい。 ・緊急時の児者、障害の種別に関わらず受け入れしていることは地域の重要な社会資源となっている。				

	市町村	定員	利用者の主な日中活動について ①6H内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ②外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について ③外部の日中活動サービスの利用者人数： 人		相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	その他		
28	流山市（野々下の樹）	10人	事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
			①日常生活における介助全般（排泄支援、食事の提供や支援など）や機能訓練に繋がる運動支援やウォーキングの支援や通院の付き添い支援、また余暇的な買い物付き添い支援などを実施しています。 ②生活介護、就労継続支援B型、日中一時支援、移動支援 ③18人	①・屋内で過ごすだけではなく、ウォーキングや軽作業を取り入れており、移動が難しい利用者に合わせた対応をしている。また、B型の作業をホーム内で行えるようにするなどその方にあった日中活動を支援できている。 ② ・本人の特性や希望に沿った日中活動サービスの利用をしている。利用の頻度は本人の希望に合わせて対応しており、柔軟に対応していることが伺える。 ・他の法人のサービスも利用するなど個別対応ができている。	入居者さんの身体状況の確認を他の事業所職員を交え、担当者会議を相談支援事業所が主体で実施し、それに参加しています。また定期的なモニタリング実施時には情報交換をしています。他事業所とは、日中活動の事業穂をご利用されている入居者さんに関しましては、連絡帳（ご家族もご帰宅の際には目を通します。）を通して日々連携を図っています。	・利用者の希望とはいえ、自法人の相談支援事業所、日中活動事業所がほとんどで、中立性の確保については課題として検討してほしい。 ・法人職員が必ず選番に一人は入るような体制が組まれていることは情報共有を行う上で重要ポイントになっており、評価したい。 ・携帯などのツールを使い写真を送るなど、密な連携、報告ができている。他事業所利用の方に関しても同様のきめ細やかな情報共有をお願いしたい。		
			利用者に対する地域生活の支援について ①利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ②体験的利用等のニーズに対応しているか。		利用者の健康・医療について ①日々の健康観察をどのように行っているか ②定期的に医療機関等で検診を受けているか（健康診断、歯科検診等）			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			①車を利用して外出し、地域のショッピングセンターなどでの買い物支援や公園などに行つて散策などを楽しんでいます。 ②これまでの体験利用者の人数：9名。入居前に体験的に短期入所をご利用され、場所に慣れた後に入居されています。	①・外出などは事業所内で可能な限り対応していることが伺えるが、職員の調整など事業所の負担を考えると、相談支援事業所と連携して、より多くの外部サービスの活用を求めたい。親の希望にも対応できている。 ・週末、帰省する利用者に対し送迎サービスをされており、支援が充実している。 ・今後実家に帰ることができない方が増えても地域と繋がる機会の確保をお願いしたい。 ② ・現状、体験の利用は同法人のサービスを利用している障害者以外の利用ができない状況であることはとても残念に思う。 ・入居前提の体験利用のみだが、すぐの入居ではなく経験として体験したいニーズに対しては短期入居として対応している。自法人サービス利用者以外の方の受け入れを行って頂いてもらいたい。	①毎帰ホーム時、毎朝夕の体温測定、一日1回の血圧測定、週1回以上の血中酸素飽和度（SP02）の測定を実施し、記録を付けています。また、朝の洗顔児童の顔色をチェックし、にゅよくじには身体状況を観察して怪我や腫れなどがなければを診ています。 ②健康診断につきましては、日中活動の支援事業所に通われている方は先方の事業所で受診されており、検査結果をご家族から提供頂き、情報共有しています。定期健診（歯科を含む）につきましては、現在ホームでは付き添い支援をされている方とご家族が付き添われて受診されている方と半々いらっしゃいます。徐々にホームでの対応者が増えてきています。	①・外部事業所や家族の方などにうまく協力してもらい対応できている。自分で申告や表出が難しい方に配慮し、健康状態がしっかり把握できるよう工夫されており、急な体調変化の時も対応できている。 ② ・入居前の医療機関の利用を個々に継続していることは評価できる一方で、今後頻度が増えたり利用する医療機関が増える则対応が難しくなることも考慮される。 ・訪問診療などもうまく利用しつつ、継続して行ってほしい。		
			支援体制の確保について ①日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか		職員体制について ①職員医療・福祉資格取得状況 ②資格のない職員への取り組みはあるか。 ③現在のグループホームにおける従事年数 ④事業所内、外部での研修は受講しているか。			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			平日の日中は、午前中は世話人、午後は生活支援員が各棟に1名以上は勤務しています。土日、は、入居者さんがいらっしゃるときには、必ず1名以上の生活支援員または世話人が勤務をし支援にあたっています。	・人員配置が困難な状況の中でも、同性介助が原則として行われていることは評価したい	①介護福祉士 ②法人として資格取得のための費用援助をしています。 ③4～10年未満：9名 ④ 権利擁護：9名 支援員のスキル向上：9名	①今後は行動障害の方にも対応できるよう、研修の受講を進めて頂きたい。 ③従事年数が長い職員が多いこともあり、元々のスキルが高いと思われるが、今後も研修等で更なるスキル向上を目指してほしい。 ④法人外の方の受け入れもぜひ検討して頂きたい。		

	市町村	定員	利用者の主な日中活動について ①GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ②外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について ③外部の日中活動サービスの利用者人数： 人		相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について		その他	
29	流山市（クリード流山）	10人	事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
			① ・居室や共有スペースの清掃の手伝いの声掛けと促し ・散歩や買い物などの声掛けと促し ・早めの入浴支援	①本人の希望に基づいて個別に活動（入浴など）は行っている。特性を踏まえた支援が提供されている。通所ができない方のためのレクリエーションや作業が企画されるとより良い。 ②GHの残留を進めることなく、日中活動へと通所を促している。入居に併せて系列の生活介護に通所されている方が多いが区分にばらつきがあることもあり、相談支援事業と連携し、本人に合った社会資源の提案を行ってもよいのではと感じた。	・相談支援員のモニタリングや職員への聞き取り等には、都度対応をしている。 ・他法人の移動支援事業所と契約されている方もいる。 ・地域活動支援センターや東深井福祉会館を利用されている方もいる。		・日中活動の場の検討など、相談支援事業者と連携して本人の生活を考えていってほしい ・セルフプランの方については、計画相談が利用できるよう引き続き支援をお願いしたい。	
			利用者に対する地域生活の支援について ①利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ②体験的利用等のニーズに対応しているか。		利用者の健康・医療について ①日々の健康観察をどのように行っているか ②定期的に医療機関等で検診を受けているか（健康診断、歯科検診等）			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			① ・移動支援を利用して、外出や買い物等を行っている。 ・職員同行で近郊の散歩や図書館等に行っている。 ②28名の方がグループホームの体験利用をされている。 これまでの体験利用の方はグループホームに入居前提でのご利用となっている。	① ・近隣住民の反対があり、職員同行が必須としている。それを理由としていつまでも制限される状況は改善してほしいため、行政機関等と連携し、改善に向けて動いてほしい。 ・現状移動支援利用者は3名だが今後増やしていくことができると思われる。また、移動支援以外でもその方にあった地域生活について検討し支援して頂きたい。本人の希望を取り入れ対応されており、今後も継続して頂きたい。 ②入居を前提としない体験は問い合わせ自体ないということであるため、広報が市町村も含め必要であると考えられる。	① ・看護師によるバイタルチェック ・職員による様子観察 ② ・年に1回 健康診断実施 ・毎週1回 訪問歯科往診 ・毎月2回 精神科・内科往診		① ・医療との連携ができている。かかりつけ医を作ってもらよう声掛けもしており、今後も継続してほしい。 ・喫煙に関しては、近隣との関係性に関わる所でもある。苦情対策及び受動喫煙対策を努めてほしい。 ・セルフケア能力の低下や発信の弱い方も多いため、入浴時や日々の生活の中での体調観察は今後も続けてほしい。 ② ・訪問診療などをうまく利用している ・継続していってほしい	
			支援体制の確保について ①日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか		職員体制について ①職員医療・福祉資格取得状況 ②資格のない職員への取り組みはあるか。 ③現在のグループホームにおける従事年数 ④事業所内、外部での研修は受講しているか。			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			曜日固定のシフト勤務により、日中・土日共に配置基準以下にならないようにしている。	必要となる人員は確保されており、現状はまだ完全にできていないが、同性介護への配慮もされている。今後常時同性介護ができるように体制を整えて頂くことを希望する。	①看護師2名、介護福祉士3名、強度行動障害支援者4名、その他（初任者研修5名、実務者研修2名） ②法人で資格支援制度があり、受講費の補助がある。 ③1～3年未満：21名、4～10年未満：3名 ④虐待防止研修：22名、身体拘束防止研修：20名、感染症・蔓延防止研修：22名、ハラスメント研修：24名、個人情報保護研修：20名、（所外研修）強度行動障害研修：1名		③ ・経験年数の短い方が多いため、研修の参加等職員教育に力を入れていることは評価したい。0JTなど事業所内で日々の支援について学ぶ体制も整えて行ってもらうと良いと思われる。 ・研修への参加人数や研修会数も多く、職員にとって多くを学べる環境が提供されている。	

地域に開かれた運営について ①家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ②実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ③実 習 生： 人ボランティア： 人		利用希望者の受入れ可否の判断基準について ①利用希望者の受入れ可否の判断基準はあるか ②実際に利用希望があった時に受け入れを断った事例はあるか		その他	
事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
① ・第三者委員会を設置し、外部3名の方に依頼しており、毎月利用者2名の面談をお願いしている。 ・自治会に入会しているが、コロナの影響もあり現在のところ主だった活動は行っていない。 ②現在のところ問い合わせが来ていない。	① ・外部の対応（第3者委員）を行っているのは継続してほしい。地域の民生委員などを加えるのもよいのではないか。 ・自治会活動に参加して地域の理解、関係構築を進めてほしい ・家族との交流はできている。 ・地域住民から利用者の単独行動を阻む意見があるのは権利侵害と言える。交流を通じて障害者理解に努め改善されていくことを希望する。 ②施設の風通しを良くし、人材育成を行う観点からも実習生やボランティアの受け入れについては今後検討してほしい。	① ・他利用者への迷惑行為 ・他害行為 ② ・体験初日から職員への噛みつき、居室内の壁紙と壁の破壊行為。 廊下の壁をかじり、壁紙をはがす行為があった為、入居をお断りさせて頂いた。ご本人は入院。壊れたものは保険にて対応した。	・聞き取りでは、必ずしも他害行為があるからと言って利用を受け入れない訳ではないとあり、随時対応を検討することが伺えた。また、体験の受け入れを行うなど、困難な方の受け入れも検討している所が評価できる。今後も継続していつてほしい。 ・利用希望者を積極的に受け入れようとする姿勢がみられる。今後研修等により、職員の対応可能な範囲が広がるよう期待したい。		
短期入所の併設について ①地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。 ②緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。		協議会からの要望・助言への対応 (2回目以降記入)			
事業者	協議会	事業者	協議会		
① ・最近までロングでのご利用があったが、5月で終了している。 ・7月より流山市東深井の方が1名契約予定。 ② ・5月まで緊急の受入れをしていた。ご家族が回復されご自宅で受入れできるようになった為、短期入所を終了している。 ・空きがある場合、今後も緊急時の受入れに対応する予定。	①年齢などにとらわれず、幅広い方が利用できることはよい ②緊急の受け入れに対応され、地域の重要な社会資源となっている。今後更に緊急対応として、1床をどのように移動していくべきか、行政とも連携し地域の様々な方が緊急時にも利用できるよう、受入れ方法を検討してほしい。部屋の位置や受け入れの階層なども検討の余地もあるのではないかと。	・入居時にご利用者様の希望を伺い、状況に合わせてサービス等を選択していただいている。			

	市町村	定員	利用者の主な日中活動について ①6H内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ②外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について ③外部の日中活動サービスの利用者人数： 人		利用者のニーズ把握について		その他	
30	八千代市（グループホームふわふわ八千代島田台）	20人	事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
			①ご利用者様の生活に合わせた日常生活支援を行っています。 生活支援 ・介助全般（起床・身体・入浴・食事・就寝） ・通院等介助 ・買物同行支援、お散歩支援 ・個別スケジュールの管理、通所との連携 ・ご要望があった場合金銭管理 ・各種相談支援、行政手続き支援等 ・レクリエーション 毎週月曜日：移動販売車のお買物支援 健康管理 ・毎日、朝夕のバイタルチェック ・体重測定（毎月） その他 ・往診：内科、歯科、精神科 ・訪問看護、リハビリ、理美容など ②生活介護や作業所に行かれております。 ・ふる里学舎八千代 様 ・はばたき職業センター 様 ・ゆたか福祉苑 様 ・生活介護ばっそ 様 ・就労継続支援B型ネコバス 様 ③13人	【評価】 ・今まで日中活動をしていない方が、通所を始めることができていた。 【要望】 ・民生委員やボランティアに訪問していただくなど、地域資源を活用しながら日中活動の充実を図っていただきたい。 ・障害特性等に応じて、外出による活動や屋内での活動等を充実させ、自立性や社会性の向上につながる取り組みやマンネリ化しない活動計画の立案に努めていただきたい。	精神障害のご利用者様について ご家族、ご本人、精神科医、相談支援員の方々と話し合いを行い目標に向かって進めております。 知的障害のご利用者様について 社会参加をして頂くために、買物や散歩、通所などを通してご利用者様の希望を探っております。	【要望】 ・必要に応じてご家族等との話し合いを行うなど、ニーズの把握には綿密に対応していただきたい。知的障害の方はニーズを言葉で表現することが難しいため、普段の様子から汲み取っていただけるよう努めていただきたい。		
			利用者に対する地域生活の支援について ①利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ②体験的利用等のニーズに対応しているか。		支援困難事例について			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			① ・買物支援（ベルク、マツキヨ、ドンキホーテ、100均） ・コンビニエンスストアへお散歩同行 ただ、人員不足の為に以前ほど回数多く行う事が出来ておりません。 ②将来的にグループホームをご利用したい方の見学を実施し、ご説明の上、体験利用を行わせて頂いたりしております。 体験期間はご利用者様のニーズにお答えできるよう、一週間から最大50日まで体験を行っています。 体験時の生活内容はご家族様のニーズに合わせた対応を心掛け、集団生活の場の提供を実施しております。 現在までに入居された利用者様は、体験を通して入居されております。入居前提でなくても体験利用可能です。 ただ、今現在、サービス管理責任者が在籍していませんが、いつでも体験できる準備は行わせて頂いております。	① 【評価】 ・今回はやむを得ない理由での人員不足があるが、人員が揃った際には、小旅行や毎週土曜日の料理を再開したいという話を聞くことができた。人員不足が解消した際には、ぜひ実施していただきたい。 【要望】 ・ホットプレートを利用した簡単な調理など、利用者の方々でも気軽に参加できるレクリエーションを企画していただきたい。 【助言】 ・施設で企画運営が負担な場合、地域のレクリエーションやイベントに参加してはどうか。 ※他地域ではあるが、ウォークラリー大会に日中支援型デイサービスの利用者・職員が参加をしていた。（参考URL： http://chiseikyo.net/walk.html） ② 【要望】 ・見学・体験可能な年齢が分かるようにしていただきたい。 ・サービス管理責任者含め、引き続き人員確保に力を入れることで体験利用においても安定するサービスが提供できるようにしていただきたい。	・原因究明には至っておりませんが、通所後、不穏になり、液晶テレビを殴って壊してしまうと事例がありました。 ・お薬を飲むことを拒み、全く飲まず、そのせいもあってか精神不安定になり、スタッフの頭を殴ってしまうという事例がありました。 どちらもご利用者様のニーズが解らずに不穏になっていることも考えられますので、落ち着いて生活が出来るよう見守りと傾聴によるご利用者様のニーズの把握に努めたいと思います。	【要望】 ・身体・知的・精神と障害種別が多様であることから、それぞれの障害に沿った支援困難事例の検討を行っていただきたい。		

支援体制の確保について ①日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか		事故への対応について		その他	
事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
現在、人員不足の為、日中の女性スタッフが不足しております。そこで船橋海神の女性スタッフを応援対応させて頂いております。併せて、現在夜勤で働いているスタッフの方に説明させて頂いたうえで、日中支援に来れる方を募り対応しています。 夜勤スタッフについては体制確保しつつありますが、1フロア2名体制が望ましく、求人を待ちながらご利用者様の支援に当たっております。 日中（土日を含む） 1ユニット 1～2名（管理者を含む） 夜間専従者 1ユニット 1～2名（管理者を含まない） にて支援を行わせて頂いております。	【要望】 ・（同グループ内の）他事業所からの応援対応など、今後もしできる限り支援の質を落とさないための取り組みを続けていただきたい。また、同性介助の体制確保にも引き続き努めていただきたい。	ヒヤリハットを作成し予防を行います。 本社とも情報共有を行い対応を行えるよう努めて参ります。 事故報告を作成し、本社、行政、関係各所との情報共有を行い再発しないよう努めて参ります。 ・事故報告書 ・ヒヤリハット報告書	【要望】 ・ヒヤリハットや事故報告書については、重要度を分類し、重要度に合わせた改善案の徹底方法を図る等、再発防止に努めていただきたい。 ・事故が夜間に起きた場合を想定して、夜間の受け入れ先病院の確保についても検討いただきたい。		
地域に開かれた運営について ①家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ②実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ③実 習 生： 人ボランティア： 人		苦情解決の取組み状況			
事業者	協議会	事業者	協議会		
① ・ご家族の訪問に関しましては、ご連絡があればご対応しております。ホームの状況などや質問などを、随時コミュニケーションを取っております。 ・移動販売によるお買物については、引き続き行っております。ご利用者様方も楽しみにされております。 ・散歩の時などに地域の方とすれ違う際にご挨拶しております。 ②実習生やボランティアの方をお受けしていきたいのですが、今現在まで実績がありません。人員不足解消の為にも検討していきたいと思えます。 何かしら、ボランティアを募る方法があればお教えいただきたく存じます。	① 【要望】 ・地域イベントの活用や季節のイベントに地域ボランティアを招く等、地域住民と交流を図ることができるよう努めていただきたい。 【助言】 ・自治会(地域)のお祭りや避難訓練などに参加してみるのはいかがでしょうか。避難訓練は外部の方との交流にも繋がる。八千代市の危機管理課では防災訓練指導の依頼を受け付けているので、防災講話などを企画してみてもいかがか。 ② 【要望】 ・実習生やボランティアの受け入れについて、積極的に取り組んでいただきたい。 【助言】 ・市の社会福祉協議会にあるボランティアセンターなどを活用してみてもどうか。 ・中学校の職場体験などの企画は中学校ごとに任されていることから、近くの八千代市立睦中学校に状況を尋ねてみてはどうか。進路学習・職場体験・福祉教育いずれかで、地域に開かれた運営に寄与することができるかもしれない。また、秀明大学の学生と繋がることも有用。	苦情報告書を作成し職員会議での共有と再発防止に向けた改善策の検討を行っております。 ・朝夕の申し送りにて共有 ・ケア会議で検討し再発防止策を決定し実施していきます。	【要望】 ・匿名で相談ができる等、苦情を顕在化できるよりよい方法について検討いただきたい。 ・知的障害の方は苦情を言葉で表現することが難しいため、普段の様子から汲み取っていただけるよう努めていただきたい。		

			短期入所の併設について ①地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。 ②緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。		従業者の資格取得状況や実務経験について ①支援スキルの高い管理者を置いているか ②支援スキルの高いサービス管理責任者を置いているか ③支援スキルの高い従業者を置いているか		その他	
			事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
			①短期入所のお問い合わせが、相談員様などから有れば、積極的に受け付けております。ご利用者様から、時折短期入所の利用のご質問を頂き事もございます。その際にもご対応しております。 また、八千代市外の方からもお話があればご案内させて頂いております。 ②ご家族の出張によりご利用された利用者様1名 ※2024年4月以降	①【評価】 ・引き続き積極的に短期入所の受け入れをしていただきたい。 ②【要望】 ・今後も緊急時に安心して利用できる受け入れ体制をお願いしたい。	①この業界で支援者として働き始めて、3年9か月ほどになります。 資格 介護職員初任者研修、居宅介護職員初任者研修 実務者研修 ②現在在籍しておりません。 ③初任者研修修了、看護師が在籍しております。	【要望】 ・強度行動障害・CAS研修等の受講や、勉強会・研修会等への参加により、より多くの職員に支援スキルの研鑽に励んでいただきたい。		
			相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について					
			事業者	協議会				
・相談支援事業者様とは、情報共有や交換を行いながら交流を図っております。短期入所のご案内など頂いております。 ・他のサービス事業所やリハビリ、訪問看護、往診医の方との連携を取り相談・助言などを頂いております。	【要望】 ・引き続き、関係機関との情報共有や連携等を行っていただきたい。							

	市町村	定員	利用者の主な日中活動について ①6H内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ②外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について ③外部の日中活動サービスの利用者人数： 人		利用者のニーズ把握について		その他	
31	八千代市（ソーシャルインクルーホーム八千代村上）	20人	事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
			① ・相談及び援助 ・食事提供 ・着替え、整容等の介助 ・活動支援 ・入浴、排泄、移乗の介助 ・通院同行、買い物同行、代行 ・健康管理、薬の管理、金銭管理 ・入院等に関する支援 ③14人	① 【要望】 ・個々に応じたプログラムを作成し、充実した生活を送れるような支援をお願いしたい。 【助言】 ・（盗食等の対策として冷蔵庫を施錠していることについて）、福祉サービスの目的には自立の援助があり、できることを増やしていくことが目的でもあるため、冷蔵庫の中の個人物の管理については可能な限り自由に出し入れができる形が望ましい。 ② 【要望】 ・自立に向けて日中活動サービスへの促しを行っていただきたい。	・年3回のモニタリングの実施 ・都度相談、及び援助	【要望】 ・ニーズの把握には綿密に対応していただきたい。知的障害の方はニーズを言葉で表現することが難しいため、普段の様子から汲み取っていただけるよう努めていただきたい。		【要望】 ・強度行動障害の利用者が今後増える事も考慮した上で、体制のさらなる整備に努めていただきたい。
			利用者に対する地域生活の支援について ①利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ②体験的利用等のニーズに対応しているか。		支援困難事例について			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			① ・毎月定期レクリエーションの実施 事例（誕生日レク、ホーム内パーティー、外食レク） ・ドライブ、散歩、通院、買い物同行 ② ・見学、体験対応 ・短期入所の受け入れ ・空きがない場合の対応時は近隣ホームへ誘導	① 【評価】 ・昨年度と比べるとイベントが増え、利用者の方のニーズも考慮した企画を実施していた。 【要望】 ・地域ボランティアや地域のイベント等の地域資源を活用し、より多様なイベントの企画に努めていただきたい。 【助言】 ・施設で企画運営が負担な場合、地域のレクリエーションやイベントに参加してはどうか。 ※他地域ではあるが、ウォークラリー大会に日中支援型デイサービスの利用者・職員が参加をしていた。（参考URL： http://chiseikyo.net/walk.html ） ② 【評価】 ・今後も引き続き、体験的利用等へのニーズに積極的に対応していただきたい。	・支援拒否の方に対してどこまで踏み込んで良いか ・精神障害の方で車いすを乗られていて明らかに身体障害対象に該当するADL状況の方ではあるが、身体障害対象にならず、介護補装具など実費になってしまうケース	【要望】 ・人権尊重の観点も踏まえつつ、適切な対応をお願いしたい。また、身体・知的・精神と障害種別が多様であることから、それぞれの障害に沿った支援困難事例の検討を行っていただきたい。		
			支援体制の確保について ①日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか		事故への対応について			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			配置基準は達成している。 夜勤帯の加配加算を取得している為、当日欠勤が出てしまうと人員の確保が保てない日がある。 また、同性介助に関しては日中男性職員が若干不足している。	【要望】 ・引き続き同性介助の体制確保について努めていただきたい。	・管理者にて対応 ・管理者で対応が困難な事案はエリアマネージャーにて対応	【要望】 ・事故が夜間に起きた場合を想定して、夜間の受け入れ先病院の確保や対処方法などのマニュアル化等についても検討いただきたい。		

地域に開かれた運営について ①家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ②実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ③実 習 生： 人ボランティア： 人		苦情解決の取組み状況		その他	
事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
①コロナウイルスの流行もあり、自粛していたが、緩和している中で、現在管理者、サビ管でボランティア活動や会議、研修などに積極的に参加をさせて頂いている段階。 次のステップとして、ご利用者様が地域交流に向けて進めていきたいと考えている。 ②現状なし	①【要望】 ・引き続き利用者の方々を交えての地域交流の機会確保等に向けて努めていただきたい。 【助言】 ・避難訓練は外部の方との交流にも繋がる。八千代市の危機管理課では防災訓練指導の依頼を受け付けているので、防災講話などを企画してみてもどうか。 ②【要望】 ・実習生やボランティアの受け入れについて、積極的に取り組んでいただきたい。 【助言】 ・中学校の職場体験などの企画は中学校ごとに任されていることから、近くの八千代市立村上中学校、勝田台中学校、大和田中学校に状況を尋ねてみてはどうか。進路学習・職場体験・福祉教育いずれかで、地域に開かれた運営に寄与することができるかもしれない。また、秀明大学の学生と繋がることも有用。	・管理者にて対応 ・管理者で対応が困難な事案はエリアマネージャーにて対応	【要望】 ・第三者委員による定期面談の実施など、苦情対応だけでなく、苦情把握のための取り組みについても力を入れていただきたい。 ・知的障害の方は苦情を言葉で表現することが難しいため、普段の様子から汲み取っていただけるよう努めていただきたい。		
短期入所の併設について ①地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。 ②緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。		従業員の資格取得状況や実務経験について ①支援スキルの高い管理者を置いているか ②支援スキルの高いサービス管理責任者を置いているか ③支援スキルの高い従業者を置いているか			
事業者	協議会	事業者	協議会		
①お問い合わせを頂いたケースは重度でも100%受け入れをしている。直近で短期入所稼働率は、千葉県内ソーシャルインクルーホーム内(全21ホーム)で県内1番の利用頻度の位置づけとなっている。 ②緊急・一時的な支援等の受け入れ実績件数2件 夏季期間冷暖房が完備をしていないご高齢の独居の方が、熱中症になってしまう可能性が高いとの事で受け入れをした。 中学生で夏休み中利用したいと要望があり利用して頂いた。	①【評価】 ・積極的な受け入れを実施していただいている。引き続き積極的な受け入れを継続していただきたい。 【要望】 ・軽度の障害児の利用を受け入れ体制も整えていただきたい。 ②【要望】 ・今後も緊急時に安心して利用できる受け入れ体制をお願いしたい。	①障害福祉分野にて経験は約4年8ヶ月、管理者経験約2年、強度行動障害支援者養成研修基礎、実践取得。 ②障害福祉分野にて経験は約5年、サビ管講習、強度行動障害支援者養成研修基礎、実践取得。 ③初任者研修・介護福祉士など有資格者は未経験からOJTを受け人材育成に注力しております。	【要望】 ・強度行動障害・CAS研修等の受講や、勉強会・研修会等への参加により、より多くの職員に支援スキルの研鑽に励んでいただきたい。		
相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について					
事業者	協議会				
・定期的な連絡、相談、報告を実施 ・モニタリング時に同席や必要に応じて担当者会議の実施	【要望】 ・今後も継続して関係機関との情報共有や連携等を行っていただきたい。				

	市町村	定員	利用者の主な日中活動について ①GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ②外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について ③外部の日中活動サービスの利用者人数： 人		地域に開かれた運営について ①家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ②実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ③実 習 生： 人ボランティア： 人		その他	
32	鎌ヶ谷市（秋桜ヴィラージュ鎌ヶ谷）	20人	事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
			①オセロ、将棋、お絵かき、折り紙、トランプ等のレク ②生活介護と就労継続支援B型 ③8人	日中をグループホームで過ごす利用者に、身体を動かす活動を提供するプログラムも良いと考える。 利用者の障がい特性に合わせた支援を行ってほしい。	①現状なし ②現状なし	地域住民との交流の機会確保他 実習生やボランティアの積極的な受入れを促進してほしい。 地域の団体との交流以外に他事業所との交流も行えると良い。		
			利用者に対する地域生活の支援について ①利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ②体験的利用等のニーズに対応しているか。		短期入所の併設について ①地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。 ②緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			① ・買い物同行援助 ・近隣の散歩 ②26名（内13名が本入居） ・ゆくゆくGH利用を考えている方に対してお試しで利用	体験利用については積極的で行っているが、地域との交流を意識した取組みを取り入れてほしい。	①1名短期入所を90日以上利用されている方がいらっしゃる ②緊急・一時的な支援でも使用可能であるが、現状はそのようなニーズでの利用はない状態	緊急・一時的な支援も使用可能とのことなので、これから実績を増やしてほしい。 重度の方も受入れ可能な体制を整備してほしい。		
			支援体制の確保について ①日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか		相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について			
	事業者	協議会	事業者	協議会				
	日中、土日を含めて常時1ユニット2.5名以上の人員を配置	24時間体制で支援するために必要な職員数を確保し、適切な支援体制を整えてほしい。 強度行動障害の日中受け入れ先があるのは非常に貴重なことなぜひ長く運用してほしい。	CAS（千葉県発達障害者支援センター）と連携し、大声で暴言を吐くご利用者を落ち着かせるための手段等を過去相談している。	CAS以外の相談支援事業所やサービス事業所との連携、情報交換を積極的に行っていただきたい。				

33	鎌ヶ谷市（ソーシャルインクルーホーム鎌ヶ谷東初富）	10人	利用者の主な日中活動について ①6H内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ②外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について ③外部の日中活動サービスの利用者人数： 人		地域に開かれた運営について ①家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ②実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ③実 習 生： 人ボランティア： 人		その他	
			事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
			①・学習支援・買い物支援（同行・代行）・運動支援・入浴支援・金銭管理支援・通院等介助（定期受診・突発受診・薬受け取り）・移動支援（就労先送迎）・外出支援・昼食の提供・レクレーション・季節のイベント余暇活動・訪問サービスの利用（医療・歯科・理容・看護・薬局） ②・生活介護事業所・就労支援B型事業所・一般企業・友和園・マルエツ・いんば学舎・みのり・トレッセ鎌ヶ谷 ③8人	入居者の8割が日中活動サービスを利用しており、利用していない利用者に対しても買い物支援や外出支援など利用者が閉じこもることがないよう支援されている。	①ご家族様の来訪は積極的に受けております。ご事情がありご来訪いただけないご家族様にはお連れしたり、電話にて近状をご報告しております。地域との関りについては外出や散歩の際に近隣の方に進んで挨拶するように声掛けしております。近隣のドラッグストアでは店員さんがご利用者様に合わせ声掛けをして下さったりしております。 ②現在、受け入れは出来ておりませんが本社にて受け入れ体制を協議しております。	地域住民との交流の機会確保他 実習生やボランティアの積極的な受入れを促進してほしい。	休日に外出支援をご利用されたい方、ご家族の方が数名いらっしゃいます。市内に対応できる事業所が今後できるご予定などはございますでしょうか？	入所されている方の相談支援事業所にご相談いただければと思います。
			利用者に対する地域生活の支援について ①利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ②体験の利用等のニーズに対応しているか。		短期入所の併設について ①地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。 ②緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			①職員と共に池まで散策し季節の植物や野鳥を見たり自然に触れあっています。福祉祭り、外食に行ったり鉄道好きな方数名と鉄道博物館に行く事が出来ました。買い物ではスーパーや書店、ドラッグストアなどに行きご自身で商品を見て選びセルフレジでの支払いを行っていただくなど利用者様に合わせて支援を行っております。 ②3名。満室の為、体験的にショートステイのご利用をされている方が数名おります。以前、入居された方もおります。現在利用されている方も数回利用され入居を希望されておりますが満室の為、入居出来ていないのが現状です。	利用者に合った形で可能な限り外出の機会を作っている。今後も利用者のニーズに沿った企画をお願いいたします。体験の利用等のニーズに対しては、積極的な対応をお願いします。	①関係各所へ随時短期入所の空室をご案内し、必要に応じて受入しております。 ②空き状況にもよりますが、積極的に行っております。一例として他ホームの閉鎖による緊急利用受け入れにも対応させていただきました。	緊急利用受け入れが可能というのは日中支援可能なグループホームでとても重要。引き続き、積極的な受入れをお願いします。		
			支援体制の確保について ①日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか		相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			日中、土日においても規定人員配置しております。 日勤2～3名、夜勤2名(7.5:1取得)	今後も必要は職員数を確保し、適切な支援体制が整えられること。 同性介助についても引き続き可能な体制にしていきたい。	相談支援事業所とは随時連絡が取れる体制であり、近況報告や相談等させていただいております。ご利用者様の状況や変化などその都度報告させていただきます。日中活動先へは体調や変化、通院と服薬などの情報共有をおこなっております。	相談支援事業所と連絡が取れる体制であり、情報共有や連携が取れていることは評価できる。		

	市町村	定員	利用者の主な日中活動について ①6H内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ②外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について ③外部の日中活動サービスの利用者人数： 人		地域に開かれた運営について ①家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ②実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ③実 習 生： 人ボランティア： 人		その他	
34	君津市（6Hふわ ふわ君津外箕 輪）	15人	事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
			①日中、塗り絵や行事に合わせた飾り物等の制作活動をしています。月1の食事レクなどを行っている。 ②生活介護4人、就労継続支援B型2人 ③6人	【要望】 ・利用者の様子によっては近隣の事業所を利用することで、気分も変わり、ホームでの生活が安定しているという話も聞く。引き続き、利用者の安定が増していくことを期待している。 ・利用者の日中支援に係る人員体制がどうなっているか確認したい。 【評価】 ・訪問看護の利用により医療との連携が図れている。 ・夜勤勤務職員が少ないことが不安である。	家族からの連絡等により確保している。	【要望】 ・地域住民との交流機会の確保に向けてどのようなアプローチを行っているのか確認したい。		
			利用者に対する地域生活の支援について ①利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ②体験的利用等のニーズに対応しているか。		短期入所の併設について ①地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。 ②緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			①ドライブや週1回の買い物を実施している。 ②令和5年11月～令和6年7月までの期間に5人	【要望・評価】 ・外出することが可能な日は、ドライブや買い物など利用者の余暇活動の支援に努めることで生活のメリハリにもなると考えられる。支援における職員負担は大きいと思うが、今後も継続して欲しい。 ・区分だけでは判断できない支援が困難な利用者にも外出等の余暇活動を提供していると想像できる。	①令和5年度に3人受入 ②受入を実施している。	【要望・評価】 ・利用できる事業所があることは、とても心強い。 ・地域に必要なサービスであり、継続して欲しい。		
			支援体制の確保について ①日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか		相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			確保されている。	【要望】 ・今後も利用者の安定が図れる職員体制の確保をお願いしたい。	電話での近況報告、連絡帳を活用した共有	【要望・評価】 ・相談員と利用者との関係は、モニタリング等を通じて連携がスムーズに出来ている。 ・事業者と各相談支援事業とも連携が図れており、継続して欲しい。		

	市町村	定員	利用者の主な日中活動について ①6H内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ②外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について ③外部の日中活動サービスの利用者人数： 人		地域に開かれた運営について ①家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ②実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ③実 習 生： 人ボランティア： 人		その他	
35	君津市（日中支援型G HKa-Fu）	20人	事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
			① ・買い物同行、通院同行 ・アクティビティ（散歩や誕生日会） ・ホーム内で折り紙や塗り絵、パステルアート等を行い、ホーム内に作品を展示 ②就労継続支援B型、生活介護 ③8人	【評価】 ・幅広い年齢や様々な障がいのある方に対し、支援内容は多岐に及ぶと考える。そのような中でも、週5日入浴させるなど個々の障がい特性に寄り添った支援を行っている。 ・利用者の様子によっては近隣の事業所を利用することで、気分も変わり、ホームでの生活が安定しているという話も聞く。引き続き、利用者の安定が増していくことを期待している。	①家族：現在の状況を連絡されたり、見学会の問い合わせに関しては随時対応を行っている。 地域交流：自治会への挨拶や近隣の方々への理解を得るために施設内の見学も行っている。 ②今後、実習生の受入れにあたり、実習指導の研修を受けて取り込んでいきたい。	【評価・要望】 自治会等に挨拶を実施するなど地域生活を意識した取組をしている。 ・地域への説明会や地域住民へご挨拶などでも、ご理解は難しい部分もあると思うが、防災をはじめ、近隣の方々の力を借りることもあるため、継続して取り組んで欲しい。		
			利用者に対する地域生活の支援について ①利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ②体験的利用等のニーズに対応しているか。		短期入所の併設について ①地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。 ②緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			①ホーム内での運動不足を防ぐ為に定期的な散歩や公園でのバドミントン等を行い、支援に努めている。また、余暇活動の一環で桜を鑑賞するなどしている。 ②これまでの体験人数：16名 介護包括型のグループホームでの生活が困難であった方が体験し、利用につながった。	【評価】 ・日中外部施設への利用に対し目的や意味をもって送り出している。 ・他法人への送り出しの際も、受ける側の施設が困らないように配慮することや地域で生活する為に考えている。	①随時受入れを行っている。 ②短期入所利用者の家族で不幸があり、緊急で対応を行った。	【評価】 ・緊急時や拠点としての受入やその他体験など短期入所として利用ができるのは重要である。		
			支援体制の確保について ①日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか		相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
	体調不良により外部の日中活動を休んだ場合や土日祝日で日中活動が休みの場合など日中にグループホームで活動する利用者の人数によって職員配置を行っている。	【評価】 ・人員不足はどこの法人でも否めないのが現実だと思うが、外国人労働や夜間専従、抜けが無いように3交代など支援体制も確立されている。 ・毎日の入浴や活動についても、支援体制が整わなければ出来ない事も多い。	利用者のモニタリングのみの訪問だけではなく、生活の状況や就労先等の出来事を共有したりと密に連絡を取り合って利用者一人ひとりの支援を行っている。	・日中に他事業所を利用している方もいるので、既にある程度関係性が出来ていると感じる。 ・相談支援事業所との関係性も構築出来ている。				

	市町村	定員	利用者の主な日中活動について ①GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ②外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について ③外部の日中活動サービスの利用者人数： 人		地域に開かれた運営について ①家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ②実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ③実 習 生： 人ボランティア： 人		その他	
36	浦安市（ふる里 学舎浦安）	19人	事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
			①1名が日中をGHで過ごしています。進行性の難病もあり、訪問看護や訪問リハを導入しながら生活されています。世話人や生活支援員は、食事や入浴の介助等、常時身近面の支援をするほか、本人の体調に合わせて無理のない範囲で近隣の散策等しています。 ②平日は生活介護や就労継続支援B型、週末は日中一時支援を利用される方もいます。計6事業所へそれぞれ通われて、日々連絡ツール等を活用して情報共有をしています。 ③16人	利用者の状況や当日の体調に合わせて適切な日中サービスを提供している。	①週末に自宅に帰る方、または家族がGHへ面会に来られる方など様々です。立地の特性上、近隣住民との直接的交流はないものの、運営法人として隣のマンション理事会と協力してイベントの運営に参加しています。 ②大学等の社会福祉士取得のための実習 ③実習生：10人	家族や地域住民との交流の機会が確保するとともに、実習生やボランティアを積極的に受け入れている。		
			利用者に対する地域生活の支援について ①利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ②体験の利用等のニーズに対応しているか。		短期入所の併設について ①地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。 ②緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			①それぞれのサービス等利用計画に即した生活スケジュールにより週末等に様々な外部サービスや自宅で過ごされる方が殆どです。GHでコロナウィルスが5類に移行し、少しずつ外出などの機会を増やしています。日常的に四季折々の企画で、季節にあった特別な食事や、外注を取り入れるなどして、イベントを実施しています。 ②令和5年：実2名 延35日 他のGH入居者の次の生活の場を検討する際の、第三者的視点による見立てをするため	季節に応じたイベントを実施し、外出や余暇活動の支援に努めている。	①定期的な利用や、スポットでの利用併せて、令和5年度は延1,416日受け入れました。 ②地域生活支援拠点の多機能拠点として緊急受入をしています。また、浦安市障がい者緊急時支援事業と連携して緊急対応をしています。緊急用に1室は確保していますが、要請が重なった場合は定員外で受け入れています。	短期入所において、地域で生活する障がいのある方を積極的に受け入れるとともに、緊急・一時的な支援等の受け入れに対応している。		
			支援体制の確保について ①日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか		相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			世話人、生活支援員は常時配置されています。週末・平日ともに日中、夜間4名常駐しています。	世話人、生活支援員は常時配置されており、週末・平日ともに日中、夜間の支援体制が確保されている。	当該GHは浦安市として通過型GHと位置付けられていることもあり、次の生活環境を検討する場として支援をしています。そのため、通常のモニタリングとは別に、次の目標とそれに向けた進捗状況などを行政、相談、GHと入居者を交えて検証する場を設けています。 また、一部入居者は訪問看護や訪問リハ、居宅介護を導入して生活されている方もおられ、情報共有を図って支援をしています。	通常のモニタリングのほか、行政・相談支援事業所・GH運営事業所・入居者を交えて検証する場を設けており、関係機関が連携を図っている。		

	市町村	定員	利用者の主な日中活動について ①6H内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ②外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について ③外部の日中活動サービスの利用者人数： 人		地域に開かれた運営について ①家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ②実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ③実 習 生： 人ボランティア： 人		その他	
37	袖ヶ浦市（大久保学園代宿第二グループホーム）	10人	事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
			①基本的には全員が日中サービス支援事業所を利用中。平日は体調不良時の対応のみ。 ② ・同一法人運営の生活介護事業所への通所7名 ・同一法人運営の就労継続支援B型事業所への通所1名 ・合同会社運営就労継続支援B型事業所への通所1名 ③9人	利用者全員が外部の日中活動サービスを利用していることは評価できます。 今後、利用者の状態等の変化により、サービスの見直しが必要な場合は、日中活動サービスが提供できるよう適切な対応を期待します。	① ・家族会開催（年3回） ・地域行事参加（夏祭り、地域交流会、敬老会等） ② ・千葉経済短期大学学生実習受け入れ ③実習生：4人	地域との交流も行われており、今後も継続していただきたい。 実習生の受入も行われており、今後も継続して行われることを期待します。		
			利用者に対する地域生活の支援について ①利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ②体験的利用等のニーズに対応しているか。		短期入所の併設について ①地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。 ②緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			① ・食事、買い物外出 ・マザー牧場、ドイツ村等への余暇外出 ・秋祭り、クリスマス会、鍋パーティー等の行事の実施 ② ・体験利用としての実績はなし ・将来的にグループホームの利用を希望している方については、短期入所での受け入れを実施。	定期的な外出やイベントの実施等、余暇の充実に努めている様子がうかがえます。 引き続き適正な運営に努めていただきたい。	①日中活動利用者を中心に、保護者の入院・療養、冠婚葬祭等の諸事情に対応して受け入れを行っている。 ②保護者の入院、療養のため、緊急・一時的に2名の利用者の受け入れを行った。	緊急時等の受入に対応しており、評価できます。 引き続き適正な運営に努めていただきたい。		
			支援体制の確保について ①日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか		相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について			
		事業者	協議会	事業者	協議会			
		・日中、土日共に基準職員を配置し、外出や生活全般の支援に対応している。	適切な支援体制が確保されていると思われます。	袖ヶ浦市地域総合支援協議会、袖ヶ浦市施設連絡協議会、ネットワーク袖ヶ浦へ参加し、情報交換、連携を図っている。	今後も継続して関係機関との情報共有し、連携等が図られることを期待します。			

38	市町村	定員	利用者の主な日中活動について ①6H内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ②外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について ③外部の日中活動サービスの利用者人数： 人		地域に開かれた運営について ①家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ②実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ③実 習 生： 人ボランティア： 人		その他	
			事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
			①平日の日中は基本的に外部の事業所を利用している為、グループホームでは日中サービスを提供していない。しかし、精神的に不安定な際や事業所への通所が妥当ではないと判断されたときは、グループホームにて過ごして頂き、日中サービスを提供している。休日は外出等の余暇支援や社会活動への参加、促しなど行っている。 ②生活介護：20人	利用者全員が外部の日中活動サービスを利用していることは評価できます。 今後、利用者の状態等の変化により、サービスの見直しが必要な場合は、日中活動サービスが提供できるよう適切な対応を期待します。	①個々の家庭状況により帰省や家族面会の機会を設け、職員からも近況報告を実施している。また、家族参加の行事を企画し、交流を図っている。 地域住民とは地域清掃や相互に招待して行う小規模イベントや地域の例大祭等で交流を図っている。 ②福祉系大学の実習生を積極的に行っている。 ボランティアは、余暇支援の補助等を行って頂いている。 ③実習生：13人 ボランティア：19人	地域との交流も行われており、今後も継続していただきたい。 実習生やボランティアの受入も積極的に行われており、評価できます。今後も継続して行われることを期待します。		
			利用者に対する地域生活の支援について ①利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ②体験の利用等のニーズに対応しているか。		短期入所の併設について ①地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。 ②緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			①定期的に近隣の店舗にて日用品の購入や飲食物の購入を行い、嗜好品の購入や外出の要望があれば市街も含めて実施している。また、入居者全員で一泊旅行や外食、スポーツ大会など季節に合わせた行事も企画、実施している他、地域住民と合同でグランドゴルフ大会、交流会なども行っている。 ②1人。施設入所支援を利用していたが、本人から地域移行の希望があり体験利用を行った。	定期的な外出やイベントの実施等、余暇の充実に努めている様子がうかがえます。 引き続き適正な運営に努めていただきたい。	①都度、相談は受付しているが、ロング短期で月31日支給の方が利用しており、新規受け入れは難しい状況である。 ②上記理由の為、実際の受け入れは難しいが、お断りはしておらず、ふる里学舎蔵波、もしくは法人内で共有し緊急の受け入れを行っている。	②法人として緊急時の受入態勢がとられていることは評価できます。 今後も積極的な受入を期待します。		
			支援体制の確保について ①日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか		相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			生活支援員と世話人を変則勤務で配置し、利用者の日課全般（食事、入浴、服薬など）の支援を提供している。 その他、適宜日常相談を受け付けている。	適切な支援体制が確保されていると思われます。	関係のある相談支援事業所とは定期的に相談を取りながら、担当利用者の情報提供や定期的なケース会議等を実施すると共に在宅者の新規相談等も受けている。 自法人のサービス以外にも周辺の福祉サービスの情報提供をしながら、利用者や保護者から希望があった際は、他法人のサービス事業所の利用に向けて連携を取っていく。	今後も継続して関係機関との情報共有し、連携等が図られることを期待します。		

	市町村	定員	利用者の主な日中活動について ①6H内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ②外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について ③外部の日中活動サービスの利用者人数： 人		地域に開かれた運営について ①家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ②実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ③実 習 生： 人ボランティア： 人		その他	
39	八街市（ソーシャルインクルー八街）	20人	事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
			①食事の提供/通院同行/買い物同行/散歩同行/食事介助/排泄介助/入浴介助 ②就労継続支援B型：5人 生活介護：4人 ③9名	①・当該共同生活援助には併設の通所施設がない為、半数の利用者が外部の日中活動サービスを利用しており、送迎もあることから外部の目も入りやすく透明性の確保ができています。共同生活援助内に残って過ごす利用者は、自宅でDVD鑑賞をしたり、リビングでTV鑑賞したりという過ごし方であるが、買い物や散歩を定期的に行っており、施設内で生活が完結しないよう取り組まれている。 ・利用者が好きなことをして過ごすことも大事であるが、日中を共同生活援助内で過ごす利用者に対して個別課題の提供をするなどの工夫を求めます。	①・遠方からのご入居者も多いため、ご家族様同士の交流会などは実施をしておりますが、ご来設時に一緒になったご家族様同士で会話をされることも見受けられます。 ・地域住民の方々とは、職員同行のお散歩やお買い物時に率先して挨拶をするよう心掛けております。 ②現在、千葉エリアのソーシャルインクルーホームにて受け入れ体制の準備を行っております。	町内会にも入会しているとのことで、地域のイベントに参加して、顔の見えるネットワーク作りに努め、非常時の援助・協力体制が図れるよう取り組んでみても良いかと考えます。	・職員の質向上：月に一度、定期ホーム研修を実施（必須） ・協力医療機関：月2回の訪問診療（個人契約）や定期受診同行 ・医療連携：月2回訪問看護 ・訪問看護：リハビリ等（個人契約）	・職員の専門知識スキルの支援においては、OJTであるとのことだが、外部研修を積極的かつ継続的に受講することを要望します。 ・本市では、障害者の重度化や高齢化、「親亡き後」を見据えた、居住支援のための機能をもつ場所や体制として「地域生活支援拠点」の整備（施設の登録）をすすめているところです。緊急時の受け入れや対応、体験の機会や場の提供が居住支援のための主な機能となりますので、貴事業所でも登録を前向きに検討いただくよう要望します。
			利用者に対する地域生活の支援について ①利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ②体験の利用等のニーズに対応しているか。		短期入所の併設について ①地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。 ②緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			①・1回/月程度の買い物同行 ・ドライブを兼ねて公園へお散歩 ・毎月の誕生会/季節イベントの実施 ②・20名 ・基本的にはご入居前に無料のトライアル体験（6泊7日まで）を行っていただき、双方同意の上でのご入居となっております。	短期入所ではなく、法人独自の無料トライアルにより、体験利用を実施することは、利用者に経済的負担を強いることなく、今後の生活の場所を検討することができる利点があるものと考えます。但し、食事の提供までも無料で行われている点については、「利益供与の禁止」に抵触するのではないかと懸念がありますので、指定認可を行う、千葉県に確認を行うとともにその結果を報告するよう求めます。	①・女性1名様の受け入れあり。 ・ご相談があった際には積極的に受け入れをしております。 ②・行政からの緊急案件、1件。自宅で生活を送るためにサービスを整えるためご利用。ご本人様の日程調整に時間がかかり、緊急案件ではなくなるが、短期を利用されご自宅へ戻られる。			
支援体制の確保について ①日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか		相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について						
事業者	協議会	事業者	協議会					
①現在、日中/夜間/土日でも職員の人員は確保がされております。		・職員が外部研修を受講することが少ないようなので、積極的に受講し、スキルアップを図ることを要望します。 ・人員は確保されているようですが、障害福祉サービスの現場経験者が少ないとのことでしたので、今後の採用において配慮されても良いかと考えます。	・ご本人様の状態が変化した時 ・各関係者の間で情報共有が必要と感じた時 ・月次のご挨拶（電話/訪問/来設時） など、連携を図るようにしております。	地域自立支援協議会へ参加している唯一の日中支援サービス型共同生活援助であり、貴重な意見を提供してくれている。引き続き積極的に参加して貰えるとありがたいです。				

	市町村	定員	利用者の主な日中活動について ①6H内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ②外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について ③外部の日中活動サービスの利用者人数： 人		地域に開かれた運営について ①家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ②実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ③実 習 生： 人ボランティア： 人		その他	
40	八街市（ハナミズキ）	20人	事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
			①隣接する生活介護事業所「あすなろの里」を利用している。 ②課題活動や余暇活動など、利用者様の障害特性を考慮した活動を提供している。 ③0人	・該当者はないものの、併設事業所の利用に限定せず、外部の生活介護の利用を可能としていることは評価します。 ・個別活動スペースでは障害特性に応じた個別課題が提供されており、不穏時にクールダウンができるよう個室を設ける等の工夫もされています。	①利用者様がいつでも家族と面会できる機会を設けている。 地域住民との交流等については、現在のところ、機会もなく実施していない。また、強度行動障害を有する利用者様もあり、そのような機会の際には十分な配慮が必要と考えている。 ②現状、受け入れはないが、同法人内で運営している事業所で行事でのボランティア受け入れを行っており、閉鎖的な環境とならないよう受け入れを考えたい。		従事する職員に至っては、障害者支援が未経験の者もあり、事前研修等を行っているが、支援度合いの高い利用者様が多く、実際の現場においてOJTを進め、障害者支援について理解が深められるよう努めているところである。 また、余暇の充実も含めた支援の質の向上を目指し、万全の体制で支援提供が出来るよう求人活動も行っている。	・職員の専門知識スキルの支援においては、専門書を活用したOJTであると説明があったが、それだけでは不十分だと考えます。具体的には、千葉県強度行動障害支援者養成研修（基礎研修と専門研修）の受講を積極的かつ継続的に受講することを要望します。 ・食事の提供について、利用者の食に対する聞き取りや嗜好調査を行うこと等を要望します。 ・他者への掴みかかりや、噛みつきがあることから常時の見守りが必要となる利用者も確認できた。不穏状態が長く続く場合の服薬は理解できるが、職員が障害特性を共通理解し、十分な検討がされたうえでの対応を心掛けるよう要望します。 ・本市では、障害者の重度化や高齢化、「親亡き後」を見据えた、居住支援のための機能をもつ場所や体制として「地域生活支援拠点」の整備（施設の登録）をすすめているところです。緊急時の受け入れや対応、体験の機会や場の提供が居住支援のための主な機能となりますので、貴事業所でも登録を前向きに検討いただくよう要望します。
			利用者に対する地域生活の支援について ①利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ②体験の利用等のニーズに対応しているか。		短期入所の併設について ①地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。 ②緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			①施設開設より、5ヶ月経過したが、元旦の初詣以外は外に出かける機会は設けられていない。大型の公用車も所有していないため、法人内事業所から借用しドライブを、3月中に予定していたが、職員のコロナ感染により実施できなかった。今後、外に出る機会を積極的に設けていく。 ②空床を利用して体験入居を実施。（4/3現在1名） 今後とも、空床状況により対応していく予定。 当事者者の意思確認ならびに適切な支援構築のために実施。	①開所間もない事業所であり、強度行動障害を抱える利用者の環境適応への配慮も必要であることから、外出機会が少なかったことはやむを得なかったと理解するところです。徐々に地域との交流や外出機会を確保し、施設内で生活が完結しないよう努めて欲しいと思います。 ②将来的に共同生活援助の利用となることを視野に、体験入所を受入れ、利用者の障害特性を確認する等の工夫が見られた。また、家族の意向が主となって利用の話が進むことも多いが、「本人がここで暮らしたいとの思いを持てるかを重視している」ということは大変、評価します。	①現在のところ、受け入れ実績はなし。 ②職員の経験やスキルなどを考慮しつつ、利用者様が、現在の生活に慣れ安定した生活が送れる状況になってから、受け入れ体制を整えていきたい。			
			支援体制の確保について ①日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか		相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			日中については、日中活動利用で利用者様は不在であるが、常時1名の職員を配置し在棟時にも対応できるようにしている。また、休日等の日中については、最低3名の職員を配置し、利用者支援にあたるようにしている。	・可能な限りスキルの高い職員を配置する支援体制を整え、職員内で個別支援計画が周知伝達された支援に繋げて貰いたいと思います。 ・精神障害者の入所が少ないことから、精神障害者に関する支援の在り方、技術を学ぶ機会を増やすことを要望します。 ・資格取得の促しは職員のモチベーションアップに繋がるものと考えられます。法人としてキャリアパスが示されていることも大切です。 ・日中サービス支援型グループホームの利用者を対象に「強度行動障害のある方の支援者に対する研修事業」への参加も要望します。	利用者様の生活状況などに変化があれば、その都度、情報交換を行っている。また、定期的なモニタリングにより利用者状況の共有を図っている。	・地域自立支援協議会への参画 日中支援サービス型グループホームの職員が自立支援協議会に参加し、ケース検討会や生活支援拠点事業における緊急受入れ、対応の協議に参加を要望します。		

	市町村	定員	利用者の主な日中活動について ①6H内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ②外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について ③外部の日中活動サービスの利用者人数： 人		地域に開かれた運営について ①家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ②実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ③実 習 生： 人ボランティア： 人		その他	
41	大網白里市（クロワール）	10人	事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
			①食事提供、食事介助、清掃、洗濯、排泄介助、服薬支援、買い物、受診同伴、入浴介助、更衣介助、金銭管理、健康観察等を行っている。 ②生活介護、就労継続支援B型、通所介護 ③10人	高齢者や障害区分の重度利用者が多い中、個々のニーズや能力に合わせた支援を行い、充実したサービスを提供している。	①法人行事の納涼祭やみんなのまつりは一般の参加を見送り、家族を招いて開催。隣接するグループホーム利用者とは、レクを通じて交流を行った。 ②城西国際大学、国際医療福祉大学他より実習生を5名、法人行事のみんなのまつりでは9名のボランティアを受け入れた。 ③実習生：5人 ボランティア：9人	家族や地域住民との交流の機会を図るための取り組みが出来ている。 実習生やボランティアを積極的に受入れを行っている。 令和7年度から義務化される地域連携推進会議について、地域の支援者等の外部団体との調整をお願いしたい。	利用者の入退所はなく、高齢化に伴い身体機能の低下は顕著である。機能維持のため、日中活動に定期的に参加を促し生活リズムを整えた。本人の不調により、11月後半より日中活動に参加出来ていない利用者がいる。1日でも早く日中活動に参加し、他者と交流を持ちながら元の生活が送れるよう職員で協力し合い支援していきたい。	利用者の重度化・高齢化に対応したサービスが提供されており、適切な支援が行われている。
			利用者に対する地域生活の支援について ①利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ②体験的利用等のニーズに対応しているか。		短期入所の併設について ①地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。 ②緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			①コロナ感染症の5類移行により、中止していた行事を再開。他事業所との合同での納涼祭や利用者のご家族を招待してのおまつりを開催した。外出レクリエーションでは参加者を募りお煎餅の製造販売所あられちゃん家へ昼食を兼ねての買い物を実施。クリスマス会も開催し、歌をうたったりプレゼントの交換などを楽しんでもらった。コロナ禍より継続して毎週スーパーの移動販売も楽しんでもらっている。 ②1人	各種行事の開催や外出の機会を設け、充実した余暇活動乃支援を行っている。	①受け入れている ②コロナ感染予防を実施しながら短期入所の受け入れは継続。定期利用者の他、緊急で4名を受け入れた。	緊急利用や利用者の状況に応じた利用を受け入れが確保できている。		
			支援体制の確保について ①日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか		相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について			
事業者	協議会	事業者	協議会					
			24時間体制で職員を配置。定時巡回、所在確認の他、食事、清掃、洗濯等生活全般の支援を行えるよう体制を整えている。	24時間体制で常に適切な対応が図れるよう、体制が確保されている。	同法人が運営している相談支援事業所にグループホームの利用者も頻繁に訪れ、日中は憩いの場としてあるいは相談に行くこともある。職員同士が常に情報の交換や相談、連絡を取り問題が生じた場合は連携して対処している。	職員同士の連携が図られている。		